
日本植物学会第81回大会 研究発表記録



Proceedings of the 81st Annual Meeting of
the Botanical Society of Japan, Noda 2017

2017年9月8日(金)～9月10日(日)

東京理科大学 野田キャンパス

<http://www.rs.tus.ac.jp/bsj2017/>



日本植物学会
The Botanical Society of Japan

研究発表記録電子版へのアクセスはこちら



URL: <http://www.rs.tus.ac.jp/bsj2017/epub.html>

公益社団法人日本植物学会第81回大会実行委員

大会会長： 朽津 和幸

実行委員長： 松永 幸大

会計・ホームページ担当： 松永 朋子

寄付担当： 河野 重行／諸橋 賢吾

企業展示・ランチョンセミナー担当： 馳澤 盛一郎／朽名 夏麿／檜垣 匠

プログラム・要旨集担当： 佐藤 忍／鈴木 石根／石田 健一郎／宮村 新一／古川 純／岩井 宏暁／
小野 道之／寿崎 拓哉／三浦 謙治

シンポジウム・関連集会担当： 小林 正智／河原 孝行／今泉(安楽) 温子／戸田 恭子

公開講演会・公開展示担当： 朽津 和幸／西廣 淳／國府方 吾郎／鷗沢 美穂子／北畑 信隆／大石 和江

高校生企画担当： 綿野 泰行／華岡 光正

会場担当： 鞆 達也／太田 尚孝／有村 源一郎／来須 孝光／北畑 信隆

託児室担当： 井川 智子

懇親会・ミキサー担当： 高橋 秀典／坂本 卓也

広報担当： 坂本 卓也

野田大会シンボルマークのタチスミレ

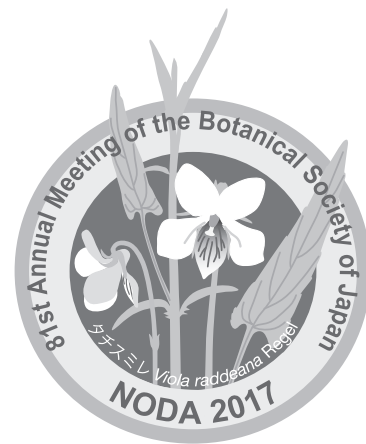
今大会のシンボルマークは、湿地のヨシ原などに生育する希少種タチスミレ (*Viola raddeana* Regel) とした。タチスミレは、本州（関東地方）、九州（大分県、鹿児島県）、朝鮮半島、中国東北部、ロシア極東地方に遺存的に分布する。日本での分布は、本州では渡良瀬遊水地、菅生沼、小貝川などの利根川水系の湿地、九州では九重山系、霧島山系の山間部の低湿地で、分布範囲・個体数とも極めて限られており、環境省は絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定している。

タチスミレは、分類的にはニオイスマレ節に含まれる。日本に自生するスマレの中では花期は遅い方で、5～6月に開花する。そのあとも秋まで延々と閉鎖花をつけながら茎を伸ばし、草丈はしばしば1mを超える。

今大会の会場に近い茨城県常総市菅生沼の自生地は、江戸時代の干拓地の排水路である飯沼川が利根川に合流するところにある低湿地で、利根川の増水による逆流を防ぐための水門が閉じることによりしばしば冠水する環境にある。タチスミレは主にオギ群落に生育しており、この15年間「野焼き」による植生管理で生育環境を維持している。この場所には同所的にトネハナヤスリ、ハナムグラ、エキサイゼリなどの絶滅危惧種の生育が見られる。

解説：ミュージアムパーク茨城県自然博物館・小幡和男

シンボルマークデザイン：安富佐織





目次 / Contents

大会会場案内	4
大会に参加される方へ	10

プログラム	19
日程表	20
学会賞授賞式および受賞講演	23
シンポジウム	25
公開講演会	35
口頭発表／シンポジウム 一覧表	36
口頭発表座長一覧	60
ポスター発表	62
高校生研究ポスター発表	79

受賞講演要旨	81
日本植物学会大賞・学術賞講演	83
日本植物学会奨励賞・若手奨励賞講演	85

シンポジウム要旨	89
-----------------	----

口頭発表要旨	123
---------------	-----

ポスター発表要旨	193
-----------------	-----

発表者名索引	261
---------------	-----

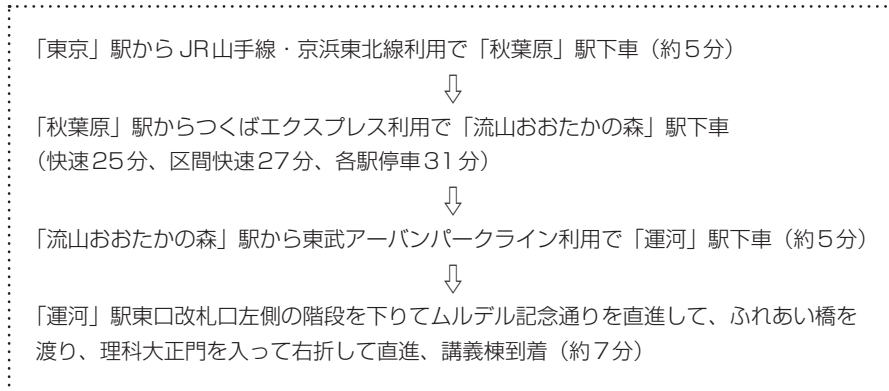
広告	281
-----------	-----

会場への交通案内

大会会場

大会会場は、東京理科大学野田キャンパス・講義棟（〒278-8510 千葉県野田市山崎2641）です。

- 東京駅から JR 山手線・京浜東北線⇒つくばエクスプレス⇒東武アーバンパークライン⇒徒歩で合計約 50 分です。



- 駐車スペースの関係上、お車でのご来場はご遠慮ください。

公開講演会会場

公開講演会は講義棟 1 階 A 会場で開催します。

懇親会会場

懇親会会場はカナル会館 1 階です。懇親会は大会 2 日目の 9 月 9 日（土）18:30 から開催します。

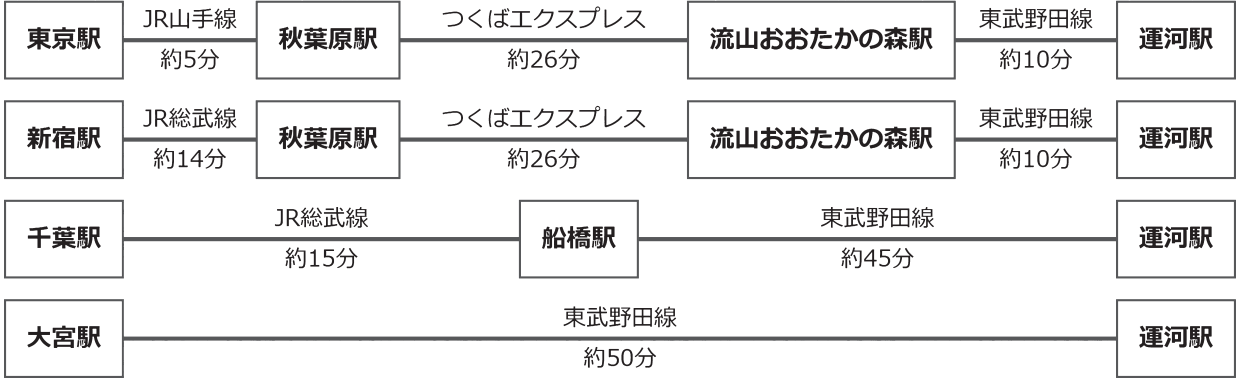
ミキサー会場

ミキサー会場は講義棟 2 階休憩室です。ミキサーは大会 1 日目 9 月 8 日（金）17:30 から開催します。

各会場の場所・アクセスは 5 ページから 8 ページの案内図をご覧ください。

会場への交通経路

■ 東武野田線(東武アーバンパークライン)「運河」駅下車、徒歩5分



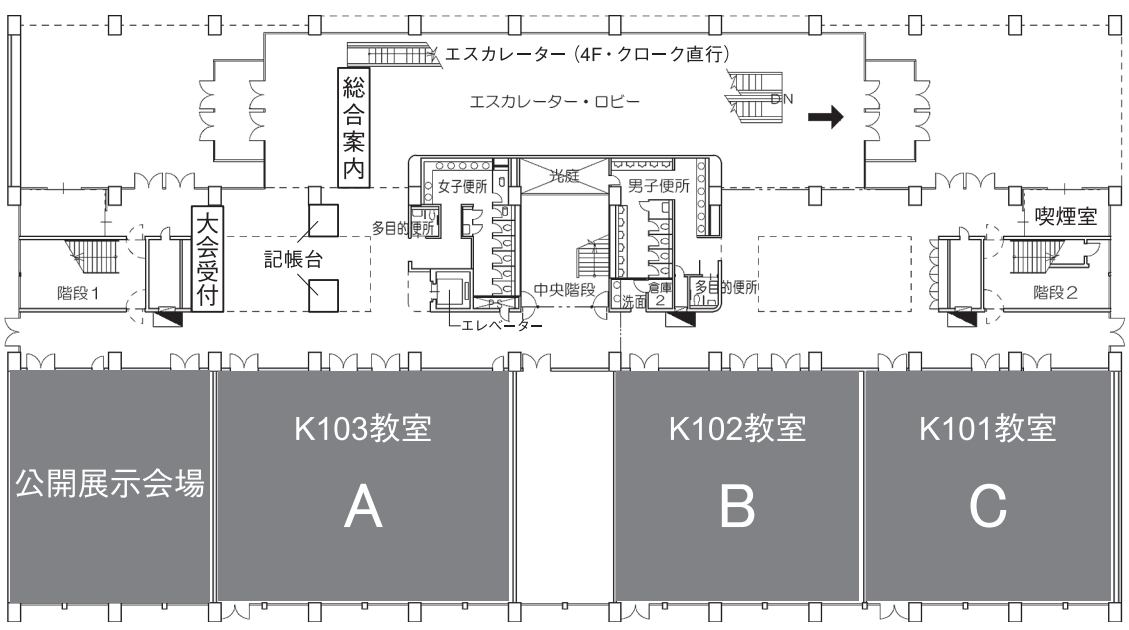
アクセスマップ

- ★ コンビニ
- レストラン
- ◆ ラーメン屋

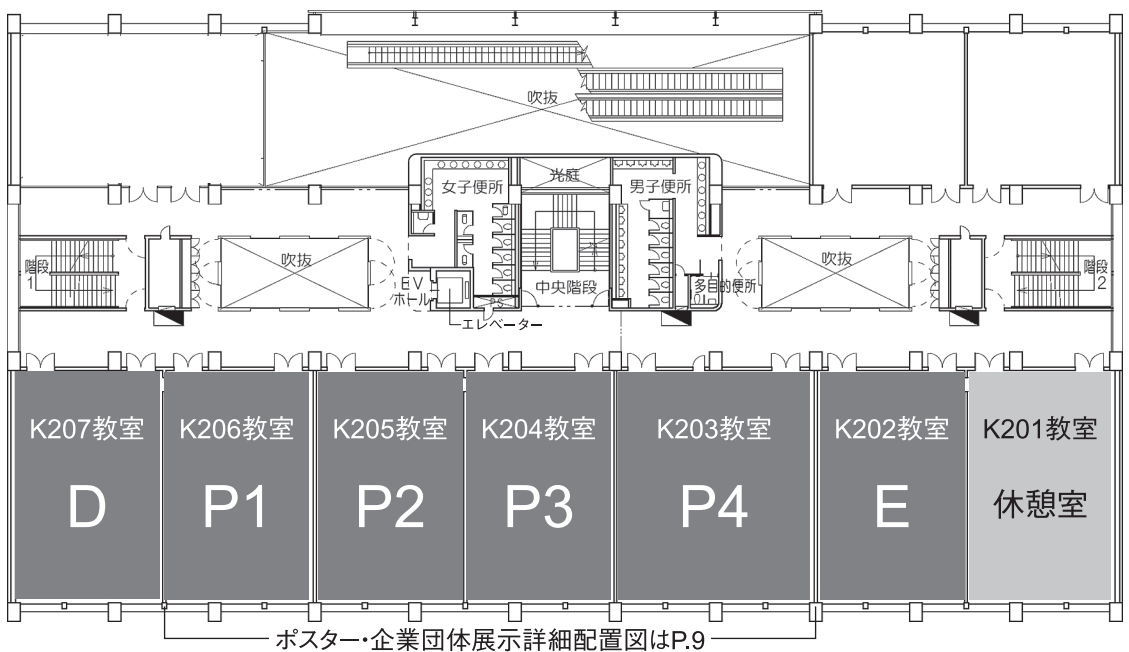


会場配置図

講義棟 1階

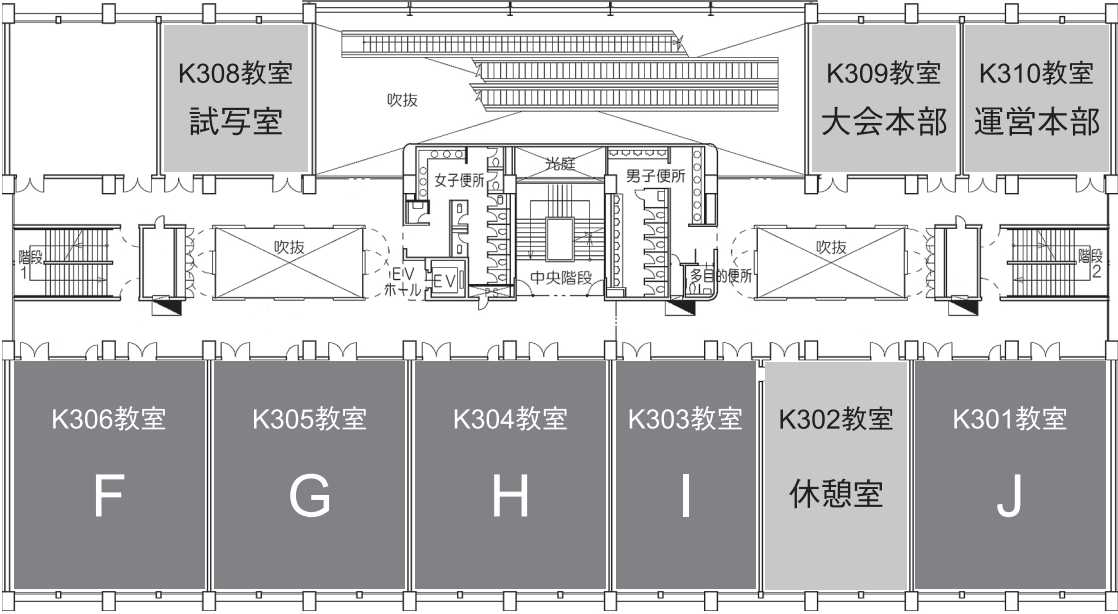


講義棟 2階

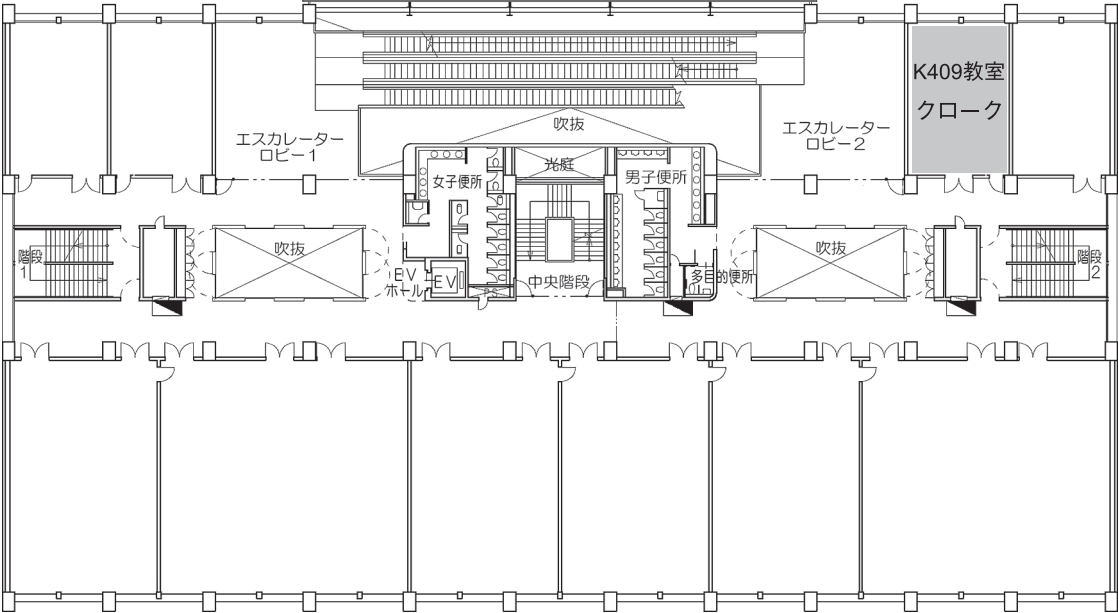


会場配置図

講義棟 3階

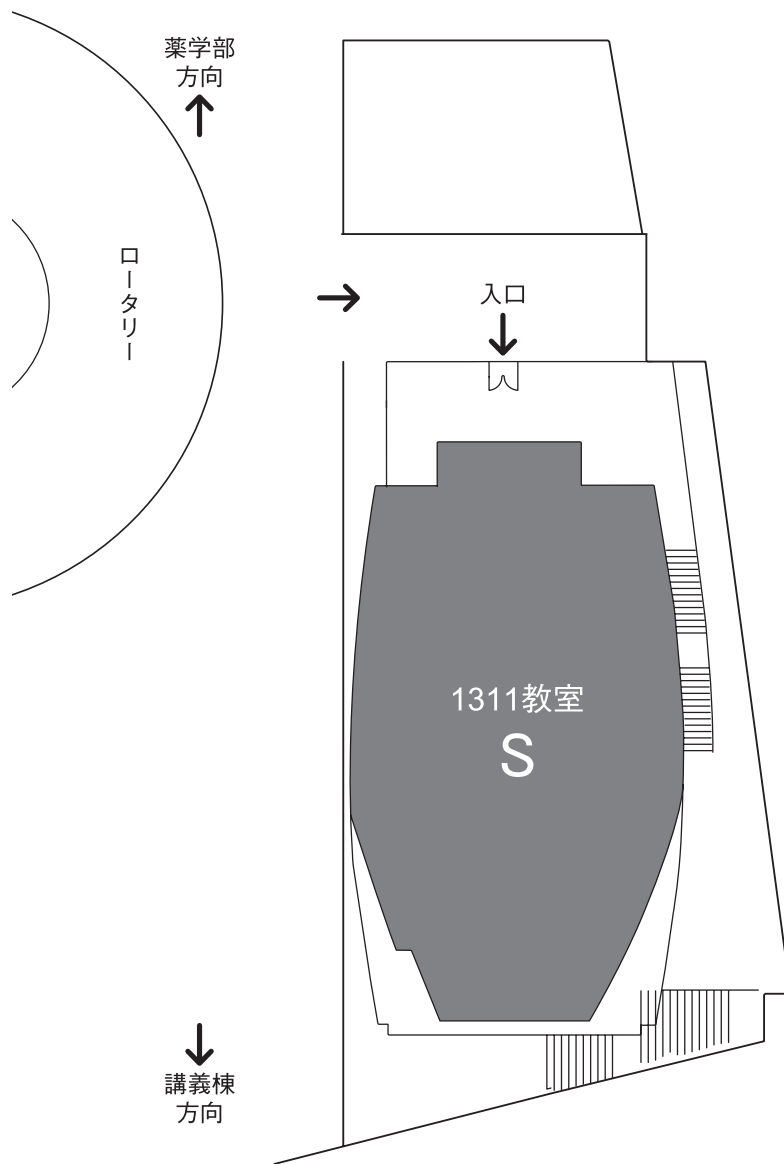


講義棟 4階

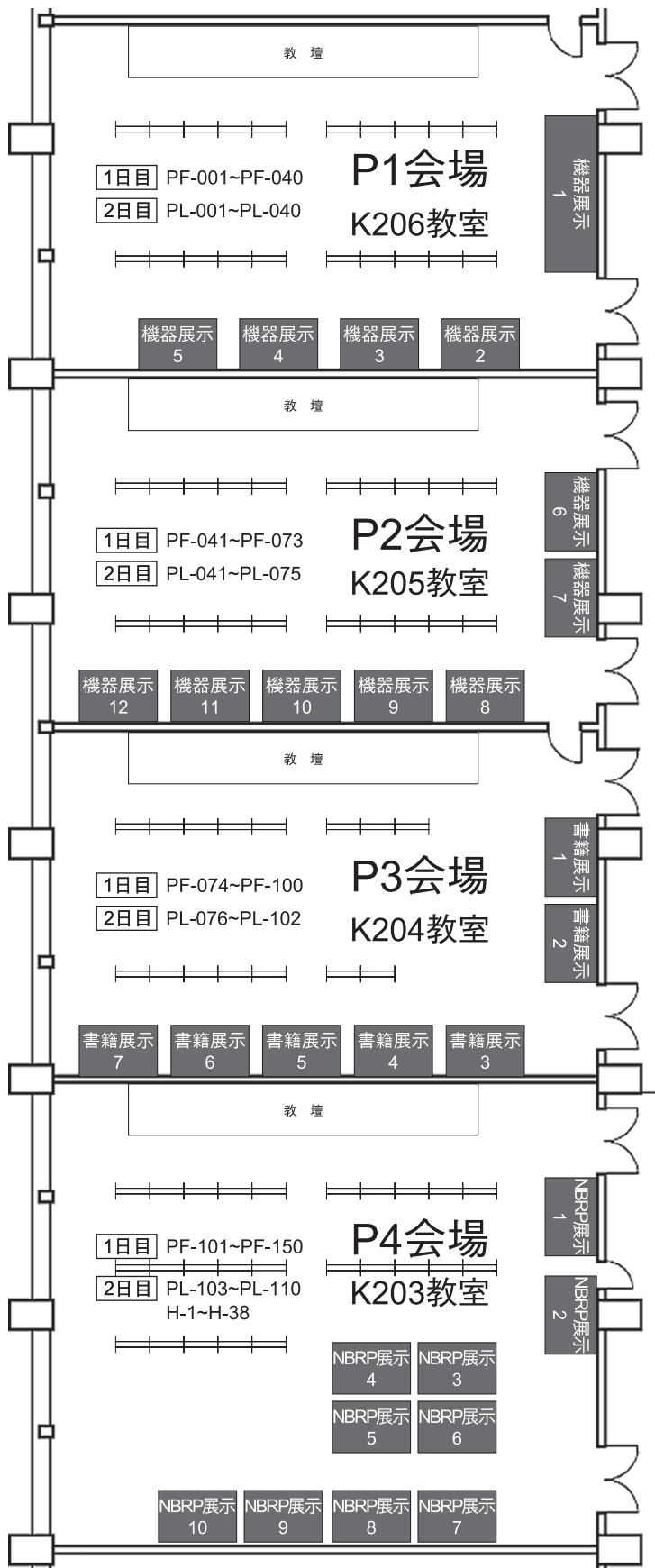


会場配置図

13号館



ポスター・企業団体展示詳細配置図



出展企業・団体一覧

機器展示

- 1 株式会社日本医化器械製作所
- 2 IBBP (大学連携バイオバックアッププロジェクト)
- 3 先端バイオイメージング支援プラットフォーム
- 4 東京化成工業株式会社
- 5 中立電機株式会社
- 6 株式会社ファスマック
- 7 ナモト貿易株式会社
- 8 マイクロ・イクイップメント株式会社
- 9 株式会社ニコインステック
- 10 関東化学株式会社
- 11 旭光通商株式会社
- 12 ネットパジーン株式会社

書籍展示等

- 1 エルピクセル株式会社
- 2 American Society of Plant Biologists
- 3 株式会社朝倉書店
- 4 株式会社エヌ・ティー・エス
- 5 シュプリンガー・ジャパン株式会社
- 6 〃
- 7 包み屋 (くるみや)

NBRP 展示

- 1 NBRP オオムギ
- 2 NBRP コムギ
- 3 NBRP イネ
- 4 NBRP 広報室
- 5 NBRP シロイヌナズナ
- 6 NBRP 広義キク属
- 7 NBRP アサガオ
- 8 NBRP トマト
- 9 NBRP ミヤコグサ・ダイズ
- 10 NBRP 藻類

大会に参加される方へ

受付と全般的注意

- (1) 受付は9月8日(金)8時30分から、大会受付(講義棟1階 玄関ロビー)で行います。当日参加、関連集会、年会費納入、学会入会の受付も行います。
- (2) 会場内では必ず名札を着用してください。名札ケースは受付付近に準備しています。事前参加登録をお済ませの方には、参加証(名札)をお送りしています。
- (3) 大会受付付近に大会専用掲示板を設けます。伝言板としてご利用ください。
- (4) 発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳に禁止します。

研究発表

▶ 口頭発表(一般講演)

- (1) 発表時間は、1 演題につき PC の接続時間を含め 15 分です。円滑な進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答を目安にしてください。
- (2) 発表は各会場に備え付けの液晶プロジェクターのみで行います。発表用の PC はご持参ください。大会実行委員会では PC の準備はしておりません。
- (3) PC の操作ならびに接続は演者自身が行ってください。大会実行委員会では、PC ならびにプロジェクターの取り扱いに関するスタッフは配置しておりません。
- (4) 接続はミニ D-sub15 ピン(VGA 端子)です。Macintosh など特殊な接続アダプター・変換プラグ・ケーブルが必要な場合は、必ずご持参ください。
- (5) PC に電源を接続しないと、正常にプロジェクターに出力できないケースがあります。この現象は、MacBook Air でよく起こります。またバッテリーが弱っている場合にも起こりえます。円滑な進行のため、電源アダプターとケーブルを各自ご持参ください。
- (6) 試写は試写室または発表会場をお願いいたします。発表会場では、各セッションの開始 30 分前から試写が可能です。事前に、お持ちの PC の動作をご確認下さい。
- (7) 会場内のスクリーンは各会場に備え付けの 1 枚のみです。複数の機器による同時投影はできません。
- (8) 液晶プロジェクターは、演台(操作卓)に備え付けの 2 本のケーブルで PC を接続します。次演者は空いている方のケーブルを用い、自身の PC に接続の上、次演者席でお待ちください。外部モニターの認識にリスタートが必要な場合は予めリスタートをしておいてください。前の演者の発表が終了したら、ご自身の PC を演台まで運び、接続されている方のボタンを押してプロジェクターから投影されている映像を切り替えてください。発表が終了した演者は速やかに PC の接続を外してください。
- (9) 発表には液晶プロジェクターのみが使用できます。液晶プロジェクターの解像度は 1024×768 (アスペクト比率 4:3) ですのでパソコンの解像度も 1024×768 に設定してください。ワイド画面および A4 には対応しておりませんのでご注意ください。

▶ シンポジウム

- (1) 進行は各オーガナイザーに一任いたします。次の行事予定が入っている会場もありますので、予定時間通りに終了するよう時間配分にご留意ください。
- (2) PC の接続などは、一般講演と同様の要領です。

▶ ポスター発表

- (1) 会場は講義棟 2 階 P1 ~ P4 会場です。入口のポスター受付でポスター配置表を確認してください。ポスターは、幅 80 cm × 高さ 150 cm の範囲で作成してください。演題番号(ポスターボード左上 幅 15 cm × 高さ 10 cm)ならびに貼付用のピンは、大会実行委員会にて準備します。
- (2) ポスターの貼り付けおよび撤去
前半(PF): 9月8日(金)8:30 から貼り付け可能です。9月9日(土)の 14:50 ~ 15:00 の間に撤去してください。
後半(PL): 9月9日(土)15:00 から貼り付け可能です。9月10日(日)の 12:00 ~ 12:10 の間に撤去してください。
- (3) ポスター発表の日時は以下の通りです。
前半(PF): 9月9日(土)13:20 ~ 14:50 後半(PL): 9月10日(日)10:30 ~ 12:00
- (4) 高校生による研究ポスター発表は9月10日(日)10:30 ~ 12:00 です。この時間帯に発表および質疑応答を行います。

発表記録電子版

今回の大会では、参加者に発表記録の電子版を提供します。提供するファイルは、EPUB形式（いわゆる電子ブック）で、iOS、Mac、Android、Windowsの電子ブックソフトウェアで利用できます。

(1) 動作確認が出来るソフトウェア

Mac、iPhone、iPad、iPod：標準装備のiBooks

Android：Moon+ Reader（フリーウェア）、NeoSoar eBook（フリーウェア）

Android 端末用のソフトウェアには様々なものがあり、仕様が統一されていないため、日本語フォントが少しおかしいものや、しおり機能を使えないものがありますので、ご注意ください。上記ソフトについては、当方で正常に動作することを確認しています。

Windows：Calibre、Adobe Digital Editions（Adobe社製）。

提供する電子ブックファイルは、いずれの機器・ソフトウェアでも共通です。これらのソフトウェアは、いずれも無料でダウンロードすることができます。

(2) 閲覧の方法

Mac の場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルをクリックすると自動的にiBooksで開くことができます。

iPhone、iPod、iPad の場合

アイコンをクリックすると、直接iBooksで開くことができます。

Android 端末の場合

アイコンをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。EPUB用ソフトウェアで開いてください。

Windows の場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルを、あらかじめPCにインストールしてあるEPUB用のソフトウェアで開いてください。関連づけしてあれば、プログラムでEPUBファイルをクリックするだけで、そのまま開くことも出来ます。

電子ブックの通常の機能として、文字サイズの変更、しおりの記憶・呼び出し、検索が出来ます。なお、電子ブックの画面は、上下スクロールしません。通常の本と同じように、ページを右から左に繰ってください。

また、本大会では、発表記録のPDF版も公開する予定ですので、合わせてご利用下さい。

電子ブック正規版とPDF版のダウンロードには、IDとパスワードが必要になります。ダウンロードサイトのURL、ダウンロードに必要なIDは、参加登録者にメールでお知らせします。また、大会当日に会場でもお知らせします。パスワードは、大会参加証に記載されています。

日程

9月7日（木）

時間	内容	会場
12:00～14:00	JPR編集委員会	講義棟3階 H会場
14:30～16:30	JPR拡大編集委員会	講義棟3階 H会場
15:00～16:30	運営委員会	講義棟3階 I会場
12:00～18:00	関連学会集会：日本植物形態学会	講義棟2階 P3, P4会場
17:00～20:00	臨時代議員会	講義棟3階 I会場

9月8日（金）〈第1日目〉

時間	内容	会場
8:30～	受付	講義棟1階 玄関ロビー
9:30～12:30	口頭発表・シンポジウム	講義棟1～3階 A～J会場
12:45～13:45	ランチョンセミナー	講義棟1階 A, B会場
14:00～17:30	口頭発表・シンポジウム	講義棟1～3階 A～J会場
17:30～18:30	ポスタービュー	講義棟2階 P1～P4会場
17:30～18:30	ミキサー	講義棟2階 休憩室
18:00～20:00	関連学会集会 スペース・モス	講義棟3階 F会場
18:00～20:00	関連学会集会 日本シダ学会	講義棟3階 G会場
18:00～20:00	関連学会集会 広がる水生植物の植物学	講義棟3階 H会場
18:00～20:00	関連学会集会 第6回 日本原形質連絡勉強会	講義棟3階 I会場

9月9日（土）〈第2日目〉

時間	内容	会場
9:00～12:00	口頭発表・シンポジウム	講義棟1～3階 A～J会場
12:15～13:15	ランチョンセミナー	講義棟1階 A会場
12:15～13:15	学会賞選考委員会	講義棟3階 I会場
12:15～13:15	JPR 将来構想委員会	講義棟3階 H会場
13:20～14:50	ポスター発表（前半：PF）	講義棟2階 P1～P4会場
15:00～18:00	授賞式・受賞講演・会員の集い	13号館 S会場
18:30～20:30	懇親会	カナル会館1階

9月10日（日）〈第3日目〉

時間	内容	会場
9:00～11:00	口頭発表	講義棟2～3階 D～J会場
9:00～11:00	理事会主催シンポジウム	講義棟1階 A会場
9:30～10:30	ポスタービュー	講義棟2階 P1～P4会場
11:30～12:30	男女共同参画ランチョンセミナー	講義棟1階 A会場
10:30～12:00	ポスター発表（後半：PL）	講義棟2階 P1～P4会場
10:30～12:00	高校生研究ポスター発表	講義棟2階 P4会場
13:00～13:15	高校生研究ポスター発表 表彰式	講義棟1階 A会場
13:15～17:30	公開講演会	講義棟1階 A会場
16:30～17:30	東京理科大学理窓会記念自然公園 自然観察ツアー	東京理科大学理窓会記念自然公園 (集合場所：講義棟1階 A会場)
13:30～15:00	拡大広報・電子出版物編集委員会	講義棟3階 I会場
15:00～17:00	大会引継ぎ	講義棟3階 I会場

関連学会集会

植物学会開催中に以下の関連学会集会在開催されます。

(1) 日本植物形態学会第29回総会・大会

9月7日(木) 12:30～13:15 総会 講義棟1階 B会場
15:00～17:45 ポスター発表 講義棟2階 P3～P4会場

(2) スペース・モス

9月8日(金) 18:00～20:00 F会場

1. 藤田 知道(北海道大学大学院・理学研究院)

「ISS きぼう船内実験に向けた準備状況」

2. 日渡 祐二、大塚 沙穂子(宮城大学大学院・食産業)

「きぼう船内実験に向けた植物先端成長の動態解析」

3. 半場 祐子、安田 柚里(京都工芸繊維大学・応用生物学系)

「宇宙ステーションにおけるヒメツリガネゴケの成長・光合成応答を推定する一過重力応答実験の結果から」

4. 森 耀久(富山大学大学院・理工学研究部(理学))

「多様な植物における過重力の影響」

5. 唐原 一郎(富山大学大学院・理工学研究部(理学))

「スペース・シード試料における根系の可視化の試み」

6. 久米 篤(九州大学大学院・農学研究院)

「宇宙ステーションにおける植物栽培実験の問題点」

世話人: 藤田 知道(北海道大学大学院・理学研究院) tfujita@sci.hokudai.ac.jp

興味ある方の自由な参加を歓迎いたします。

(3) 日本シダ学会

9月8日(金) 18:00～20:00 G会場

1. 新田 ジョエル(国立科学博物館・植物研究部)

「モーレア島とタヒチ島(フランス領ポリネシア)のシダ植物フロラ: DNA バーコードによる群集構造解析」

2. 高山 浩司(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

「フランス領ポリネシアにおける汎熱帯種子海流散布植物の分布と内陸環境への進出」

世話人: 村上 哲明(日本シダ学会・代表; 首都大学東京・牧野標本館) nmurak@tmu.ac.jp

本関連集会是日本シダ学会の会員であるかどうかとは無関係に、植物学会の大会参加者の方なら、どなたでも無料で参加していただけます。また、話題提供者の一人は、シダ植物ではなくて被子植物を研究対象にしている高山さんです。ポリネシア地域、あるいは植物の分布や適応進化に興味のある方は、どうか奮ってご参加下さい。

(4) 拡がる水生植物の植物学

9月8日(金) 18:00～20:00 H会場

1. 黒沢 高秀(福島大・共生システム理工学類)

「水生植物の現在・過去・未来」

2. 原田 英美子(滋賀県大・環境科学)

「沈水植物オオカナダモのマンガン集積性における付着微生物の寄与」

3. 永川 栄泰(都立産業技術研究センター)

「水生植物における放射性セシウムの蓄積状況及び吸収経路の解明」

4. 首藤 光太郎(新潟大・教育)

「水生植物相の標準調査法の開発とその評価に向けて」

5. 小山 光彦(東京工業大・環境・社会理工学院)

「メタン発酵による沈水植物のバイオガス化」

6. 稗田 真也(滋賀県大・院・環境科学)

「特定外来生物オオバナミズキンバイの生活史特性からわかったこと」

世話人: 原田 英美子(滋賀県大・環境科学) harada.e@ses.usp.ac.jp

黒沢 高秀(福島大・共生システム理工学類) kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

水生植物を対象とし、生態学上の位置づけから有効利用法の開発まで、学問領域をまたいで議論します。追加の参加費などは不要です。興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

(5) 第6回 日本原形質連絡勉強会

9月8日(金) 18:00～20:00 I会場

世話人：川出 健介(岡崎統合バイオ/基生研) kawa-ken@nibb.ac.jp

自由参加という形式をとっていませんので、興味のある方は、前日(9月7日)までに世話人の川出健介までお問い合わせ下さい。

男女共同参画ランチョンセミナー

(公益社団法人日本植物学会・男女共同参画委員会主催)

「パパ育休とったよ～男性研究者の育休ライフ」

9月10日(日) 11:30～12:30 A会場

会場に150名分の昼食(弁当・飲料)をご用意します。参加ご希望の方は、セミナー当日の午前8時30分から総合受付で配布する整理券をお受け取り下さい。整理券を発行する際に、参加証が必要ですのでご注意ください。セミナー開始前に「男女共同参画」と印字された整理券と引き替えに昼食をお渡しします。昼食の配布は、150名分に限りさせていただきますが、整理券をお持ちでない方もセミナーには参加していただけます。

内容：2016年度の男性育休取得率は過去最高の3.16%、一方、女性の取得率は80%を越えています。男性の育休取得を阻むものは、社会の労働システムなのか？男性自身の意識なのか？と問題点を検討するばかりでなく、男性が育休を取ることで「得たもの」について、視点を広げるランチョンセミナーを企画しました。

今年度は、育児休業を取得した3人の男性研究者にパネリストとしてご登壇いただき、育児休業取得に至った経緯、休業中の経験、休業後の復帰過程、そして、育児休業によって得られたもの、について広く深く語っていただきます。パートナーとの仕事と育児の両立生活において、男性が育児休業を取得する意義を一緒に考えてみませんか。

日本植物学会会長挨拶

三村 徹郎(神戸大学大学院・理学研究科・教授)

日本植物学会における男女共同参画の現状

今泉(安楽)温子(農研機構・生物機能利用研究部門・上級研究員)

パネルディスカッション：「育児休業はいかがでしたか？」育休を取得した男性研究者達に聞く

小林 裕樹(自然科学研究機構・基礎生物研究所・共生システム研究部門・研究員)

東馬 哲雄(東京大学大学院・理学系研究科・附属植物園・助教)

奥山 雄大(国立科学博物館・植物研究部・多様性解析・保全グループ・研究員)

司会：寿崎 拓哉(筑波大学・生命環境系・准教授)

ランチョンセミナー

大会期間中に、以下のランチョンセミナーを開催します。各会場に150名分の昼食(弁当・飲料)をご用意します。参加ご希望の方は、セミナー当日の午前8時30分から総合受付で配布する整理券をお受け取り下さい。整理券を発行する際に、参加証が必要ですのでご注意ください。セミナー開始前に整理券と引き替えに昼食をお渡しします。昼食の配布は、1会場あたり150名分に限りさせていただきますが、整理券をお持ちでない方もセミナーには参加していただけます。

農業工業会

9月8日(金) 12:45～13:45 A会場

「食料生産の重要性と農業の役割」

廣岡 卓(農業工業会 事務局長)

世界の人口は現在73億人を超え、2050年には90億人に達するだろうと推測されており、さらに新興国の経済成長により、グローバルに食料需要の拡大傾向が続いています。このような社会的な背景において、安定的かつ持続的な食料供給を支えるための生産資材として農業の果たす役割はますます大きくなると考えています。このセミナーでは、「食料生産の重要性と農業の役割」について知っていただくために、以下の5つのポイントについて解説します。

①食料生産の重要性、②農業の役割、③科学的データによる安全性の裏付け、④農業の適正使用、⑤環境への配慮

バイテク情報普及会

9月8日(金) 12:45～13:45 B会場

「開発企業から見た世界と日本の遺伝子組換え作物の現状」

今井 康史(バイテク情報普及会)

高橋 靖幸(バイテク情報普及会)

バイテク情報普及会（英名：Council for Biotechnology Information Japan, CBIJ）は、遺伝子組換え作物の開発企業の日本法人によって2001年10月1日に設立された任意団体である。当会は、その上部団体の国際組織「クロップライフ・インターナショナル（本部ブリュッセル）」のビジョンである「持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献」を念頭に、サイエンスベースで透明性ある許認可システムの構築を支援するための活動や幅広いステークホルダーにバイオテクノロジーの重要性を理解いただくための様々な広報活動を行っている。

本セミナーでは、こうした活動概要の紹介のほか、当会が提供している遺伝子組換え作物の情報の概要、世界における遺伝子組換え作物の開発・普及状況など、バイオテクノロジーの研究に携わる方々や教育関係者にも活用できるような各種情報を紹介する。また、遺伝子組換え作物の開発企業である会員各社がバイオテクノロジーに関連して日本でのどのような業務を行っているか、その活動内容についても紹介する。

LPixel Inc. & Hasezawa Lab.

9月9日（土） 12:15～13:15 A会場

「人工知能を活用したクラウド型画像解析プラットフォーム IMACEL」

朽名 夏磨（エルピクセル株式会社 研究開発本部）

画像解析は電子顕微鏡による超解像像から、人工衛星やドローンにより得られる個体群画像・圃場画像のオーダーまで、植物科学を幅広いスケールで支える技術です。近年ますます膨大化しつつある生物画像に対して、研究者それぞれにとって適切な画像解析手法をいかに速やかに確立するかは、研究促進の鍵といえます。IMACELは、人工知能を活用し、高度な画像解析に対する知識がなくとも簡単かつ短時間に画像から定量的・客観的なデータの取得を行うために、エルピクセルが提供する新しい画像解析プラットフォームです。

公開講演会

以下の内容で公開講演会を開催します。大会参加者の方々も自由に参加できます。キャンパス内の自然公園のツアーも含めて、是非、一般の方々や高校生と交流して頂ければ幸いです。詳しくは公開講演会のページや公開講演会要旨集をご覧ください。

「植物の生き方・人との共生」

日時：平成29年9月10日（日） 13:15～17:30

会場：東京理科大学野田キャンパス講義棟1階A会場

主催：公益社団法人日本植物学会

本講演会は、JSPS科研費・研究成果公開促進費 JP17HP0017 の助成を受けたものです。

公開展示

講義棟1階公開展示会場で、以下の内容の公開展示を行います。休憩スペースも用意されています。

展示期間：9月8日（金）9:30～16:30 / 9日（土）9:00～14:50 / 10日（日）9:00～16:00

- 1) 植物って何だろう？植物の体の中を見てみよう！
- 2) 利根川水系に生きる希少な植物
- 3) 植物細胞壁のミクロな世界（科学研究費新学術領域研究「植物細胞壁の情報処理システム」）
- 4) 光る花と植物のバイオテクノロジー
光る花、生きたクラゲのGFPの観察、遺伝子組換え技術を用いた花 他
- 5) 東京理科大学近代科学資料館所属の「植物学」明治期の教科書

クローク

クロークは講義棟4階K409教室に設置しています。1階から4階への直通エスカレーターをご利用ください。

クロークの利用時間は以下の通りです。

9月8日（金） 8:30～18:30 / 9月9日（土） 8:30～18:30 / 9月10日（日） 8:30～17:30

インターネット

会場内では、学外者向け無線LANがご利用可能です。パスワードなどの接続に必要な情報は、大会参加証に記載されています。また、大会会場内でもお知らせします。

食堂・売店等

大会1日目（9月8日（金））

学内の食堂（カナル会館1階）をご利用ください。カナル会館前の道路は公道です。横断には十分ご注意ください。ランチョンセミナーのお弁当、生協の購買部、セブンイレブン、および学外のレストランもご利用いただけます。

大会2日目（9月9日（土））

学内の食堂（カナル会館1階）をご利用ください。

ランチョンセミナーのお弁当、セブンイレブン、および学外のレストランもご利用いただけます。

大会3日目（9月10日（日））

学内の食堂ならびに売店はご利用いただけません。

男女共同参画ランチョンセミナーのお弁当や学外のレストランをご利用ください。

休憩室

大会期間中、参加者の皆様の情報交換、および、リフレッシュのために休憩室を設けています。休憩室は、講義棟2階K201教室、および、3階K302教室にあります。どうぞご利用下さい。講義棟は全面禁煙です。喫煙室は講義棟1階奥C会場前の階段横にあります。大会3日目（9月10日）には、2階休憩室は高校生の控室となりますので、3階休憩室をご利用ください。

ミキサー

9月8日（金）17:30～18:30に、講義棟2階休憩室でミキサーを開催します。ビールまたはソフトドリンク、おつまみなどを準備する予定です。多数の皆さんのお越しをお待ちいたします。

会員の集い

9月9日（土）受賞講演後、13号館S会場にて、17:10～18:00に会員の集いを開催します。植物学会運営委員会より、学会の現状と今後の活動予定について説明いたします。植物学会について知る良い機会ですので、会員の皆様はぜひご参加ください。

懇親会

懇親会は9月9日（土）18:30から野田キャンパス内、カナル会館で開催します。事前に申し込まれていない方も当日参加を受け付けますので、ご希望の方は大会総合受付にて、当日の午前中までにお申し込みください。

託児室

託児室は、事前に申し込まれた方のみを対象としています。詳細は、申し込まれた方に直接お知らせします。託児室に関するお問い合わせにつきましては、千葉大学 井川（tigawa@chiba-u.jp）までお願いいたします。

高校生研究ポスター発表

高校生による研究ポスター発表、および、高校生研究ポスター発表表彰式を、以下の通り行います。次世代の植物科学者になる高校生の活発な発表にも是非足をお運びいただき、積極的にご質問・アドバイスをいただけるようお願いいたします。

高校生研究ポスター発表要旨を必要とされる方は、大会受付でお申し出ください。また、審査に参加いただける会員の方は、当日P4会場入り口におります係の者から投票用紙を受け取り、事前にお問い合わせ致しました審査員の方々も含めまして、P4会場入り口にある箱に審査用紙を入れて審査を12:00までに完了していただけますように、お願いいたします。

高校生研究ポスター発表

9月10日（日） 10:30～12:00 講義棟2階P4会場

高校生研究ポスター発表 表彰式

9月10日（日） 13:00～13:15 講義棟1階A会場

その他

近隣情報

利根運河交流館：<http://toneunngakouryuukann.web.fc2.com/sisetu.html>

流山おおたかの森S・C：<http://www.otakanomori-sc.com/>

野田市・流山市内の見どころ、名産品等の情報は、下記ホームページをご覧ください。

野田市観光協会サイト：<http://www.kanko-nodacity.jp/>

流山市観光協会サイト：<http://www.nagareyamakankou.com/>

大会についての問い合わせ先、事務局

▶ 9月6日（水）まで

＜大会・プログラム等に関するお問い合わせ＞

日本植物学会第81回大会 事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学理工学部 応用生物科学科 松永研究室

E-mail: bsj2017@rs.tus.ac.jp

＜オンライン登録システム、参加費のお支払等に関するお問い合わせ＞

日本植物学会第81回大会 サポートデスク

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る 中西印刷 学会フォーラム内 担当：森川・大西

E-mail: bsj2017_support@nacoss.com

▶ 9月7日（木）～10日（日）までの4日間

日本植物学会第81回大会本部

東京理科大学 野田キャンパス 講義棟3階 K309教室

E-mail: bsj2017@rs.tus.ac.jp

プログラム

Program

日程表 —— 第1日目 9/8 (Fri)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	講義棟 K103		JPR国際シンポジウム Regulatory networks in plant growth and development			ランチョン セミナー 農業工業会		JPR国際シンポジウム Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses					
B	講義棟 K102		シンポジウム 環境に応じた光合成機能の 最適化			ランチョン セミナー バイテク 情報普及会		シンポジウム カロテノイド：その多様性と 普遍性が切り拓く新展開					
C	講義棟 K101		シンポジウム 植物細胞分裂を制御する 生体分子システムの破壊 と新生のメカニズム					シンポジウム 究極のオルガネラ研究					
D	講義棟 K207		□頭発表 生態 代謝					□頭発表 代謝					
E	講義棟 K202		□頭発表 細胞骨格	受賞講演	□頭発表 遺伝子 発現制御			□頭発表 遺伝子発現制御					
F	講義棟 K306		□頭発表 分類, 系統, 進化					□頭発表 分類, 系統, 進化			関連学会集会 スペース・モス		
G	講義棟 K305		□頭発表 発生					□頭発表 発生			関連学会集会 日本シダ学会		
H	講義棟 K304		□頭発表 環境応答					□頭発表 環境応答		受賞講演	関連学会集会 拡がる水生植物の 植物学		
I	講義棟 K303		□頭発表 細胞増殖, 細胞分化				受賞講演	□頭発表 ゲノム, プロテオーム			関連学会集会 第6回日本原形質 連絡勉強会		
J	講義棟 K301		□頭発表 細胞内小器官				受賞講演	□頭発表 細胞内小器官					
ポスター	講義棟 P1~P4										ポスター ポスター ビュー		
休憩室	講義棟 K201										ミキサー		

日程表 —— 第2日目 9/9 (Sat)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
A	講義棟 K103	シンポジウム 植物オートファジー研究の 第二の夜明け				ランチョン セミナー	LPixel Inc. & Hasezawa Lab.							
B	講義棟 K102	シンポジウム 植物の柔軟な発生を支える 細胞骨格ダイナミクス												
C	講義棟 K101	シンポジウム ポストゲノム時代の ヒルガオ科研究												
D	講義棟 K207	□頭発表 光合成			受賞 講演									
E	講義棟 K202	□頭発表 細胞壁												
F	講義棟 K306	□頭発表 分類, 系統, 進化			受賞 講演	□頭発表 形態								
G	講義棟 K305	□頭発表 発生												
H	講義棟 K304	□頭発表 環境応答			委員会会議 JPR 将来 構想委員会									
I	講義棟 K303	□頭発表 生殖			受賞 講演	委員会会議 学会賞選 考委員会								
J	講義棟 K301	□頭発表 植物微生物相互作用												
ポスター	講義棟 P1~P4						ポスター ポスター発表 (前半: PF)							
S	13号館 1311								学会賞 / 会員の集い 授賞式 大賞・学術賞 受賞講演 会員の集い					
カナル会館													懇親会	

日程表 —— 第3日目 9/10 (Sun)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	講義棟 K103	理事会主催 シンポジウム あなたの研究は伝 わっていますか？			ランチョン セミナー 男女共同 参画		公開講演会 ● 植物の生き方・人との共生						
B	講義棟 K102						高校生研究ポスター発表 表彰式						
C	講義棟 K101												
D	講義棟 K207	□頭発表 生体膜 遺伝											
E	講義棟 K202	□頭発表 成長生理											
F	講義棟 K306	□頭発表 形態											
G	講義棟 K305	□頭発表 発生											
H	講義棟 K304	□頭発表 発生											
I	講義棟 K303	□頭発表 生殖						委員会会議 拡大広報・ 電子出版物 編集委員会	委員会会議 大会引継ぎ				
J	講義棟 K301	□頭発表 光合成											
ポスター	講義棟 P1~P4		ポスター ポスター ビュー	ポスター	ポスター発表 (後半: PL) 高校生 ポスター発表								

学会賞授賞式 および 受賞講演

9月9日 (土) 15:00~18:00 S会場

15:00~15:20	授賞式
15:20~15:40	受賞研究内容紹介 (奨励賞・若手奨励賞受賞者)
15:40~16:10	学術賞受賞講演 沈 建仁「光合成光化学系IIと光化学系I複合体の構造と機能に関する研究」
16:10~16:50	大賞受賞講演 大隅 良典「小さな酵母細胞に魅せられた40年」
16:50~17:00	集合写真撮影
17:10~18:00	会員のつどい
18:30~	懇親会

●大 賞

9/9 16:10-16:50 S会場 座長：朽津 和幸 (大会会長・東京理科大)

大隅 良典 (東京工業大学 科学技術創成研究院)

小さな酵母細胞に魅せられた 40 年

●学 術 賞

9/9 15:40-16:10 S会場 座長：久堀 徹 (東工大)

沈 建仁 (岡山大学 異分野基礎科学研究所)

光合成光化学系 II と光化学系 I 複合体の構造と機能に関する研究

●奨 励 賞 1aE-AL1 細胞骨格

9/8 11:00-11:30 E会場 座長：佐野 俊夫 (法政大)

檜垣 匠 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

定量的画像解析に基づく植物細胞骨格の研究

●奨 励 賞 1pI-AL1 ゲノム、プロテオーム

9/8 14:00-14:30 I会場 座長：河野 重行 (東京大)

風間 裕介 (理化学研究所 仁科加速器研究センター)

重イオンビームの変異特性に関する研究とそれを利用した植物巨大Y染色体の精密マッピング

●奨 励 賞 1pJ-AL1 細胞内小器官

9/8 14:00-14:30 J会場 座長：宮城島 進也 (国立遺伝研)

吉田 大和 (理化学研究所 生命システム研究センター)

色素体とミトコンドリアの分裂増殖システムを読み解く：一分子から一細胞レベルまでの定量的な理解へ向けて

● 奨励賞 2aF-AL1 分類, 系統, 進化

9/9 10:45-11:15 F会場 座長: 渡邊 幹男 (愛知教育大)

末次 健司 (神戸大学 理学研究科生物学専攻)

菌従属栄養植物の分類学的整理と生態解明

● 若手奨励賞 1pH-AL1 環境応答

9/8 16:15-16:45 H会場 座長: 小松 節子 (筑波大)

高橋 大輔 (Max-Planck-Institute of Molecular Plant Physiology)

細胞膜および細胞膜マイクロドメインの低温馴化応答性と凍結耐性

● 若手奨励賞 2aD-AL1 光合成

9/9 11:00-11:30 D会場 座長: 日原 由香子 (埼玉大)

小川 敬子 (関西学院大学 理工学部)

クロロフィル蛍光測定によるシアノバクテリアの代謝系相互作用の解析

● 若手奨励賞 2aI-AL1 生殖

9/9 11:30-12:00 I会場 座長: 岡本 龍史 (首都大)

大西 由之佑 (首都大学東京 理工学研究科 生命科学専攻)

被子植物における核合一制御機構: イネ *in vitro* 受精系を用いた構成的アプローチ

特別賞

● 教育

飯田 秀利 (東京学芸大学・名誉教授)

研究者であることを生かした小学生への生物教育実践

2017年度JPR論文賞

[Best Paper Award]

Satoko Iida, Miyuki Ikeda, Momoe Amano, Hidetoshi Sakayama, Yasuro Kadono and Keiko Kosuge (2016) Loss of heterophylly in aquatic plants: not ABA-mediated stress but exogenous ABA treatment induces stomatal leaves in *Potamogeton perfoliatus*. J. Plant Res. 129: 853–862.

Riichiro Yoshida, Izumi C. Mori, Nobuto Kamizono, Yudai Shichiri, Tetsuo Shimatani, Fumika Miyata, Kenji Honda and Sumio Iwai (2016) Glutamate functions in stomatal closure in *Arabidopsis* and fava bean. J. Plant Res. 129: 39–49.

[Most-Cited Paper]

Naoyuki Tajima, Shusei Sato, Fumito Maruyama, Ken Kurokawa, Hiroyuki Ohta, Satoshi Tabata, Kohsuke Sekine, Takashi Moriyama, Naoki Sato (2014) Analysis of the complete plastid genome of the unicellular red alga *Porphyridium purpureum*. J. Plant Res. 127: 389–397.

本シンポジウムは、JSPS 科研費 JP15HP1002 の助成を受けたものです。

Regulatory networks in plant growth and development

● オーガナイザー

諸橋 賢吾 (東京理科大・理工・応用生物科学)

Jenny Russinova (VIB, Ghent University, Belgium)

植物成長や発生などを制御する様々なネットワークを多角的な視野から議論する。演者として植物分野の大規模解析・システム生物学において、国際的に活躍する研究者を招待する。

9:30-10:00	1aSA01	A dynamics of gene regulatory networks involved in development and metabolism in <i>Arabidopsis</i> <u>Kengo Morohashi</u> (Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science)
10:00-10:30	1aSA02	Regulatory network in dark-grown <i>Arabidopsis</i> hypocotyl <u>Hoe-Han Goh</u> ¹ , Iqmal Asyraf Ilias ¹ , Kengo Morohashi ² (¹ Institut Biologi Sistem, Universiti Kebangsaan Malaysia, ² Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science)
10:30-11:00	1aSA03	Conserved transcription factors driving the evolution of defense metabolism in plants <u>Tsubasa Shoji</u> (Nara Institute of Science and Technology, Graduate School of Biological Sciences)
11:00-11:30	1aSA04	Understanding signal-driven self-organization in plants <u>Teva Vernoux</u> (CNRSENS)
11:30-12:00	1aSA05	Signal integration and specificity in brassinosteroid signaling <u>Jenny Russinova</u> ^{1,2} (¹ Department of Plant Biotechnology and Bioinformatics, Ghent University, 9052 Ghent, Belgium, ² Center for Plant Systems Biology, VIB, 9052 Ghent, Belgium)

環境に応じた光合成機能の最適化

共催：新学術領域「新光合成：光エネルギー変換システムの再最適化」（代表：皆川 純）

● オーガナイザー

矢守 航（東京大・院・理・生物科学）

高橋 俊一（基生研・環境生物学）

地球規模での人口増加によって、食糧やエネルギーの欠乏を招きつつある。光合成は植物のバイオマスを決定する最も重要な代謝であるため、光合成機能の向上はそれらの問題を根本的に解決する可能性がある。光合成機能を向上させるには、環境変化に対する植物の応答を理解し、その増強を検討する必要がある。本シンポジウムでは、光合成を包括的に捉え、光合成機能の最適化戦略について議論する。

9:30-9:35		はじめに 矢守 航
9:35-10:00	1aSB01	気孔開閉と植物光合成の関連研究 <u>Yin Wang</u> ^{1,2} , 戸田 陽介 ³ , 藤 茂雄 ³ , Wenxiu Ye ¹ , 木下 俊則 ^{1,3} (1名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 2名古屋大・高等研究院, 3名古屋大・理・生命理学)
10:00-10:25	1aSB02	タンパク質ジスルフィド結合還元開裂酵素高発現による光合成機能向上 <u>島田 裕士</u> (広島大・院・理・数理分子生命理学)
10:25-10:50	1aSB03	葉緑体を分解する2つのオートファジー経路とその環境応答性の違い <u>泉 正範</u> ^{1,2,3} (1東北大・学際研, 2東北大・院・生命科学, 3JST・さきがけ)
10:50-11:15	1aSB04	C4 光合成代謝調節因子 CP12-3 は、「浮動する環境」で機能する <u>古本 強</u> (龍谷大・農・植物生命)
11:15-11:40	1aSB05	PSI サイクリック電子伝達とシュードサイクリック電子伝達による光合成制御 <u>山本 宏</u> , 鹿内 利治 (京都大・院・理・植物分子遺伝学)
11:40-12:05	1aSB06	可視光変動光が光合成に与える影響と遠赤色光による補光効果 <u>河野 優</u> , 矢守 航, 寺島 一郎 (東京大・院・理・植物生態)
12:05-12:15		おわりに 高橋 俊一

9/8 9:30-12:10

C 会場

植物細胞分裂を制御する生体分子システムの破壊と新生のメカニズム

●オーガナイザー

大谷 美沙都 (奈良先端大・院・バイオサイエンス)

近年、さまざまな生体分子の挙動の高解像度解析が可能となり、植物細胞活動の制御には生体分子システムの積極的でダイナミックな変化が重要であることが分かりつつある。本シンポジウムでは、植物細胞の分裂制御に焦点を当て、細胞骨格、細胞周期エンジン、メタボローム、DNA・RNAの生合成と代謝、といった生体分子システムの動態を多角的に討論する。これによって、植物細胞分裂制御における生体分子システムの破壊と新生の役割を考え、その意義を議論したい。

9:30-9:35		はじめに
9:35-10:05	1aSC01	<p>受精による細胞極性の破壊と再構成 ～ライブイメージングで迫る受精前後の細胞内変化～</p> <p>植田 美那子^{1,2}, 木全 祐資², 加藤 壮英³, 檜垣 匠⁴, 山田 朋美^{1,2}, 栗原 大輔^{2,5}, 森田 (寺尾) 美代^{3,6}, 馳澤 盛一郎⁴, 東山 哲也^{1,2,5}, 田坂 昌生³ (1名古屋大・トランスフォー マティブ生命分子研究所, 2名古屋大・院・理, 3奈良先端大・院・バイオサイエンス, 4東 京大・院・新領域創成科学, 5名古屋大・JST-ERATO, 6名古屋大・院・生命農学)</p>
10:05-10:35	1aSC02	<p>転写因子は2度ベルを鳴らす ～減数分裂 siRNA の合成と細胞非自律的な花粉形成過程の制御～</p> <p>野々村 賢一 (遺伝研・実験圃場)</p>
10:35-11:05	1aSC03	<p>細胞分裂期の生体分子の挙動をシングルセルレゾリューションで知る —前・中・後・終期のオミックス解析</p> <p>大窪 (栗原) 恵美子 (理研・環境資源科学研究センター)</p>
11:05-11:35	1aSC04	<p>細胞分裂実行因子の発現制御 ～植物の一生を通じて働く転写制御複合体～</p> <p>伊藤 正樹 (名古屋大・院・生命農学)</p>
11:35-12:05	1aSC05	<p>植物細胞が分裂をためらう理由 ～脱分化を制御する RNA 代謝と転写のカップリング制御～</p> <p>大谷 美沙都^{1,2} (1奈良先端大・院・バイオサイエンス・植物代謝制御, 2理研・環境資源科 学研究センター)</p>
12:05-12:10		おわりに

本シンポジウムは、JSPS 科研費 JP15HP1002 の助成を受けたものです。

Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses

共催: 新学術領域「植物の成長可塑性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」(代表: 木下 俊則)

● オーガナイザー

柴田 美智太郎 (理研・環境資源科学研究センター)

最上 惇郎 (東京大・院・農学生命)

植物の環境適応機構をテーマに、発生や成長の制御、また遺伝子発現制御ネットワークなどの様々な角度から研究発表を行い、最新の知見に基づいた議論を行う。国内からはオーガナイザーである柴田と最上が、海外からは3名の当該分野で勢いのある若手研究者を招待する。

14:00-14:30	1pSA01	<p>The gene regulatory network of root hair development</p> <p><u>Michitaro Shibata</u>¹, Christian Breuer¹, Ayako Kawamura¹, Bart Rymen¹, Lewis Watt¹, Natalie M. Clark², Luke Braidwood¹, Rosangela Sozzani², Brady M. Siobhan³, Benfey N. Philip⁴, Keiko Sugimoto¹ (¹RIKEN, CSRS, ²Dept. of Plant and Microbial Biol., NC State Univ., ³Dept. of Plant Biol., UC Davis, ⁴Dept. of Biol., Howard Hughes Medical Instit., Duke Univ.)</p>
14:30-15:00	1pSA02	<p>Development of tomato root cell types in response to drought and flooding</p> <p><u>Kaisa Kajala</u> (Institute of Environmental Biology Utrecht University, the Netherlands)</p>
15:00-15:30	1pSA03	<p>Elucidation of SnRK2-mediated phosphorylation signaling under osmotic stress conditions</p> <p><u>Junro Mogami</u>¹, Fumiyuki Soma¹, Takuya Yoshida¹, Midori Abekura¹, Fuminori Takahashi², Satoshi Kidokoro¹, Junya Mizoi¹, Kazuo Shinozaki², Kazuko Yamaguchi-Shinozaki¹ (¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ²Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)</p>
15:30-16:00	1pSA04	<p>Prolonged growth duration partially compensates the growth rate reduction caused by mild drought</p> <p>Hironori Takasaki^{1,2}, Tom Van Hautegeem^{1,2}, Nathalie Wuyts^{1,2}, Kirin Demuyne^{1,2}, Jolien De Block^{1,2}, Dirk Inze^{1,2}, <u>Hilde Nelissen</u>^{1,2} (¹VIB center for Plant Systems Biology, ²Ghent University, Department of Plant Biotechnology and Bioinformatics)</p>
16:00-16:30	1pSA05	<p>Stressed! How plants cope through dynamic responses</p> <p><u>Dinney R. Jose</u> (Carnegie Institution for Science Department of Plant Biology)</p>

9/8 14:00-17:10

B会場

カロテノイド：その多様性と普遍性が切り拓く新展開

●オーガナイザー

篠村 知子 (帝京大・理工・バイオサイエンス)

池内 昌彦 (東京大・院・総合文化)

カロテノイドは原核生物から高等植物まで広く分布しているが、近年、光合成における機能のみならず、強光ストレス緩和や活性酸素種除去や微細藻類の走光性の調節機能等が明らかになり、カロテノイド合成系や機能発現に関わるシグナル分子などの調節機構も明らかになりつつある。微細藻類などのユニークな生物材料の研究や、最新の実験手法やトピックスを学会横断的に共有し、今後の研究の展開可能性について討論する機会としたい。

14:00-14:10	1pSB01	光に導かれての微細藻類カロテノイド研究事始め 篠村 知子 (帝京大・理工)
14:10-14:30	1pSB02	光合成におけるカロテノイドの機能解析 西山 佳孝 (埼玉大・院・理工・生命科学)
14:30-14:50	1pSB03	光合成細菌, シアノバクテリア, 藻類, 植物における多様なカロテノイド分子種と生合成経路の分布 高市 真一 (東京農大・生命科学・分子微生物)
14:50-15:10	1pSB04	<i>Euglena gracilis</i> のカロテノイドを介する光応答とその生理生態上の機能 加藤 翔太 (帝京大・理工)
15:10-15:30	1pSB05	ユーグレナのカロテノイド生合成系におけるシトクロム P450 の機能解析 玉木 峻, 今石 浩正 (神戸大・バイオシグナル総研セ)
15:30-15:50	1pSB06	クラミドモナス走光性における眼点カロテノイドの役割 若林 憲一 (東京工業大・科学技術創生研究院・化学生命科学研究所)
16:00-16:20	1pSB07	シアノバクテリアでのカロテノイド高蓄積のための遺伝子改変 松村 雅子 ¹ , 島田 尚弥 ¹ , 清田 浩史 ¹ , 奥田 裕紀子 ¹ , 高市 真一 ² , 梅野 太輔 ³ , 池内 昌彦 ¹ (¹ 東大・院・総合文化, ² 東京農大・生命科学, ³ 千葉大・院・工学)
16:20-16:40	1pSB08	カロテノイド生合成経路の「進化能」の探索 梅野 太輔, 李 伶, 大谷 悠介, 王 時飛, 河合 繁子 (千葉大・院・融合理工・先進理化学・共生応用化学)
16:40-17:00	1pSB09	誘導ラマン散乱による生きた微細藻類の無標識一細胞解析 鈴木 祐太 ¹ , 脇坂 佳史 ² , 合田 圭介 ^{2,3} , 小関 泰之 ¹ (¹ Department of Electrical Engineering and Information Systems, University of Tokyo, ² Department of Chemistry, University of Tokyo, ³ Department of Electrical Engineering, University of California, Los Angeles)
17:00-17:10		総合討論 池内 昌彦

究極のオルガネラ研究

●オーガナイザー

大矢 禎一（東京大・院・新領域創成科学）

大隅 正子（認定 NPO 法人総合画像研究支援，日本女子大）

酵母は実験室で扱いやすく、真核生物ではじめてゲノムが解読され、高等動植物の研究にも応用できることから、究極のモデル細胞とも呼ばれ多くの先導的な研究が行われてきた。なかでもオートファジーの研究に代表される出芽酵母のオルガネラ研究は今なおインパクトある研究が盛んに行われており、今までの常識を覆すような新しい知見が明らかになってきている。そこで本シンポジウムでは現在一線で活躍する生体膜とオルガネラ研究者が最新の研究成果を紹介し、新たな議論を深める場としたい。

14:00-14:28	1pSC01	酵母のライブイメージングで膜交通のパラダイムを覆す 中野 明彦 ^{1,2} （ ¹ 東京大・院・理・生物科学・発生細胞生物学， ² 理研・光量子工学・生細胞超解像イメージング）
14:28-14:56	1pSC02	スフィンゴ脂質長鎖塩基の代謝経路の解明 木原 章雄（北海道大・薬・生化学）
14:56-15:24	1pSC03	Unfolded protein response～オルガネラ異常検知メカニズム～ 木俣 行雄（奈良先端大・院・バイオサイエンス）
15:24-15:52	1pSC04	究極のオルガネラ管理機構：オートファジーによるオルガネラ破壊のメカニズム 中戸川 仁（東京工業大・生命理工学）
15:52-16:20	1pSC05	出芽酵母におけるミトコンドリアオートファジーの分子機構 神吉 智丈（新潟大・院・医）
16:20-16:48	1pSC06	核を巡る tRNA のダイナミクス 吉久 徹（兵庫県立大・院・生命理学・分子機械学）
16:48-17:15	1pSC07	酵母の細胞壁研究の魅力 大矢 禎一（東京大・院・新領域創成科学）

9/9 9:00-12:00

A会場

植物オートファジー研究の第二の夜明け

●オーガナイザー

吉本 光希 (明治大・農・生命科学)

朽津 和幸 (東京理科大・理工・応用生物学)

昨年10月に大隅良典教授がノーベル生理学医学賞を受賞しオートファジー研究が脚光を浴びる中、植物オートファジー分野の発展は未だ乏しい。その理由の一つに研究者人口が少ないことが挙げられる。最近、オートファジーを介した馴化・適応機構において、動物界と共通する基本コンポーネントを利用しつつも、植物独自のユニークな機能や役割の存在が数少ない国内研究者から発表されているが、これまで本分野の研究者が一同に介する場や、討論の場はほとんど設けられて来なかった。本シンポジウムでは、国内の本分野の研究者を集め、植物オートファジーの多様性とその高次機能について活発に議論し、それを通じて多くの植物研究者および学生にオートファジーについて興味と理解を深めてもらうことを目的とする。

9:00-9:05	2aSA01	はじめに 吉本 光希 (明治大・農・生命科学)
9:05-9:30	2aSA02	アンモニアストレスは2つのオートファジー過程に真逆の影響を与える 吉本 光希 (明治大・農・生命科学)
9:30-10:00	2aSA03	タバコ培養細胞を用いた植物オートファジーの解析 森安 裕二, 井上 悠子 (埼玉大・理・生体制御)
10:00-10:30	2aSA04	ゼニゴケを用いた精子形成過程におけるオートファジーの機能解析 法月 拓也 ^{1,2} , 上田 貴志 ^{2,3} (1東京大・院・理, 2基生研, 3総研大)
10:30-11:00	2aSA05	イネの生存戦略におけるオートファジーの重要性 来須 孝光 ^{1,2} , 朽津 和幸 ^{1,2} (1東京理科大・総合研究院, 2東京理科大・理工・応用生物学)
11:00-11:30	2aSA06	選択的クロロファジー駆動モデルの構築に向けて 中村 咲耶 ¹ , 泉 正範 ^{1,2,3} (1東北大・院・生命科学, 2東北大・学際研, 3JST・さきがけ)
11:30-11:35	2aSA07	おわりに 朽津 和幸 ^{1,2} (1東京理科大・理工・応用生物学, 2東京理科大・総合研究院)
11:35-12:00		総合討論 朽津 和幸, 吉本 光希

植物の柔軟な発生を支える細胞骨格ダイナミクス

●オーガナイザー

濱田 隆宏 (東京大・院・総合文化)

本瀬 宏康 (岡山大・院・自然科学)

細胞骨格は細胞分裂や伸長方向の制御に直接的に関わる構造物であり、その構築・制御ダイナミクスは柔軟な形態形成を行う植物の発生に必須である。本シンポジウムでは個体レベルでの柔軟な形態形成 (塚谷・嶋村)、最先端イメージングで明らかにされた詳細な細胞骨格動態 (村田・木全)、環境変化に応答した細胞骨格動態とその分子メカニズム (中村・濱田) について議論し、発生分野と細胞骨格分野のシームレスな融合と発展を目指す。

9:00-9:05		はじめに
9:05-9:35	2aSB01	葉における細胞分裂・細胞伸長の制御 塚谷 裕一 ^{1,2} (1東京大・院・理・生物科学, 2岡崎統合バイオサイエンスセンター)
9:35-10:00	2aSB02	青色光に応答した微小管ダイナミクス Masayoshi Nakamura ^{1,2} , Jelmer Lindeboom ² , David Ehrhardt ² (1名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 2Carnegie Institution for Science, Department of Plant Biology)
10:00-10:25	2aSB03	温度変化に応答した微小管ダイナミクス 濱田 隆宏 (東京大・総合文化)
10:25-10:50	2aSB04	分裂期から間期にかけての細胞骨格ダイナミクス 村田 隆 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・院・生命科学・基礎生物学)
10:50-11:15	2aSB05	受精卵の不等分裂を制御する細胞骨格ダイナミクス 木全 祐資 ¹ , 檜垣 匠 ² , 河島 友和 ^{3,4} , 栗原 大輔 ^{1,5} , 佐藤 良勝 ⁶ , 山田 朋美 ^{1,6} , 馳澤 盛一郎 ² , Frederic Berger ³ , 東山 哲也 ^{1,5,6} , 植田 美那子 ^{1,6} (1名古屋大・院・理, 2東京大・院・新領域創成科学, 3Gregor Mendel Institute, Austrian Academy of Sciences, 4Department of Plant Soil Sciences, University of Kentucky, 5JST, ERATO東山ライブホロニクス, 6トランスフォーマティブ生命分子研究所)
11:15-11:40	2aSB06	コケ植物の精子形成過程と細胞骨格 嶋村 正樹 (広島大・理・生物科学)
11:40-12:00		総合討論

9/9 9:00-12:00

C 会場

ポストゲノム時代のヒルガオ科研究

●オーガナイザー

小野 道之 (筑波大・遺伝子実験センター)

仁田坂 英二 (九州大・院・理)

アサガオ研究 100 年のイノベーションとしてアサガオの高精度ゲノム配列が発表され、ゲノム編集技術や NBRP によるリソースの整備も進展している。これらを受けて、ヒルガオ科植物としてのアサガオを用いた研究の現状を紹介する。同じヒルガオ科に属し独自の特徴を発揮しているサツマイモとネナシカズラと一同に介し、次のイノベーションに向けての課題を共有し、研究モデルとしてのヒルガオ科の魅力を広くアピールをする場としたい。

9:00-9:05		はじめに 小野 道之, 仁田坂 英二
9:05-9:30	2aSC01	アサガオのゲノム解読～古典遺伝学とロングリード NGS の融合～ 星野 敦 ¹ , Vasanthan Jayakumar ² , 仁田坂 英二 ³ , 榊原 康文 ² (1基生研, 2慶応大・理工, 3九州大・院・理)
9:30-9:55	2aSC02	アサガオ [<i>Ipomoea nil</i> (<i>Pharbitis nil</i>)] のゲノム編集 渡邊 健太 ¹ , 小林 安那 ¹ , 鷲塚 滯 ¹ , 小野 公代 ¹ , 渋谷 健市 ² , 小野 道之 ¹ (1筑波大・遺伝子実験センター, 2農研機構・野菜花き研究部門)
9:55-10:20	2aSC03	アサガオ系統の由来と多様な変異体 仁田坂 英二 ¹ , 星野 敦 ² (1九州大・院・理・生物科学, 2基生研)
10:20-10:50	2aSC04	同質六倍体サツマイモ栽培種のゲノム解読に向けた取り組み 白澤 健太 ¹ , 長崎 英樹 ¹ , 田中 勝 ² , 岡田 吉弘 ² , 高畑 康浩 ² , 平川 英樹 ¹ , 磯部 祥子 ¹ (1かずさDNA研究所, 2農研機構・九沖農研)
10:50-11:20	2aSC05	ヒルガオ科植物の自殖性と他殖性 土屋 亨 (三重大・地域イノベーション推進機構・植物機能ゲノミクス)
11:20-11:50	2aSC06	ネナシカズラのゲノムから読み解く茎寄生の生命戦略 西谷 和彦 ¹ , 横山 隆亮 ¹ , 大林 武 ² , 鳴川 秀樹 ¹ , 柴田 航希 ¹ , 加賀 悠樹 ¹ , 加藤 萌木 ¹ , 黒羽 剛 ¹ , 倉田 哲也 ¹ , 堀江 佐知子 ¹ , 牧 雅之 ³ , 山田 和範 ² , 青木 裕一 ² , 田高 周 ² , 成瀬 孝史 ² , 西 羽美 ² , 木下 賢吾 ² , 青木 考 ⁴ , 阿部 光知 ⁵ , 出村 拓 ⁶ , 吉田 聡子 ⁶ , 白須 賢 ⁷ , 長谷部 光泰 ⁸ , 星野 敦 ⁸ , 榊原 康文 ⁹ , 若杉 達也 ¹⁰ , 山田 恭司 ¹⁰ (1東北大・院・生命科学, 2東北大・院・情報科学, 3東北大・植物園, 4大阪府立大・生命環境科学, 5東京大・院・理, 6奈良先端大・院, 7理研・環境資源科学研究センター, 8基生研, 9慶応義塾大・理工, 10富山大・院・理工)
11:50-12:00		総合討論 小野 道之, 仁田坂 英二

あなたの研究は伝わっていますか？

協賛：日本サイエンスコミュニケーション協会

● オーガナイザー

経塚 淳子（東北大・生命科学）

公益社団法人日本植物学会理事会

研究成果は公表してこそ価値があります。科学研究では学術誌への投稿や学会発表がふつうですが、一般の人たちと成果を共有することも重要なことです。その際、どのような場で、どのようなしかたでアウトリーチをしていますか。本シンポジウムでは、研究の伝え方について考えてみたいと思います。

9:00-9:05		はじめに 経塚 淳子（東北大・生命科学）
9:05-9:25	3aSA01	なぜアウトリーチなのか 渡辺 政隆 ^{1,2} （ ¹ 筑波大・広報室, ² 日本サイエンスコミュニケーション協会）
9:25-9:50	3aSA02	研究者のプレゼンを見て感じてきたこと 佐々 義子（NPO法人くらしとバイオプラザ21）
9:50-10:15	3aSA03	メディアとどう付き合うべきか 岡田 小枝子（J-PARCセンター 高エネルギー加速器研究機構）
10:15-10:30	3aSA04	自然な植物, 不自然な植物 池内 桃子 ^{1,2} （ ¹ 理研・環境資源科学研究センター, ² 学振）
10:30-10:45	3aSA05	ワリとイケてる！アズキのなかま 内藤 健（農研機構）
10:45-11:00	3aSA06	駆け巡るリン 三村 徹郎 ^{1,2} （ ¹ 神戸大・先端融合研究環, ² 神戸大・院・理・生物）

本公開講演会は JSPS 科研費・研究成果公開促進費補助事業 (JP17HP0017) の助成を受けたものです。日本植物学会会員以外の方も参加無料です。予約・申込は不要ですので、当日会場に直接お越しください。

日本植物学会公開講演会「植物の生き方・人との共生」

13:00-13:15	高校生研究発表 表彰式
13:15-14:45	<p>日本植物学会会長の御挨拶 三村 徹郎 (神戸大学理学研究科教授・日本植物学会会長)</p> <p>はじめに 朽津 和幸 (東京理科大学理工学部教授・第81回日本植物学会大会会長)</p> <p>秘められた花の力を映像で解き明かす 東山 哲也 (名古屋大学理学研究科教授)</p> <p>花の進化の裏側にある昆虫とのふしぎな関係 奥山 雄大 (国立科学博物館研究員)</p> <p>鳥・哺乳類・昆虫を利用した種子散布のしくみとしたたかな戦略 多田 多恵子 (生態学者/東京理科大学他非常勤講師)</p> <p>関東地方の植生とその変遷 館野 正樹 (東京大学日光植物園准教授)</p>
14:45-15:15	<p>休憩・展示見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物って何だろうー植物の体の中を見よう ・利根川水系に生きる希少な植物 ・植物細胞壁のミクロな世界 ・光る植物のバイオテクノロジー ・「植物学」明治期の教科書 他
15:15-16:30	<p>全国で進む自然環境の保全・再生の取り組み 西廣 淳 (東邦大学理学部准教授)</p> <p>植物と社会：『野田市の生物多様性戦略』 今村 繁 (千葉県野田市副市長)</p> <p>第 81 回日本植物学会大会シンボル植物タチスミレの保全と野焼き 小幡 和男 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)</p> <p>理窓会記念自然公園の歴史と市民団体による植生調査・野草観察会活動 新保 國弘 (東葛自然と文化研究所長)</p> <p>植物と社会：『都心から一番近い森の街』流山の施策 井崎 義治 (千葉県流山市長)</p> <p>理窓会記念自然公園自然観察ツアーガイドンス</p>
16:30-17:30	東京理科大学理窓会記念自然公園 自然観察ツアー (歩きやすい靴で御参加下さい)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	JPR国際シンポジウム Regulatory networks in plant growth and development	シンポジウム 環境に応じた光合成機能の最適化	シンポジウム 植物細胞分裂を制御する生体分子システムの破壊と新生のメカニズム	生態 座長：彦坂 幸毅	細胞骨格 座長：本瀬 宏康 若林 憲一
9:30	9:30-10:00 1aSA01 A dynamics of gene regulatory networks involved in development and metabolism in <i>Arabidopsis</i> Kengo Morohashi (Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science)	9:30-9:35 はじめに 矢守 航 9:35-10:00 1aSB01 気孔開閉と植物光合成の関連研究 Yin Wang ^{1,2} , 戸田 陽介 ³ , 藤 茂雄 ³ , Wenxiu Ye ¹ , 木下 俊則 ^{1,3} (¹ 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, ² 名古屋大学高等研究院, ³ 名古屋大学理学研究科生命理学専攻)	9:30-9:35 はじめに 9:35-10:05 1aSC01 受精による細胞極性の破壊と再構成 ~ライブイメージングで迫る受精前後の細胞内変化~ 植田 美那子 ^{1,2} , 木全 祐資 ² , 加藤 壮英 ³ , 檜垣 匠 ⁴ , 山田 朋美 ^{1,2} , 栗原 大輔 ^{2,5} , 森田 (寺尾) 美代 ^{3,6} , 馳澤 盛一郎 ⁴ , 東山 哲也 ^{1,2,5} , 田坂 昌生 ³ (¹ 名古屋大学大学院理学研究科, ² 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科, ³ 東京大学大学院新領域創成科学研究科, ⁴ 名古屋大学 JST-ERATO, ⁵ 名古屋大学 大学院生命農学研究科)	1aD01 ハマダイコンにおけるセシウム蓄積特性の解析 大島七海 ¹ , 且原 真木 ² , 三村 徹郎 ³ , 大西 美輪 ³ , 瀬戸口 浩彰 ⁴ (¹ 東大・院・農, ² 岡山大・植物研, ³ 神戸大・院・理, ⁴ 京大・院・人環)	1aE01 ポリボックス目緑藻テトラバエナの光行動能の検定 丹野 明日翔 ¹ , 中島 昌子 ² , 植木 紀子 ² , 新垣 陽子 ³ , 吉村 建二郎 ⁴ , 野崎 久義 ³ , 久堀 徹 ² , 若林 憲一 ² (¹ 東工大・院・生命理工, ² 東工大・化学生命研, ³ 東大・院理・生物科学, ⁴ 芝浦工大・機械制御システム)
9:45				1aD02 Predicting impacts of climate change on the climate-sensitive species using SDMs model Ji-Hong Ahn, Chan-Ho Park, Hwan-Jun Park (National Institute of Biological Sciences)	1aE02 ゼニゴケミオシンXIのシロイヌナズナ培養細胞における発現と解析 田中 美聡 ¹ , 段 中瑞 ^{2,3} , 安藤 愛奈 ¹ , 岡崎 賢吾 ² , 中野 明彦 ^{4,5} , 上田 貴志 ⁶ , 金澤 建彦 ⁶ , 伊藤 光二 ⁷ , 富永 基樹 ^{1,2,3} (¹ 早稲田大・院・先進理工, ² 早稲田大・教育, ³ JST-ALCA 先端低炭素, ⁴ 東大・院・理学系, ⁵ 理研・光量子工学, ⁶ 基生研・細胞動態, ⁷ 千葉大・院・生物)
10:00	10:00-10:30 1aSA02 Regulatory network in dark-grown <i>Arabidopsis</i> hypocotyl Hoe-Han Goh ¹ , Iqmal Asyraf Ilias ¹ , Kengo Morohashi ² (¹ Institut Biologi Sistem, Universiti Kebangsaan Malaysia, ² Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science)	10:00-10:25 1aSB02 タンパク質ジスルフィド結合還元開裂酵素高発現による光合成機能向上 島田 裕士 (広島大学 大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻)	10:05-10:35 1aSC02 転写因子は2度ベルを鳴らす ~減数分裂 siRNAの合成と細胞非自律的な花粉形成過程の制御~ 野々村 賢一 (国立遺伝学研究所・実験圃場)	1aD03 マリモ球状集合体の利点と維持機構 鈴木 祥弘 ¹ , 中島 康成 ² , 小川 麻里 ³ , 若菜 勇 ⁴ (¹ 神奈川大学理学部, ² 神奈川大学大学院理学研究科, ³ 安田女子大学教育学部, ⁴ 釧路市教育委員会)	1aE03 冷温下における <i>Nitella</i> 原形質界面近傍における顆粒の運動 三橋 和彦 (茨城工業高等専門学校・一般教養部)
10:15				1aD04 陸上植物の葉の近赤外線吸収特性 久米 篤 (九州大学 大学院農学研究院)	1aE04 Insights into cortical microtubule nucleation and dynamics in <i>Arabidopsis</i> cells 八木 慎宜 ¹ , 松永 幸大 ¹ , 橋本 隆 ² (¹ 東京理科大学・理工学部・応用生物科学, ² 奈良先端大・バイオ)

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 須田 彰一郎 松崎 令 大田 修平 山田 敏弘</p>	<p>発 生</p> <p>座長: 高田 忍 池内 桃子 木村 成介</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 山野 隆志 児玉 豊 日原 由香子 成川 礼</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化</p> <p>座長: 岩瀬 哲 藤原 崇之 遠藤 求</p>	<p>細胞内小器官</p> <p>座長: 射場 厚 高野 博嘉 佐藤 直樹</p>	
<p>1aF01 台湾産の <i>Volvox carteri</i> 野崎久義¹, 植木紀子², 田草川真理³, 山下翔大¹, 三角修己⁴, 江殿儒⁵, 吳俊宗⁵ (1東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, 2東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究科, 3京都大学理学研究科生物科学専攻植物学系, 4山口大学大学院創成科学研究科理学部生物・化学科, 5台湾中央研究院生物多様性研究中心)</p>	<p>1aG01 表皮分化のマスター遺伝子 <i>ATML1</i> の活性制御について 飯田浩行¹, 吉田彩香¹, Gerd Jürgens², 高田忍¹ (1阪大・院・理, 2Univ. Tübingen)</p>	<p>1aH01 陸棲藍藻 <i>Nostoc commune</i> (イシクラゲ) の細胞外 Dps タンパク質と抗酸化システム 鈴木俊介¹, 坂本香織¹, 坂本敏夫² (1金沢工大・バイオ・化学・応用バイオ, 2金沢大・理工・自然システム)</p>	<p>1aI01 植物におけるトランスクリプションファクターのイメージング解析 林耕磨, 松永幸大 (東京理科大・理工・応用生物学)</p>	<p>1aJ01 葉緑体核様体の形や遺伝はホリディジャンクション解離酵素によって制御される 小林優介¹, 三角修己², 小田原真樹³, 石橋幸大¹, 廣野雅文⁴, 日高久美⁵, 遠藤政幸⁵, 杉山弘⁵, 岩崎博史⁶, 黒岩常祥⁷, 鹿内利治¹, 西村芳樹¹ (1京都大学大学院理学研究科植物学専攻, 2山口大学大学院創成科学研究科, 3立教大学理学部生命理学科, 4法政大学生命機能学科生命科学部, 5京都大学大学院理学研究科化学専攻, 6東京工業大学技術創成研究院細胞制御工学研究センター, 7日本女子大学理学部物質生物科学科)</p>	9:30
<p>1aF02 有殻藻類ファコツス科に近縁な新規クラドモナス類 (緑藻類, オオヒゲマワリ目) 仲田崇志^{1,2}, 富田勝^{1,2} (1慶大・先端生命研, 2慶大・政策メディア・先端生命)</p>	<p>1aG02 受容体型キナーゼ ACR4 は <i>ATML1</i> 下流で胚の生長や表皮分化を正に制御している 高田忍, 吉田彩香, 飯田浩行, 高田希 (大阪大学・理学部・生物)</p>	<p>1aH02 陸棲藍藻 <i>Nostoc commune</i> (イシクラゲ) の多型 坂本敏夫¹, 坂本香織² (1金沢大・理工・自然システム, 2金沢工大・バイオ・化学・応用バイオ)</p>	<p>1aI02 植物再生に影響を与えるエピジェネティック因子の解析 勝山雄喜¹, 杉本薫², 石橋和樹¹, 角倉慧¹, 長谷川淳子¹, 坂本卓也², 鈴木孝征⁴, 関原明³, 澤田有司³, 平井優美³, 寺島一郎⁵, 松永幸大² (1東京理科大・理工・院・応用生物学, 2東京理科大・理工・応用生物学, 3理化学研究所・CSRS, 4中部大・応用生物・応用生物, 5東京大・理学・生物科学)</p>	<p>1aJ02 ペプチド-DNA 複合体のオルガネラへの輸送過程を視る 及川和隆¹, 児玉豊², 沼田圭司¹ (1理化学研究所 環境資源科学研究センター, 2宇都宮大学 バイオサイエンス研究教育センター)</p>	9:45
<p>1aF03 培養株と野外サンプルに基づく氷雪性緑藻の1未記載種の分類学的研究 松崎金¹, 野崎久義², 竹内望³, 原慶明⁴, 河地正伸¹ (1国立環境研究所, 2東京大・院・理・生物, 3千葉大・理・地球科学, 4山形大・基盤教育院)</p>	<p>1aG03 ゼニゴケ気室が水環境の変動にตอบสนองして密度変化する分子機構の解析 水谷未耶¹, 石崎公庸², 深尾陽一朗³, 藤原正幸⁴, 西浜竜一⁵, 河内孝之³, 東山哲也¹, 金岡雅浩¹ (1名古屋大・院・理, 2神戸大・院・理, 3立命館大・生命科学, 4慶應・先端生命科学, 5京大・院・生命)</p>	<p>1aH03 遠赤色光吸収クロロフィル <i>d</i> を持つシアノバクテリア <i>Acyrochloris marina</i> の光質感知・順化・適応機構の解析 樫本友則¹, 兼崎友², 佐藤藤子³, 伏見圭司¹, 池内昌彦⁴, 豊岡公徳³, 渡辺智⁵, 成川礼¹ (1静大・理・生物, 2東農大・NGRC, 3理研・CSRS, 4東京大院・総合文化, 5東農大・バイオサイエンス)</p>	<p>1aI03 Analysis of histone demethylase involved in acquisition of competency for shoot regeneration 石原弘也¹, 杉本薫¹, 坂本卓也¹, 天満春花¹, 佐々木卓^{2,3}, 鈴木孝征⁴, 稲垣宗一⁵, Paul Tarr⁶, 関原明², 角谷徹仁^{3,5}, Elliot Meyerowitz⁶, 松永幸大¹ (1東京理科大・理工・応用生物学, 2理研・CSRS, 3東京大学・理・生物科学, 4中部大学・応用生物・応用生物化学, 5遺伝学研究所, 6Caltech, Division of Biology and Biological Technology)</p>	<p>1aJ03 気孔の葉緑体形成には真核型経路による脂質合成が必須である 栞亘淳太郎¹, 宋普錫¹, 多田隈遼亮¹, 宗正晋太郎², 藤田麻友美¹, 楠見健介¹, Julian Schroeder³, 射場厚¹ (1九州大院・理, 2岡山大院・環境生命, 3University of California, San Diego)</p>	10:00
<p>1aF04 アオサ藻 <i>Ulva partita</i> における一過的形質転換系の開発とゲノム編集の可能性 鈴木亮吾¹, 大田修平¹, 市原健介², 山崎誠和¹, 桑野和可³, 河野重行^{1,4} (1東京大・院・新領域・先端生命, 2北大・北方セ, 3長崎大・院・水産, 4東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>	<p>1aG04 トレニア茎断片培養系における表皮起源不定芽形成の初期過程の解析 森中初音¹, 間宮章仁¹, 岩元明敏², 玉置裕章¹, 鈴木孝征³, 佐藤良勝⁴, 池内桃子⁵, 岩瀬哲⁵, 杉本慶子⁵, 東山哲也^{4,6}, 杉山宗隆¹ (1東京大・院・理・植物園, 2東京学芸大・教育・自然科学・生命, 3中部大・応用生物・応用生物化学, 4名古屋大・WPI-ITbM, 5理研・CSRS, 6名古屋大・院・理・生命理学)</p>	<p>1aH04 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 における塩ストレス応答遺伝子の <i>LexA</i> による転写制御 高嶋康祐, 鬼沢あゆみ, 日原由香子 (埼玉大・院・理工学)</p>	<p>1aI04 植物細胞の脱分化制御に関わる新規転写因子の解明 向井麻衣¹, 佐野亮輔¹, 出村拓^{1,2}, 大谷美沙都^{1,2} (1奈良先端大・バイオ, 2理研・CSRS)</p>	<p>1aJ04 生物画像自動分類を用いたシロイヌナズナ色素体におけるストロミュールの検出 島原佑基^{1,2}, 湖城恵³, 藤原誠⁴, 馳澤盛一郎¹, 朽名夏磨^{1,2} (1東大・院・新領域, 2エルピクセル株式会社, 3上智・院・理工)</p>	10:15

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	JPR国際シンポジウム Regulatory networks in plant growth and development	シンポジウム 環境に応じた 光合成機能の最適化	シンポジウム 植物細胞分裂を制御する 生体分子システムの破壊 と新生のメカニズム	代謝 座長：鈴木 英治 石川 寿樹	細胞骨格 座長：本瀬 宏康 若林 憲一
10:30	10:30-11:00 1aSA03 Conserved transcription factors driving the evolution of defense metabolism in plants <u>Tsubasa Shoji</u> (奈良先端科学技 術大学院大学バイオサイエン ス研究科)	10:25-10:50 1aSB03 葉緑体を分解する2つの オートファジー経路とそ の環境応答性の違い <u>泉 正範</u> ^{1,2,3} (¹東北大・学際 研, ²東北大・院・生命科 学, ³JST・さきがけ)	10:35-11:05 1aSC03 細胞分裂期の生体分子の 挙動をシングルセルレゾ リューションで知る 一前・中・後・終期のオ ミックス解析 <u>大窪(栗原) 恵美子</u> (理研, CSRS)	1aD05 異なる温度環境における シアノバクテリアの生育 およびグリコーゲン代謝 <u>船渡 結, 鈴木 英治</u> (秋田県 立大・生物資源科学)	1aE05 細胞膜ドメインの形を制 御する新規の微小管付随 タンパク質の解析 <u>杉山友希</u> ^{1,2} , <u>小田 祥久</u> ^{2,3} , <u>福 田 裕穂</u> ¹ (¹東大・院理・生物 科学, ²国立遺伝研・新分野, ³総研大・遺伝学)
10:45		10:50-11:15 1aSB04 C4光合成代謝調節因子 CP12-3は、「浮動する環 境」で機能する <u>古本 強</u> (龍谷大学 農学部 植 物生命科学科)		1aD06 ゲル封入による <i>Chlamydomonas</i> <i>debaryana</i> NIES-2212の 細胞凝集体形成と増殖・ 脂質蓄積速度の促進 <u>袖永 紗英子</u> ¹ , <u>吉富 徹</u> ¹ , <u>佐藤 直樹</u> ^{1,2} , <u>豊島 正和</u> ^{1,2} , <u>真崎 康 博</u> ³ , <u>吉本 敬太郎</u> ^{1,4} (¹東大・院 総文(広域・生命), ²JST CREST, ³北里大(理), ⁴JST さきがけ)	1aE06 NIMA関連キナーゼ6の分 裂組織における機能解析 <u>高谷 彰吾</u> , <u>高橋 卓</u> , <u>本瀬 宏康</u> (岡山大学理学部植物発生研 究室)
11:00	11:00-11:30 1aSA04 Understanding signal- driven self-organization in plants <u>Teva Vernoux</u> (CNRSENS)		11:05-11:35 1aSC04 細胞分裂実行因子の発現 制御～植物の一生を通じ て働く転写制御複合体～ <u>伊藤 正樹</u> (名古屋大学大学 院・生命農学研究科)	1aD07 原始紅藻のバイオマス合 成における光波長の影響 <u>三角 修己</u> ¹ , <u>藤勝 佳菜</u> ² , <u>齋藤 貴史</u> ² , <u>田草川 真理</u> ³ (¹山口大 院・創成科学, ²山口大・理・ 生物化学, ³京都大・院・理・ 生物科学)	11:00-11:30 1aE-AL1 奨励賞 座長：佐野 俊夫 定量的画像解析に基づく 植物細胞骨格の研究 <u>楢垣 匠</u> (東京大・院・新領域)
11:15		11:15-11:40 1aSB05 PSIサイクリック電子伝 達とシュードサイクリッ ク電子伝達による光合成 制御 <u>山本 宏</u> , <u>鹿内 利治</u> (京都大 学大学院・理学研究科・植物 分子遺伝学研究室)		1aD08 メタボローム解析による NADキナーゼの役割解明 と代謝制御への展開 <u>石川 優真</u> ¹ , <u>宮城 敦子</u> ¹ , <u>石川 寿樹</u> ¹ , <u>金子 康子</u> ² , <u>日原 由香 子</u> ¹ , <u>川合 真紀</u> ¹ (¹埼玉大学理 工学研究科遺伝子環境工学研 究室, ²埼玉大学教育学部)	

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化 座長: 須田 彰一郎 松崎 令 大田 修平 山田 敏弘</p>	<p>発生 座長: 高田 忍 池内 桃子 木村 成介</p>	<p>環境応答 座長: 山野 隆志 児玉 豊 日原 由香子 成川 礼</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化 座長: 岩瀬 哲 藤原 崇之 遠藤 求</p>	<p>細胞内小器官 座長: 射場 厚 高野 博嘉 佐藤 直樹</p>	
<p>1aF05 性特異的な領域の構造と進化: 一分子リアルタイムシークエンスによるアオサ藻ゲノムの解析 山崎 誠和¹, 市原 健介², 桑野和可³, 河野 重行^{1,4} (1東京大・院・新領域・先端生命, 2北大・北方セ, 3長崎大・院・水産, 4東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>	<p>1aG05 カルス形成および茎葉再生におけるWOX 遺伝子の機能 池内 桃子, 岩瀬 哲, 杉本 慶子 (理研 CSRS)</p>	<p>1aH05 オートファジーを欠損した緑藻における窒素欠乏応答異常 梶川 昌孝¹, 山内 万里花², 新川 はるか¹, 田中 学³, 幡野 恭子³, 西村 芳樹⁴, 奥 公秀⁵, 阪井 康能⁵, 加藤 美砂子⁶, 福澤 秀哉¹ (1京都大学生命科学研究科, 2お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科, 3京都大学人間・環境学研究科, 4京都大学理学研究科, 5京都大学農学研究科, 6お茶の水女子大学基幹研究院、同・HLI研)</p>	<p>1aI05 WIND1転写因子の下流分子ネットワーク解析 岩瀬 哲¹, 光田 展隆², 池内 桃子¹, 鈴木 孝征³, 杉本 慶子¹ (1理化学研究所 環境資源科学研究センター 細胞機能研究チーム, 2産業技術総合研究所 植物機能制御研究グループ, 3中部大学 応用生物化学)</p>	<p>1aJ05 コケで葉緑体分裂に, シロイヌナズナで葉緑体分化に関するMurEとカラマツMurEを用いた種間相補解析 工藤 裕美¹, 林 暁飛², 瀧尾 進³, 武智 克彰³, 高野 博嘉⁴ (1熊本大・院・自然科学, 2内蒙古大・生命科学, 3熊本大・院・先端科学, 4熊本大・院・先端科学, パルスパワー研, 5熊本大・水循環減災センター)</p>	10:30
<p>1aF06 日本新産緑藻 <i>Umbraulva kuaweuweu</i> (新称: ポニアオノリ) について—新たな実験生物の提案— 川井 浩史¹, 羽生田 岳昭¹, 峯一朗², 北山 太樹³ (1神戸大学内海城環境教育研究センター, 2高知大学理工学部, 3国立科学博物館植物研究部)</p>	<p>1aG06 シロイヌナズナの緑化とshoot再生に関するヒストン脱アセチル化酵素の解析 天満 春花¹, 杉本 薫¹, 上田 実², 関原明², 松永 幸大¹ (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2理研・CSRS)</p>	<p>1aH06 葉緑体Ca²⁺結合タンパク質CASによる核のCO₂応答性遺伝子発現とCO₂濃縮の制御 山野 隆志¹, 新川 友貴¹, 豊川 知華¹, 王 連勇¹, 兼崎 友², 吉川 博文³, 福澤 秀哉¹ (1京大・院・生命, 2東京農大・生物資源ゲノム解析センター, 3東京農大・応用生物科学)</p>	<p>1aI06 シロイヌナズナの側根形成初期過程において高温下で過剰な細胞分裂をもたらすミトコンドリア異常の解析 圓宮 仁仁¹, 大塚 蔵高¹, 野崎 守¹, 山本 荷葉子¹, 小林 健人², 八木 祐介², 中村 崇裕², 平山 隆志³, 上田 貴志⁴, 蜂谷 卓士⁵, 野口 航⁶, 杉山 宗隆¹ (1東大・院・理・植物園, 2九大・院・農・生命機能, 3岡山大・資源植物研, 4基生研・細胞生物, 5名大・院・生命農・生物機能, 6東葉大・生命科学)</p>	<p>1aJ06 ヒメツリガネゴケの葉緑体に局在するLysMドメイン含有タンパク質の機能解析 橋元 恵里奈¹, 松下 祐美¹, 森 仁志², 瀧尾 進³, 武智 克彰⁴, 高野 博嘉⁴ (1熊本大・院・自然科学, 2名大・院・生命農学, 3熊本大・くまもと水循環減災セ, 4熊本大・院・先端科学)</p>	10:45
<p>1aF07 緑色植物の活性酸素生成酵素NADPH oxidase/Rbohの分子進化におけるCa²⁺依存的活性制御機構の獲得起源 板橋 武¹, 橋本 研志¹, 坂山 英俊², 西山 智明³, 北畑 信隆^{1,4}, Clemence Bonnot⁵, Sandy Hetherington⁵, Liam Dolan⁵, 朽津 和幸^{1,4} (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2神戸大・院・理, 3金沢大・学際科学実験センター, 4東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 5University of Oxford)</p>	<p>1aG07 Characterization of stress-induced somatic embryogenesis on <i>Arabidopsis</i> shoot apical tip 角倉 慧, 杉本 薫, 松永 幸大 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p>	<p>1aH07 ゼニゴケの活性酸素生成酵素Rbohのストレス応答における生理機能の探索 進藤 大輝¹, 橋本 研志¹, 北畑 信隆^{1,2}, 西浜 竜一³, 石崎 公庸⁴, 河内 孝之³, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3京大・院・生命, 4神戸大・院・理)</p>	<p>1aI07 Single cell RNA-seqを用いた, 分化誘導過程における概日リズムの時系列解析 鳥井 孝太郎, 清水 華子, 荒木 崇, 遠藤 求 (京大大学生命科学研究科)</p>	<p>1aJ07 葉酸によるデンブ蓄積の抑制メカニズム 林 誠¹, 山本 沙季² (1長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部, 2長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科)</p>	11:00
<p>1aF08 珪藻の進化・繁栄の謎を握る未知の藻類: パルマ藻の多様性と全球分布 桑田 晃¹, 一宮 陸雄², 吉川 伸哉³, Daniel Vaulot⁴, Adriana Lopes dos Santos⁴ (1水産機構・東北水研, 2熊本県大・環境共生, 3福井県大・海洋生物資源, 4Station Biologique de Roscoff, CNRS)</p>	<p>1aG08 シロイヌナズナのmiR396過剰発現体が示す地上部と地下部の境界異常の解析 堀口 吾朗^{1,2}, 塚谷 裕一^{3,4} (1立教大・理・生命, 2立教大・理・生命センター, 3東大・院・理, 4NINS・岡崎統合バイオ)</p>	<p>1aH08 ヒメツリガネゴケにおけるSnRK2遺伝子ファミリーの機能解析 篠澤 章久¹, 大竹 亮子¹, Andrew C. Cuming², 小松 憲治³, 竹澤 大輔⁴, 太治 輝昭¹, 林 隆久¹, 坂田 洋一¹ (1東京農業大学 院 植物遺伝子工学研究室, 2Center of Plant Science, University of Leeds, 3東京農大 短 生物生産, 4埼玉大学理工学研究科)</p>	<p>1aI08 細胞運命決定における概日時計の役割 井上 佳祐, 別城 啓太, 鳥井 孝太郎, 清水 華子, 荒木 崇, 遠藤 求 (京大大学生命科学研究科 分子代謝制御学分野)</p>	<p>1aJ08 オルガネラの獲得と新規膜交通経路の開拓 金澤 建彦^{1,2}, 上田 貴志^{1,2} (1基生研・細胞動態, 2総研大・生命科学)</p>	11:15

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	JPR国際シンポジウム Regulatory networks in plant growth and development	シンポジウム 環境に応じた 光合成機能の最適化	シンポジウム 植物細胞分裂を制御する 生体分子システムの破壊 と新生のメカニズム	代 謝 座長：鈴木 英治 石川 寿樹	遺伝子発現制御 座長：鈴木 石根 杉山 宗隆
11:30	11:30-12:00 1aSA05 Signal integration and specificity in brassinosteroid signaling Jenny Russinova ^{1,2} (1Department of Plant Biotechnology and Bioinformatics, Ghent University, 9052 Ghent, Belgium, 2Center for Plant Systems Biology, VIB, 9052 Ghent, Belgium)		11:35-12:05 1aSC05 植物細胞分裂をためら う理由 ~脱分化を制御 するRNA代謝と転写の カップリング制御~ 大谷 美沙都 ^{1,2} (1奈良先端科 学技術大学院大学 バイオサ イエンス研究科 植物代謝制 御研究室, 2理研 環境資源科 学研究センター)	1aD09 新規分岐鎖脂肪酸を合成 するシアノバクテリアの 作製とその生理学的解析 町田 峻太郎 ¹ , 鈴木 石根 ² (1筑 波大学生命環境科学研究科環 境バイオマス共生学専攻, 2筑 波大学生命環境系)	1aE09 シロイヌナズナのリボ ソームストレス応答と NAC転写因子ANAC082 の役割 大林 祝 ¹ , 林 忠逸 ¹ , 篠原 直 貴 ¹ , 松村 葉子 ² , 町田 泰則 ² , 堀口 吾朗 ³ , 塚谷 裕 ^{4,5} , 杉山 宗隆 ¹ (1東京大・院・理・植物 園, 2名古屋大・院・理・生命 理学, 3立教大・理・生命, 4東 京大・院・理・生物科学, 5岡 崎統合バイオ)
11:45		11:40-12:05 1aSB06 可視光変動光が光合成に 与える影響と遠赤色光に よる補光効果 河野 優, 矢守 航, 寺島 一郎 (東京大・院・理・植物生態)		1aD10 微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> におけるワックスエステル 合成酵素の同定と機能 解析 富山 拓矢 ^{1,2} , 小川 貴央 ^{1,2} , 小 川 拓水 ³ , 丸田 隆典 ^{1,2} , 太田 大策 ³ , 石川 孝博 ^{1,2} (1島根大 学生物資源科学部, 2JST/ CREST, 3大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科)	1aE10 <i>Synechocystis</i> における リン酸欠乏誘導性の細胞 溶菌システムの開発 浅田 遼 ¹ , 白岩 善博 ² , 鈴木 石 根 ² (1筑波大学生命環境科学 研究科 環境バイオマス共生 学専攻, 2筑波大学 生命環境 系)
12:00		12:05-12:15 おわりに 高橋 俊一	12:05-12:10 おわりに	1aD11 放射性標識を用いた紅藻 シアニジオシジンの単離 葉緑体における脂質代謝 解析 毛利 奈津美 ^{1,2} , 森山 崇 ^{1,2} , 佐 藤 直樹 ^{1,2} (1東大・院・総合文 化, 2JST・CREST)	1aE11 単細胞紅藻 <i>C. merolae</i> に おける核とオルガネラ間 の概日時計情報伝達の解 析 片野 貴章 ¹ , 雪竹 健太郎 ¹ , 高 橋 広夫 ¹ , 恵良 厚子 ² , 宮城島 進也 ² , 今村 壮輔 ³ , 田中 寛 ³ , 華岡 光正 ¹ (1千葉大院・園芸・ 応用生命, 2遺伝研, 3東工大・ 化生研)
12:15				1aD12 植物スフィンゴ脂質の分 子進化 石川 寿樹, 葛葉 修平, 小川 洋 佑, 川合 真紀 (埼玉大・院・ 理工)	1aE12 単細胞紅藻シジンの光応 答に関わるレトログレー ドシグナルの解析 大原 ひかる ¹ , 安藤 洗幸 ¹ , 小 林 勇気 ² , 今村 壮輔 ² , 田中 寛 ² , 五十嵐 雅之 ³ , 内海 龍太 郎 ⁴ , 華岡 光正 ¹ (1千葉大・院 園芸・応用生命, 2東工大・化 生研, 3微化研, 4近畿大・農)
12:30					

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 須田 彰一郎 松崎 令 大田 修平 山田 敏弘</p>	<p>発 生</p> <p>座長: 高田 忍 池内 桃子 木村 成介</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 山野 隆志 児玉 豊 日原 由香子 成川 礼</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化</p> <p>座長: 岩瀬 哲 藤原 崇之 遠藤 求</p>	<p>細胞内小器官</p> <p>座長: 射場 厚 高野 博嘉 佐藤 直樹</p>	
<p>1aF09 沖縄沿岸の巨視的群体形成糸状シアノバクテリアの分類と生産物質</p> <p>須田 彰一郎¹, Xuan Hoa Guyen², 照屋 俊明³, 澄本 慎平⁴, 末永 聖武⁵ (1琉大・理・海洋自然・生物, 2琉大・院・理工, 3琉大・教育, 4慶大・院・理工, 5慶大・理工・化学)</p>	<p>1aG09 <i>Rorippa aquatica</i>の栄養繁殖を制御する遺伝子群の探索</p> <p>天野 瑠美¹, 中山 北斗², 桃井 理沙¹, 郡司 玄³, 竹林 裕美子⁴, 笠原 博幸^{4,5}, Ali Ferjani^{3,6}, 木村 成介¹ (1京産大・総合生命, 2カリフォルニア大学デービス校, 3東京学芸大・院・連合, 4理研 CSRS, 5東京農工大 GIR, 6東京学芸大・教育・生命)</p>	<p>1aH09 葉緑体定位運動と関連するフォトトロピンの細胞内局在変化</p> <p>坂田 桃子^{1,2}, 木村 俊¹, 藤井 雄太¹, 児玉 豊¹ (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大・農)</p>	<p>1aI09 真核藻類の日周リズムと細胞周期進行における遺伝子発現変動の網羅的解析</p> <p>藤原 崇之^{1,2,3}, 廣岡 俊亮^{1,2}, 大林 龍胆¹, 宮城 進也^{1,2,3} (1国立遺伝学研究所 細胞遺伝, 2JST・CREST, 3総研大・生命科学・遺伝学)</p>	<p>1aJ09 葉緑体の細胞内共生説の再検討と宿主主導説の提案</p> <p>佐藤 直樹 (東京大学大学院 総合文化研究科)</p>	11:30
<p>1aF10 葉緑体の温度適性がレガリスゼンマイの分布に与える影響</p> <p>上嶋 智大¹, 堤 千絵², 小藤 累美子³, 山田 敏弘³ (1金沢大・院・自然システム, 2科博・植物, 3金沢大・理工・自然システム)</p>	<p>1aG10 ミズナとミブナ (<i>Brassica rapa</i>) に見られる葉形変異の遺伝学的背景と育種の歴史の解明</p> <p>川勝 弥一¹, 中山 北斗², 上ノ山 華織¹, 五十嵐 香理³, 矢野 健太郎³, 久保 中央⁴, 木村 成介¹ (1京産大 総合生命, 2UC Davis, 3明治大 農, 4京府大 生命環境)</p>	<p>1aH10 青色光受容体フォトロピンは温度センサーとして葉緑体の配置を制御する</p> <p>藤井 雄太¹, 田中 裕之^{1,2}, 金野 尚武³, 小笠原 有香¹, 濱島 典子¹, 田村 沙織¹, 長谷川 智士^{4,5}, 早崎 芳夫⁵, 岡島 公司⁶, 児玉 豊¹ (1宇都宮大・バイオ, 2宇都宮大・地共センター, 3宇都宮大・農, 4宇都宮大・院・理工, 5宇都宮大・オブティクス, 6慶応大・院・理工)</p>	<p>1aI10 真核細胞の基本構造と機能をシゾンとメダカモのゲノム/形態から解く</p> <p>黒岩 常祥¹, 黒岩 晴子¹, 永田 典子¹, 田草川 真理^{2,3}, 三角 修己², 加藤 翔一⁴, 乾 弥生⁴, 松永 朋子⁴, 松永 幸大⁴ (1日本女子大・理・物質生物科学, 2山口大・理・生物化学, 3京大・院・理, 4東京理科大・理工・応用生物科学)</p>	<p>1aJ10 シロイヌナズナARFGAPTANパク質の機能解析</p> <p>竹内 雅直 (東京大学・院理・化学)</p>	11:45
<p>1aF11 茎頂を欠いたカワゴケソウ科カワゴロモ属における単子葉性の進化</p> <p>厚井 隆¹, 加藤 雅啓² (1大阪市立大学 理学部附属植物園, 2国立科学博物館 植物研究部)</p>	<p>1aG11 Morphological and Anatomical Characterisation of Domatia Development in Myrmecophytes</p> <p>Emma Sarath¹, Hirokazu Tsukaya^{1,2} (1The University of Tokyo, 2Okazaki Institute for Integrative Bioscience (OIBB))</p>	<p>1aH11 植物の環境ストレス応答における糖シグナルの役割</p> <p>齋藤 慧¹, 高橋 公咲², 竹澤 大輔¹ (1埼玉大学大学院理工学研究科, 2北海道大学大学院農学研究科)</p>			12:00
<p>1aF12 ショウブ科の直生胚珠に見られる閉塞組織の多様性と進化的意味</p> <p>戸部 博, 門川 朋樹 (京都大学大学院理学研究科生物科学専攻植物)</p>		<p>1aH12 Raf様プロテインキナーゼARKによるヒメツリガネゴケのアブシジン酸および低温応答の制御</p> <p>平出 真由佳¹, 石崎 優美子¹, 桑田 啓子², 猿橋 正史¹, 坂田 洋一³, 梅澤 泰史⁴, 竹澤 大輔¹ (1埼玉大学 理工学研究科, 2名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所, 3東京農業大学 バイオサイエンス学科, 4東京農工大学 農学研究科)</p>			12:15
					12:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	JPR国際シンポジウム Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses	シンポジウム カロテノイド： その多様性と普遍性が 切り拓く新展開	シンポジウム 究極のオルガネラ研究	代 謝 座長：大河 浩 松井 健二	遺伝子発現制御 座長：有村 源一郎 諸橋 賢吾 池田 陽子 栗原 志夫
14:00	14:00-14:30 1pSA01 The gene regulatory network of root hair development Michitaro Shibata ¹ , Christian Breuer ¹ , Ayako Kawamura ¹ , Bart Rymen ¹ , Lewis Watt ¹ , Natalie M. Clark ² , Luke Braidwood ¹ , Rosangela Sozzani ² , Brady M. Siobhan ³ , Benfey N. Philip ⁴ , Keiko Sugimoto ¹ (¹ RIKEN, CSRS, ² Dept. of Plant and Microbial Biol., NC State Univ., ³ Dept. of Plant Biol., UC Davis, ⁴ Dept. of Biol., Howard Hughes Medical Instit., Duke Univ.)	14:00-14:10 1pSB01 光に導かれての微細藻類カロテノイド研究事始め 篠村 知子 (帝京大・理工)	14:00-14:28 1pSC01 酵母のライブイメージングで膜交通のパラダイムを覆す 中野 明彦 ^{1,2} (¹ 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 発生細胞生物学研究室, ² 理化学研究所 光量子工学研究領域 生細胞超解像イメージング研究チーム)	1pD01 植物みどりの香り組成を決定する酵素：ヘキセナル還元酵素の同定 池田 彩菜 ¹ , 田中 俊之 ¹ , 志岐和美 ¹ , 国広(長井) 直子 ¹ , 道羅 英夫 ² , 大西 利幸 ^{2,3} , 肥塚 崇男 ¹ , 松井 健二 ¹ (¹ 山口大学 大学院創成科学研究科 (農学系), ² 静岡大学グリーン科学技術研究所, ³ 静岡大学農学部)	1pE01 トランスポゾン関連ドメインをもつ新規遺伝子サイレンシング因子の同定 池田 陽子 ¹ , Thierry Pelissier ² , Pierre Bourguet ² , Claude Becker ³ , Marie-Noelle Pouch-Pelissier ² , Romain Pogorelnik ² , Magdalena Weingartner ⁴ , Detlef Weigel ³ , Jean-Marc Deragon ⁵ , Olivier Mathieu ² (¹ 岡山大学 資源植物科学研究所, ² Université Clermont Auvergne, CNRS, Inserm, GReD, France, ³ Department of Molecular Biology, Max Planck Institute for Developmental Biology, Germany, ⁴ Molekulare Pflanzenphysiologie, Biozentrum Klein Flottbek, Universität Hamburg, Germany, ⁵ Laboratoire Génome et Développement des Plantes (LGDP), CNRS, UMR5096, Université de Perpignan Via Domitia, France)
14:15		14:10-14:30 1pSB02 光合成におけるカロテノイドの機能解析 西山 佳孝 (埼玉大学大学院 理工学研究科生命科学部門)		1pD02 伝統野菜佐波賀大根の葉の機能性成分、ルテインについて 富澤 蒼 ¹ , 出口 小百合 ¹ , 三村 裕 ² , 城田 浩治 ⁴ , 瀬戸口 浩彰 ³ , 上原 歩 ¹ (¹ 東京電機大学 理工学部, ² 京都府農林水産技術センター 生物資源研究センター, ³ 京都大学大学院 人間・環境学研究科, ⁴ 京都府中丹西農業改良普及センター)	1pE02 シロイヌナズナのチロシンキナーゼCRKの抗傷害ストレス機能の解明 宮本 拓海 ¹ , 根本 圭一郎 ² , 大東 麻穂 ¹ , 澤崎 達也 ² , 有村 源一郎 ¹ (¹ 東京理科大学, 基礎工学部, ² 愛媛大学, プロテオサイエンスセンター)
14:30	14:30-15:00 1pSA02 Development of tomato root cell types in response to drought and flooding Kaisa Kajala (Institute of Environmental Biology (IEB), Utrecht University), Padualaan 8, 3584 CH, Utrecht, the Netherlands)	14:30-14:50 1pSB03 光合成細菌, シアノバクテリア, 藻類, 植物における多様なカロテノイド分子種と生合成経路の分布 高市 真一 (東京農大・生命科学・分子微生物)	14:28-14:56 1pSC02 スフィンゴ脂質長鎖塩基の代謝経路の解明 木原 章雄 (北海道大学薬学 研究院生化学研究室)	1pD03 マツバボタン <i>PgPAP</i> の機能解析 岩瀬 かおり ¹ , 館野 ひなた ² , 田中 明日香 ¹ , 作田 正明 ^{1,2} (¹ お茶の水大・院・生命科学, ² お茶の水大・理・生物)	1pE03 植物細胞におけるヒストン修飾ライブセルイメージングの確立 栗田 和貴 ^{1,2} , 坂本 卓也 ¹ , 八木 慎宜 ¹ , 木村 宏 ³ , 松永 幸大 ¹ (¹ 東京理科大・理工・応用生物学, ² 埼玉県警・刑事部・科捜研, ³ 東工大・生命理工・生体システム)

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 瀬戸口 浩彰 梶田 忠 國府方 吾郎 岩元 明敏</p>	<p>発 生</p> <p>座長: 近藤 侑貴 伊藤(大橋) 恭子 西浜 竜一 岡本 龍史</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 梅澤 泰史 華岡 光正 宮沢 豊</p>	<p>ゲノム, プロテオーム</p> <p>座長: 吉原 静恵 玉田 洋介 吉田 聡子</p>	<p>細胞内小器官</p> <p>座長: 田中 博和 宮城島 進也 高橋 秀幸</p>	
<p>1pF01 Whole-genome information analysis on unique <i>Plantago</i> species in Korea <u>Chan-Ho Park</u>¹, <u>Jongsun Park</u>², <u>Yongsung Kim</u>² (¹National Inst. of Biological Resources, ²InfoBos Research Center)</p>	<p>1pG01 発光顕微鏡を用いた細胞運命の時空間ダイナミクスの解析 近藤 侑貴, 福田 裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物学専攻)</p>	<p>1pH01 浮きイネの深水応答機構における進化的考察 墨羽 剛^{1,2}, Diane Wang³, Rico Gamuyao², 永井 啓祐², 横山 隆亮¹, 西谷 和彦¹, Susan R. McCouch³, 芦荻 基行² (¹東北大学・生命科学研究所, ²名古屋大学・生物機能開発利用研究センター, ³Cornell University)</p>	<p>14:00-14:30</p> <p>1pl-AL1 [奨励賞] 座長: 河野 重行 重イオンビームの変異特性に関する研究とそれを利用した植物巨大Y染色体の精密マッピング 風間 裕介 (国立研究開発法人理化学研究所 仁科加速器研究センター 生物照射チーム)</p>	<p>14:00-14:30</p> <p>1pJ-AL1 [奨励賞] 座長: 宮城島 進也 色素体とミトコンドリアの分裂増殖システムを読み解く: 一分子から一細胞レベルまでの定量的な理解へ向けて 吉田 大和 (理研・QBiC・一細胞U)</p>	14:00
<p>1pF02 Aridification has driven the diversification of the cycad genus <i>Dioon</i> (Zamiaceae) <u>José Said Gutiérrez-Ortega</u>¹, <u>Andrew P. Vovides</u>², <u>Miguel Angel Pérez-Farrera</u>³, <u>José F. Martínez</u>⁴, <u>Francisco Molina-Freaner</u>⁴, 綿野 泰行¹, 梶田 忠⁵ (¹Department of Biology, Graduate School of Science, Chiba University, ²Departamento de Biología Evolutiva, Instituto de Ecología, A.C., Mexico, ³Instituto de Ciencias Biológicas, Universidad de Ciencias y Artes de Chiapas, Mexico, ⁴Departamento de Ecología de la Biodiversidad, Instituto de Ecología, Universidad Nacional Autónoma de México, Mexico, ⁵Iriomote Station, Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus)</p>	<p>1pG02 Time lapse imaging of vascular cell fate in <i>Arabidopsis</i> <u>Alif Meem Nurani</u>, 近藤 侑貴, 福田 裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物学専攻 生体制御研究室)</p>	<p>1pH02 シュートの回旋転頭運動の定量的評価による重力応答依存性の検証 及川 睦未¹, 高橋 秀幸², 宮沢 豊¹ (¹山形大学理学部, ²東北大学大学院生命科学研究所)</p>			14:15
<p>1pF03 広義サクラ属 (<i>Prunus</i> s.l.) の系統と冬芽形態の多様性 平田 なつ¹, 荒川 遙¹, 望月 香¹, 横田 剛成¹, 大井・東馬 哲雄², 邑田 仁², <u>Hang Sun</u>³, 岩元 明敏¹ (¹東京学芸大・自然・生命, ²東京大・院・理・植物園, ³昆明植物研究所)</p>	<p>1pG03 維管束細胞分化における BES1 ファミリー転写因子の機能 齊藤 真人, 近藤 侑貴, 福田 裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物学専攻)</p>	<p>1pH03 青シソの二次代謝関連遺伝子発現のストレス応答 井口 広也¹, 平安山 昌史¹, 加川 夏子², 華岡 光正¹ (¹千葉大院園芸・応用生命, ²千葉大・フィールドセ)</p>	<p>1pl03 褐藻綱ナガマツモ目オキナワモズク <i>Cladosiphon okamuranus</i> のゲノム解析とその利用に向けて 西辻 光彦¹, 有本 飛鳥¹, 岩井 憲司², 松尾 和彦², 佐藤 矩行¹, 將口 栄一¹ (¹沖縄科学技術大学院大学 マリンゲノミクスユニット, ²沖縄県水産海洋技術センター)</p>	<p>1pJ03 シロイヌナズナ根端における ER ボディ様構造体の超微形態解析 橋本 恵¹, 成川 苗子¹, 佐藤 繭子¹, 岡本 龍史², 豊岡 公徳¹ (¹理研 CSRS, ²首都大・理工・生命)</p>	14:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
14:45	<p>JPR国際シンポジウム Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses</p>	<p>シンポジウム カロテノイド： その多様性と普遍性が 切り拓く新展開</p> <p>14:50-15:10</p> <p>1pSB04 <i>Euglena gracilis</i>のカロテ ノイドを介する光応答と その生理生態上の機能 加藤 翔太 (帝京大・理工)</p>	<p>シンポジウム 究極のオルガネラ研究</p>	<p>代 謝 座長：大河 浩 松井 健二</p> <p>1pD04 <i>Meconopsis wallichii</i>の赤 色花に含まれるアントシ アニン色素 岩科 司¹, 村井 良徳¹, Yangzom Rinchen², 水野 貴行¹ (¹国立 科学博物館植物研究部, ²National Biodiversity Centre, Bhutan)</p>	<p>遺伝子発現制御 座長：有村 源一郎 諸橋 賢吾 池田 陽子 栗原 志夫</p> <p>1pE04 核ラミナタンパク質 CRWNによる遺伝子発現 制御メカニズムの解析 坂本 勇貴¹, 高木 慎吾², 松永 幸大^{1,3} (¹東京理科大・総研院・ イメージングフロンティ ア,²大阪大・院・理,³東京理 科大・理工・応用生物科学)</p>
15:00	<p>15:00-15:30</p> <p>1pSA03 Elucidation of SnRK2- mediated phosphorylation signaling under osmotic stress conditions Junro Mogami¹, Fumiyuki Soma¹, Takuya Yoshida¹, Midori Abekura¹, Fuminori Takahashi², Satoshi Kidokoro¹, Junya Mizoi¹, Kazuo Shinozaki², Kazuko Yamaguchi-Shinozaki¹ (¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ²Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)</p>		<p>14:56-15:24</p> <p>1pSC03 Unfolded protein response ~オルガネラ異 常検知メカニズム~ 木保 行雄 (奈良先端大・バイ オ)</p>	<p>1pD05 早池峰山に分布する固有 植物数種のフェノール成 分 村井 良徳, 岩科 司 (国立科 学博物館植物研究部)</p>	<p>1pE05 転写開始点に由来する転 写ノイズの除去と遺伝子 発現の制限 栗原 志夫, 蒔田 由布子, 川島 美香, 松井 南 (理化学研究所 環境資源科学研究センター 合成ゲノミクス研究グルー プ)</p>
15:15		<p>15:10-15:30</p> <p>1pSB05 ユーグレナのカロテノイド 生合成系におけるシト クロム P450の機能解析 玉木 峻, 今石 浩正 (神戸大・ バイオシグナル総研セ)</p>		<p>1pD06 イネにおけるICLの機能 解析 宮城 敦子¹, 西丸 拓也¹, 尾崎 莉沙子², 長野 稔¹, 石川 寿樹¹, 山口 雅利¹, 川合 真紀¹ (¹埼 玉大・院・理工, ²埼玉大・工)</p>	<p>1pE06 ミヤコグサにおけるアグ ロバクテリア国内系統株 を用いた毛状根形質転換 の検討 大木 萌花¹, 高原 正裕², 神澤 信行¹ (¹上智大学大学院 理工 学研究科 理工学専攻 生物化 学研究室, ²上智大学 理工学 部)</p>
15:30	<p>15:30-16:00</p> <p>1pSA04 Prolonged growth duration partially compensates the growth rate reduction caused by mild drought Hironori Takasaki^{1,2}, Tom Van Hautegeem^{1,2}, Nathalie Wuyts^{1,2}, Kirin Demuyne^{1,2}, Jolien De Block^{1,2}, Dirk Inze^{1,2}, Hilde Nelissen^{1,2} (¹VIB center for Plant Systems Biology, ²Ghent University - Department of Plant Biotechnology and Bioinformatics)</p>	<p>15:30-15:50</p> <p>1pSB06 クラミドモナス走光性 における眼点カロテノイド の役割 若林 憲一 (東京工業大学 科 学技術創成研究院 化学生命 科学研究所)</p>	<p>15:24-15:52</p> <p>1pSC04 究極のオルガネラ管理機 構：オートファジーによ るオルガネラ破壊のメカ ニズム 中戸川 仁 (東京工業大学 生 命理工学院)</p>	<p>1pD07 トマト果実における PEPC翻訳後修飾機構の 解明 太田 翔子¹, 野口 明日笑², 大 河 浩² (¹弘前大・院・農学生 命, ²弘前大・農学生命)</p>	<p>1pE07 ハエトリグサとコモウセ ンゴケにおける形質転換 技術の確立 須田 啓^{1,2}, 上田 千晴^{1,2}, 真野 弘明¹, 豊田 正嗣^{3,4}, 玉田 洋 介^{1,2}, 長谷部 光泰^{1,2} (¹基礎生 物学研究所 生物進化研究部 門, ²総合研究大学院大学 生 命科学研究科, ³埼玉大学大学 院 理工学研究科 生命科学部 門, ⁴ウイスコンシン大学 (マ ディソン校) 植物学部)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化 座長: 瀬戸口 浩彰 梶田 忠 國府方 吾郎 岩元 明敏</p> <p>1pF04 MIG-seqによるホトトギス属の系統分類: 特にむかごを形成する <i>Tricyrtis</i> sp. の系統的な位置づけについて 中舩 理玖¹, 井上 康彦², 陶山 佳久³, 網本 良啓³, 阪口 翔太¹, 瀬戸口 浩彰¹ (1京都大・院・人環, ²佐賀県佐賀市, ³東北大・院・農)</p>	<p>発 生 座長: 近藤 侑貴 伊藤(大橋) 恭子 西浜 竜一 岡本 龍史</p> <p>1pG04 維管束幹細胞の多方向分化を制御する BES1 下流因子の探索 内村 悠 (東京大学理学系研究科生物科学専攻生体制御福田研究室)</p>	<p>環境応答 座長: 梅澤 泰史 華岡 光正 宮沢 豊</p> <p>1pH04 シロイヌナズナ・クリプトクロム2の活性化および不活性化 岡 義人¹, Qin Wang¹, 松井 南², Chentao Lin³ (1Basic Forestry and Proteomics Research Center, Fujian Agriculture and Forestry University, ²Biomass Engineering Research Division, RIKEN CSRS, ³Department of Molecular, Cell and Developmental Biology, University of California, Los Angeles)</p>	<p>ゲノム, プロテオーム 座長: 吉原 静恵 玉田 洋介 吉田 聡子</p> <p>1pI04 緑色海藻クビレズタの比較ゲノム解析 有本 飛鳥¹, 西辻 光希¹, 新垣 奈々², 久田 香奈子¹, 新里 宙也¹, 佐藤 矩行¹, 將口 栄一¹ (1沖縄科学技術大学院大学マリンゲノミクスユニット, ²沖縄科学技術大学院大学 DNA シーケンシングセクション)</p>	<p>細胞内小器官 座長: 田中 博和 宮城島 進也 高橋 秀幸</p> <p>1pJ04 植物のクチクラ形成に関する新規制御因子の探索 田中 博和, 田井 聡美, 橋口 雄樹, 鎌田 和, 柿本 辰男 (大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻)</p>	<p>14:45</p>
<p>1pF05 汎熱帯海流散布植物ナガミハナムタメのグローバルスケールでの交配可能性 梶田 結衣¹, 山本 崇^{1,2}, 柴村 奈緒子³, 井村 信弥¹, 石垣 圭一¹, 堤 ひとみ¹, Alison Kim Shan Wee⁴, 高山 浩司⁵, 梶田 忠^{1,2} (1琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設, ²鹿児島大学大学院連合農学研究科, ³京大大学生態学研究センター, ⁴広西大学林学院, ⁵ふじのくに地球環境史ミュージアム)</p>	<p>1pG05 維管束形成因子による根端分生組織の制御 館野 ひなた, 福田 裕穂, 伊藤(大橋) 恭子 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室)</p>	<p>1pH05 機械刺激が誘導する植物免疫系の解析 松村 護¹, 野元 美佳¹, 板谷 知健¹, 鈴木 孝征², 多田 安臣^{1,3} (1名古屋大・院・生命理学, ²中部大・応生, ³名古屋大・遺伝子)</p>	<p>1pI05 比較ゲノム解析による好酸性緑藻の酸性環境への適応機構の解明 廣岡 俊亮^{1,2}, 広瀬 侑³, 兼崎 友^{2,4}, 樋口 澄男⁶, 藤原 崇之^{1,2,6}, 大沼 亮¹, 恵良 厚子^{1,2}, 大林 龍胆¹, 宇塚 明洋^{1,6}, 野崎 久義⁷, 吉川 博文^{2,8}, 宮城島 進也^{1,2,6} (1遺伝研・細胞遺伝, ²JST・CREST, ³豊橋技科大・環境・生命工学, ⁴東農大・ゲノム解析センター, ⁵野尻湖水草復元研究会, ⁶総研大・生命科学・遺伝学, ⁷東大・院・理, ⁸東農大・生命科学・バイオ)</p>	<p>1pJ05 フクロソウ科植物の胚嚢細胞内オルガネラのダイナミクスについて 黒岩 晴子, 永田 典子, 黒岩 常祥 (日本女子大・理学)</p>	<p>15:00</p>
<p>1pF06 海岸性マンネングサ属における特殊な分散様式の発見 伊東 拓朗^{1,3}, 横田 昌嗣², 國府方 吾郎^{1,3} (1東農工大・院・連農, ²琉大・理・海洋自然, ³科博・植物)</p>	<p>1pG06 LBD15/ASL11による道管分化マスター因子の制御 伊藤(大橋) 恭子, 福田 裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)</p>	<p>1pH06 植物培養細胞BY-2における熱ストレス応答性の細胞死と細胞周期の関係 川口 遼, 檜垣 匠, 馳澤 盛一郎 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 植物全能性制御システム解析学分野)</p>	<p>1pI06 緑藻メダカモのゲノム解析 加藤 翔一¹, 松永 幸大¹, 三角 修己², 乾 弥生¹, 黒岩 晴子³, 黒岩 常祥³ (1東京理科大・院・理工・応用生物学, ²山口大・院・創成科学, ³日本女子大・理・物質生物学)</p>	<p>1pJ06 単細胞紅藻 <i>Cyanidioshyzon merolae</i> の細胞質分裂における ESCRT の役割 八木沢 美美^{1,2}, 藤原 崇之^{3,4,5}, 宮城島 進也^{3,4,5}, 中村 宗一⁶, 黒岩 晴子⁷, 黒岩 常祥⁷ (1琉球大・研究基盤, ²琉球大・院・理, ³遺伝研・細胞遺伝, ⁴JST・CREST, ⁵総研大・生命科学・遺伝学, ⁶琉球大・理・海洋自然, ⁷日本女子大・理)</p>	<p>15:15</p>
<p>1pF07 集団内に多様な花色を有するミスミソウの, アントシアニン合成関連遺伝子群における多型性の検証 魚岡 慎一郎¹, 若林 智美¹, 田中 啓介², 三井 裕樹³, 岩科 司⁴, 村井 良徳⁴, 崎尾 均⁵, 阿部 晴恵³, 瀬戸口 浩彰¹ (1京都大・院・人環, ²東京農大・生物資源ゲノム解析センター, ³東京農大・農, ⁴科博・植物, ⁵新潟大・農)</p>	<p>1pG07 維管束篩要素の細胞分化におけるオルガネラ・リリケーション機構 古田 かおり¹, 宮島 俊介¹, Ilya Belevich², Yka Helariutta^{2,3}, Eija Jokitalo², 中島 敬二¹ (1奈良先端大・バイオ, ²Institute of Biotechnology, University of Helsinki, ³The Sainsbury Laboratory, University of Cambridge)</p>	<p>1pH07 シロイヌナズナにおけるエタノールが関与する高温ストレス耐性獲得機構の解明 砂押 裕司^{1,2}, 松井 章浩², 田中 真帆², 水無 佳代子², 関 原 明^{2,3,4} (1横浜市大・院・生命ナノ, ²理研・CSRS 植物ゲノム発現研究チーム, ³横浜市大・木原生研, ⁴JST・CREST)</p>	<p>1pI07 有殻アメーバのゲノム解読による一次細胞内共生進化の初期プロセスの解析 松尾 充啓¹, 湯端 篤¹, 立川 誠¹, 水口 洋平², 野口 英樹², 豊田 敦², 藤山 秋佐夫², 鈴木 穰³, 中山 卓郎⁴, 神川 龍馬⁵, 野村 真未⁶, 稲垣 祐司⁴, 石田 健一郎⁶, 小保方 潤一¹ (1京都府立大学大学院・生命環境科学研究科, ²情報・システム研究機構・国立遺伝学研究所, ³東京大学大学院・新領域創成科学研究科, ⁴筑波大学・計算科学研究センター, ⁵京都大学大学院・人間・環境学研究科, ⁶筑波大学大学院・生命環境科学研究科)</p>	<p>1pJ07 単細胞藻類シジムのオーロキナーゼによるミトコンドリア分裂制御機構の解析 松永 朋子¹, 加藤 翔一², 岡村 枝里佳², 坂本 卓也², 乾 弥生², 黒岩 常祥³, 松永 幸大^{1,2} (1東京理科大・総合研究院, ²東京理科大・理工・応用生物学, ³日本女子大・理・物質生物学)</p>	<p>15:30</p>

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
15:45	JPR国際シンポジウム Toward unveiling plant adaptation mechanisms to environmental stresses	シンポジウム カロテノイド： その多様性と普遍性が 切り拓く新展開	シンポジウム 究極のオルガネラ研究		遺伝子発現制御 座長：有村 源一郎 諸橋 賢吾 池田 陽子 栗原 志夫 1pE08 ゼニゴケにおける転写因子ネットワーク解析が示唆する遺伝子制御ネットワークの進化 新井 遥香 ¹ , 西浜 竜一 ² , 河内 孝之 ² , 諸橋 賢吾 ¹ (¹ 東理大・院・理工・応用生物科学, ² 京大・院・生命)
16:00	16:00-16:30 1pSA05 Stressed! How plants cope through dynamic responses Dinney R. Jose (Carnegie Institution for Science Department of Plant Biology)	16:00-16:20 1pSB07 シアノバクテリアでのカロテノイド高蓄積のための遺伝子改変 松村 雅子 ¹ , 島田 尚弥 ¹ , 清田 浩史 ¹ , 奥田 裕紀子 ¹ , 高市 真一 ² , 梅野 太輔 ³ , 池内 昌彦 ¹ (¹ 東大・院・総合文化, ² 東京農大・生命科学, ³ 千葉大・院・工学)	15:52-16:20 1pSC05 出芽酵母におけるミトコンドリアオートファジーの分子機構 神吉 智丈 (新潟大・院・医)		1pE09 シロイヌナズナのトライコーム分布パターンによる細胞間遺伝子発現のばらつき可視化 岡本章太郎, 諸橋 賢吾 (東京理科大学 理工学研究科 応用生物科学科専攻 諸橋研究室)
16:15		16:20-16:40 1pSB08 カロテノイド生合成経路の「進化能」の探索 梅野 太輔, 李 侖, 大谷 悠介, 王 時飛, 河合 繁子 (千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 共生応用化学コース)	16:20-16:48 1pSC06 核を巡るtRNAのダイナミクス 吉久 徹 (兵庫県立大学大学院 生命理学研究科分子機械学分野)		1pE10 シロイヌナズナにおけるトライコーム形成とアントシアニン生合成の遺伝子制御ネットワーク間相互作用の解明 外山 祐子, 岡本章太郎, 諸橋 賢吾 (東京理科大学 理工学研究科 応用生物科学専攻 諸橋研究室)
16:30					1pE11 シロイヌナズナにおける遺伝子特異的な発現ばらつきの網羅的解析 根岸 洗平 ¹ , 安井 清一 ² , 諸橋 賢吾 ³ (¹ 東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学専攻, ² 東京理科大学 理工学部 経営工学科, ³ 東京理科大学 理工学部 応用生物科学科)

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 瀬戸口 浩彰 梶田 忠 國府方 吾郎 岩元 明敏</p>	<p>発 生</p> <p>座長: 近藤 侑貴 伊藤(大橋) 恭子 西浜 竜一 岡本 龍史</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 梅澤 泰史 華岡 光正 宮沢 豊</p>	<p>ゲノム, プロテオーム</p> <p>座長: 吉原 静恵 玉田 洋介 吉田 聡子</p>	<p>細胞内小器官</p> <p>座長: 田中 博和 宮城島 進也 高橋 秀幸</p>	
<p>1pF08</p> <p>隔離された蛇紋岩ハビ タツ間で交流はあった のか? : 北海道における サクラソウ属近縁2種の 研究例</p> <p>山本 将也¹, 高橋 大樹¹, 堀田 清², 瀬戸口 浩彰¹ (1京大・院・ 人環, 2北医療大・薬)</p>	<p>1pG08</p> <p>植物組織では異質的な細 胞成長が細胞間の滑らか な境界形成を促進する</p> <p>藤原 基洋¹, 藤本 仰一¹, 宮島 俊介² (1大阪大・院・理学, 2奈 良先端大・院・バイオサイエ ンス)</p>	<p>1pH08</p> <p>シロイヌナズナのストレ ス応答性転写因子 DREB2Aの翻訳後調節に おけるリン酸化の解析</p> <p>澁井 順哉¹, 金澤 夏美¹, 秦 峰², 城所 聡¹, 高橋 史憲³, 篠 崎 一雄³, 篠崎 和子¹ (1東大院・ 農学生命科学, 2国際農研・生 物資源利用, 3理研・環境資源 科学研究セ)</p>	<p>1pI08</p> <p>比較ゲノム解析から見え てきた茎寄生植物ネナシ カズラの形態形成メカニ ズム</p> <p>横山 隆亮¹, 大林 武², 鳴川 秀 樹¹, 加賀 悠樹¹, 加藤 萌木¹, 黒羽 剛¹, 西谷 和彦¹ (1東北 大学大学院生命科学研究所, 2東北大学大学院情報科学研 究科)</p>	<p>1pJ08</p> <p>アクチン脱重合因子によ る遺伝子発現制御機構の 解析</p> <p>稲田のりこ¹, 坂本 卓也², 松 永 幸大², 梅田 正明¹ (1奈良 先端大・バイオ, 2東京理科大・ 理工・応用生物科学)</p>	15:45
<p>1pF09</p> <p>福井県・石川県に固有に 分布するエチゼンダイモ ンジソウの集団遺伝構造</p> <p>孫田 佳奈¹, 赤井 賢成², 阪口 翔太¹, 瀬戸口 浩彰¹ (1京都大 学 人間・環境学研究所, 2(一 財)沖縄美ら島財団)</p>	<p>1pG09</p> <p>核オキシシンシグナリン グによるゼニゴケ幹細胞 機能調節</p> <p>鈴木 秀政¹, 加藤 大貴^{1,2}, 片山 みなみ¹, 灰庭 瑛実¹, 山岡 尚 平¹, 西浜 竜一¹, 河内 孝之¹ (1京大・院・生命科学, 2Wageningen Univ., the Netherlands)</p>	<p>1pH09</p> <p>化合物スクリーニングに よる SnRK2 プロテインキ ナーゼの活性調整剤の探 索</p> <p>松岡 頌子¹, 佐藤 花繪¹, 今村 理世², 能年 義輝³, 岡部 隆義², 梅澤 泰史¹ (1農工大・院・ BASE, 2東京大・創薬機構, 3岡 山大・農)</p>	<p>1pI09</p> <p>茎頂分裂組織を欠失した ストレプトカルプス属に おける分子進化機構解明 に向けたゲノム資源の整 備</p> <p>西井 かなえ^{1,2}, Yun-Yu Chen^{2,3}, Sadie Barber², 岩元 明敏¹, Michael Möller² (1東京学芸大・ 教育, 2Royal Bot. Gard. Edinburgh, 3Univ. Edinburgh)</p>	<p>1pJ09</p> <p>真核藻類における細胞周 期進行とエネルギー変換 の時間分業</p> <p>宮城島 進也^{1,2}, 恵良 厚子^{1,2}, 廣岡 俊亮^{1,2}, 藤原 崇之^{1,2} (1遺伝研・細胞遺伝, 2JST・ CREST)</p>	16:00
<p>1pF10</p> <p>親子解析, 空間遺伝構造 推定によるカンアオイ属 サカワサイシン節の繁殖 特性の推定</p> <p>高橋 大樹¹, 寺峰 孜², 阪口 翔 太¹, 瀬戸口 浩彰¹ (1京都大学 大学院 人間・環境学研究所, 2高知県高知市)</p>	<p>1pG10</p> <p>動植物に保存された幹細 胞化促進因子の機能解析</p> <p>玉田 洋介^{1,2}, Chen Li^{1,2,3}, 佐古 祐介⁴, 今井 章裕^{1,4,5}, 佐藤 良 勝^{4,6}, 長谷部 光泰^{1,2,4} (1基礎 生物学研究所・生物進化研究 部門, 2総合研究大学院大学・ 生命科学研究所, 3Institute of Basic Medicine, Hubei University of Medicine, 4ERATO, JST, 5広 島工業大学・生命学部・食品 生命科学科, 6名古屋大学・ト ランスフォーメティブ生命分 子研究所 (WPI-ITbM))</p>	<p>16:15-16:45</p> <p>1pH-AL1 [若手奨励賞]</p> <p>座長: 小松 節子</p> <p>細胞膜および細胞膜マイ クロドメインの低温馴化 応答性と凍結耐性</p> <p>高橋 大輔 (Max-Planck-Institute of Molecular Plant Physiology)</p>	<p>1pI10</p> <p>Applying next generation sequencing for building the genetic map of the non-model <i>Streptocarpus</i></p> <p>Yun-Yu Chen^{1,2}, 西井 かなえ^{2,3}, Sadie Barber², Christine Hackett⁴, Catherine Kidner^{1,2}, Karim Gharbi¹, 永野 惇⁵, 岩元 明敏³, Michael Möller² (1Univ. Edinburgh, 2Royal Bot. Gard. Edinburgh, 3東京学芸大・自然, 4BioSS, 5龍谷大・農)</p>	<p>1pJ10</p> <p>灰色藻 <i>Cyanophora</i> <i>paradoxa</i> の葉緑体チラ コイド膜に存在する新奇 拡散チャネルTPOR</p> <p>児島 征司^{1,2}, 栃木 佐枝子², 高 橋 秀幸¹ (1東北大学大学院生 命科学研究科, 2東北大学学際 科学フロンティア研究所)</p>	16:15
<p>1pF11</p> <p>ダイコン野生種ハマダイ コンにおける海岸生一帯 琵琶湖陸封生の間での耐塩 性分化</p> <p>妹川 陽香¹, 且原 真木², 瀬戸 口 浩彰¹ (1京大・院・人環, 2岡 山大・資源植物研)</p>	<p>1pG11</p> <p>植物卵細胞・受精卵を用 いた一過的遺伝子発現系 の確立および受精卵発生 機構の解析へ向けた利用</p> <p>古磯 成美¹, 戸田 絵梨香^{1,2}, 網 島 雅子³, 加藤 紀夫^{1,2,3}, 岡本 龍史^{1,2} (1首都大・理工・生命 科学, 2理研・イノベーション センター, 3日本たばこ産業 (株))</p>		<p>1pI11</p> <p>孤立させたヒメツリガネ ゴケ葉細胞のリプログラ ミング過程における1細 胞遺伝子発現解析</p> <p>新井 亨¹, 佐藤 良勝³, 西山 智 明⁴, 佐野 亮輔¹, 玉田 洋介⁵, 出村 拓¹, Reski Ralf⁶, 長谷部 光泰⁵, 久保 稔² (1奈良先端大・ バイオ, 2奈良先端大・研究推 進機構, 3名大・ITbM, 4金沢 大・学際セ, 5基生研, 6フライ ブルク大・生物)</p>	<p>1pJ11</p> <p>母性遺伝におけるミトコ ンドリアDNA選択的消失 に関わる因子の同定にむ けて</p> <p>浦川 直希¹, 森山 陽介², 東山 哲也¹, 佐々木 成江¹ (1名古屋 大学大学院理学研究科生命理 学専攻, 2藤田保健衛生大学 医学部解剖学)</p>	16:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
16:45		<p>シンポジウム カロテノイド： その多様性と普遍性が 切り拓く新展開</p> <p>16:40-17:00</p> <p>1pSB09 誘導ラマン散乱による生きた微細藻類の無標識一細胞解析 鈴木 祐太¹, 脇坂 佳史², 合田 圭介^{2,3}, 小関 泰之¹ (¹Department of Electrical Engineering and Information Systems, University of Tokyo, ²Department of Chemistry, University of Tokyo, ³Department of Electrical Engineering, University of California, Los Angeles)</p>	<p>シンポジウム 究極のオルガネラ研究</p> <p>16:48-17:15</p> <p>1pSC07 酵母の細胞壁研究の魅力 大矢 禎一 (東京大学 大学院 新領域創成科学研究科)</p>		
17:00		<p>17:00-17:10</p> <p>総合討論 池内 昌彦</p>			
17:15					
17:30					

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 瀬戸口 浩彰 梶田 忠 國府方 吾郎 岩元 明敏</p>	<p>発 生</p> <p>座長: 近藤 侑貴 伊藤(大橋) 恭子 西浜 竜一 岡本 龍史</p>		<p>ゲノム, プロテオーム</p> <p>座長: 吉原 静恵 玉田 洋介 吉田 聡子</p>	<p>細胞内小器官</p> <p>座長: 田中 博和 宮城島 進也 高橋 秀幸</p>	
<p>1pF12 絶滅危惧種エンビセンノウのロシアから北海道, 朝鮮から本州の2ルート進入と, 日本集団保全上の留意点 田村 紗彩^{1,2}, Myoung-Hai Kwak³, 國府方 吾郎⁴, Chan-Ho Park³, Byoung-Yoon Lee³, 福田 知子⁵, Pimenova Elena Alexandrovna⁶, Ekaterina Petrunenko⁶, Pavel Krestov⁶, Svetlana Bondarchuk⁷, Jin-Shuang Ma⁸, Hai-Cheng Zhou⁹, 坪井 勇人¹⁰, 西川 洋子¹¹, 島村 崇志¹¹, 富士田 裕子^{1,2}, 中村 剛^{1,2} (¹北海道大・北方圏・植物園, ²北海道大・院・農, ³National Institute of Biological Resources, Korea, ⁴国立科学博物館・植物, ⁵三重大・教養教育機構, ⁶Botanical Garden-Institute, FEBRAS, Russia, ⁷Sikhote-Alin State Nature Biosphere Reserve, Russia, ⁸Shanghai Chenshan Plant Science Research Center, CAS, China, ⁹Conservation Center of Management Bureau of Changbai Mountain, China, ¹⁰白馬五竜高山植物園, ¹¹道総研・環境科学研究センター)</p>	<p>1pG12 イネ受精卵初期発生における父性鍵因子の探索および解析 岩見 百華¹, 戸田 絵梨香^{1,2}, 小林 正明³, 高原 美嶺¹, 大西 由之佑¹, 関本 弘之⁴, 矢野 健太郎³, 岡本 龍史¹ (¹首都大学東京 理工学研究科, ²理研イノベーションセンター PBIL, ³明治大学 農学部, ⁴日本女子大学 理学部)</p>		<p>1pI12 Plant Genome Database: An integrated platform for plant genomes Jongsun Park^{1,2}, Hong Xi^{1,2}, Yongsung Kim^{1,2} (¹InfoBoss, Co., Ltd., ²InfoBoss Research Center)</p>	<p>1pJ12 出芽酵母の呼吸欠損株誘導に関するタンパク質の同定 田浦 花², 宮川 勇¹ (¹山口大・院・創成科学, ²山口大・院・理工)</p>	16:45
<p>1pF13 オイラトモンゴル人の高山野生植物の利用について—新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県を事例に Erta Bayi (千葉大学人文社会科学研究所)</p>	<p>1pG13 イネ受精卵発生カスケードに及ぼすCa²⁺の影響 國分 巖, 大西 由之佑, 岡本 龍史 (首都大・理工・生命科学)</p>		<p>1pI13 モデル寄生植物コシオガマの変異体原因遺伝子同定 Songkui Cui^{1,2}, 重信 秀治³, 西山 智明⁴, 柴田 朋子³, 長谷部 光泰^{3,5}, 白須 賢^{2,6}, 吉田 聡子^{1,2} (¹奈良先端大・バイオサイエンス, ²理化学研究所・CSRS, ³基生研, ⁴金沢大, ⁵総研大, ⁶東京大院・理)</p>		17:00
			<p>1pI14 ゲノム編集技術を用いた植物クロマチンの可視化とその応用 藤本 聡, 松永 幸大 (東京理科大学 理工学部 応用生物科学科)</p>		17:15
					17:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	シンポジウム 植物オートファジー 研究の第二の夜明け	シンポジウム 植物の柔軟な発生を 支える細胞骨格 ダイナミクス	シンポジウム ポストゲノム時代の ヒルガオ科研究	光合成 座長：松田 祐介 高橋 裕一郎 小林 正美	細胞壁 座長：岩井 宏暁 小竹 敬久 横山 隆亮
9:00	9:00-9:05 2aSA01 はじめに 吉本 光希 (明治大学 農学部 生命科学科)	9:00-9:05 はじめに	9:00-9:05 はじめに 小野 道之, 仁田坂 英二	2aD01 海洋性珪藻におけるCO ₂ 応答性機構の解明 中川 真佑, 斎藤 健人, 中島 健 介, 松田 祐介 (関西学院大学)	2aE01 巨大細胞性緑藻バロニア の細胞壁のマトリックス 成分と力学的性質 峯一朗 (高知大学・院・黒潮 圏)
9:15	9:05-9:30 2aSA02 アンモニアストレスは2 つのオートファジー過程 に真逆の影響を与える 吉本 光希 (明治大学 農学部 生命科学科)	9:05-9:35 2aSB01 葉における細胞分裂・細 胞伸長の制御 塚谷 裕一 ^{1,2} (1東京大学 大学 院理学系研究科 生物科学専 攻, 2自然科学研究機構 岡崎 統合バイオサイエンスセン ター)	9:05-9:30 2aSC01 アサガオのゲノム解読 ～古典遺伝学とロング リードNGSの融合～ 星野 敦 ¹ , Vasanthan Jayakumar ² , 仁田坂 英二 ³ , 榎 原 康文 ² (1基生研, 2慶応大・ 理工, 3九大・院・理学)	2aD02 海洋性珪藻における細胞 膜重炭酸イオン輸送体 中島 健介, 岩山 和史, 大橋 弘 章, 松田 祐介 (関学大・院・ 理工)	2aE02 仮道管分化に関わるテー タマツVNSの機能解析 秋吉 信宏 ¹ , 中野 仁美 ¹ , 榎田 雄佑 ¹ , 大谷 美沙都 ^{1,2} , 出村 拓 ^{1,2} (1奈良先端科大 バイオ, 2理研 CSRS)
9:30	9:30-10:00 2aSA03 タバコ培養細胞を用いた 植物オートファジーの解 析 森安 裕二, 井上 悠子 (埼玉 大学・理・生体制御)	9:35-10:00 2aSB02 青色光に応答した微小管 ダイナミクス Masayoshi Nakamura ^{1,2} , Jelmer Lindeboom ² , David Ehrhardt ² (1名古屋大学・トランス フォーマティブ生命分子研究 所, 2Carnegie Institution for Science・Department of Plant Biology)	9:30-9:55 2aSC02 アサガオ [<i>Pomoea nil</i> (<i>Pharbitis nil</i>)] のゲノム 編集 渡邊 健太 ¹ , 小林 安那 ¹ , 鷲塚 藩 ¹ , 小野 公代 ¹ , 渋谷 健市 ² , 小野 道之 ¹ (1筑波大学・遺伝 子実験センター, 2農研機構・ 野菜花き研究部門)	2aD03 海洋性珪藻ピレノイドに おける無機炭素流路制御 機構の解明 山岸 寛征, 菊谷 早絵, 宮武 愛, 辻 敬典, 松田 祐介 (関西 学院大・院・理工)	2aE03 熱分解GC-MSを用いた ハイスループット木質バ イオマス評価手法の確立 徳元 拓哉 ¹ , 山崎 将太郎 ¹ , Lorenz Gerber ² , 加藤 晃 ¹ , 大谷 美沙都 ^{1,3} , 出村 拓 ^{1,3} (1奈良先 端大・バイオ, 2Univ. Umea, 3理研・CSRS)
9:45				2aD04 固相表面上のクロレラに おける光合成能力と排水 中リン回収能力 宮内 啓喜, 原田 康平, 青田 侑 生, 岡田 克彦, 藤原 祥子, 都 筑 幹夫 (東京薬科大学生命 科学部環境応用植物学研究 室)	2aE04 原生木部道管細胞の二次 壁肥厚パターンに影響す る化学的要因の解析 野田 千壘 ¹ , 大谷 美沙都 ^{1,2} , 出 村 拓 ^{1,2} (1奈良先端大・バイオ, 2理研・CSRS)
10:00	10:00-10:30 2aSA04 ゼニゴケを用いた精子形 成過程におけるオート ファジーの機能解析 法月 拓也 ^{1,2} , 上田 貴志 ^{2,3} (1東 大・院・理, 2基生研, 3総研大)	10:00-10:25 2aSB03 温度変化に応答した微小 管ダイナミクス 濱田 隆宏 (東京大・総合文化)	9:55-10:20 2aSC03 アサガオ系統の由来と多 様な変異体 仁田坂 英二 ¹ , 星野 敦 ² (1九 州大学大学院理学研究科生命 科学部門, 2自然科学研究機構 基礎生物学研究所)	2aD05 緑藻クラミドモナスの光 化学系I集光性アンテナ 複合体の構造 小澤 真一郎, 高橋 裕一郎 (岡 山大・異分野基礎研)	2aE05 細胞壁イメージングと新 規の酵素機能の解析に基 づく新しい細胞壁高次構 造モデルの提案 九鬼 寛明 ¹ , 檜垣 匠 ² , 篠原 直 貴 ¹ , 横山 隆亮 ¹ , 黒羽 剛 ¹ , 三 上 慎吾 ¹ , 馳澤 盛一郎 ² , 西谷 和彦 ¹ (1東北大・院・生命科学, 2東京大・院・新領域創成科学)

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化 座長: 遊川 知久 柿嶋 聡</p>	<p>発 生 座長: 田中 博和 檀本 悟史 鳥羽 大陽</p>	<p>環境応答 座長: 山口 雅利 深城 英弘 野田口 理孝</p>	<p>生 殖 座長: 藤田 尚子 東山 哲也 土松 隆志</p>	<p>植物微生物相互作用 座長: 別役 重之 中川 知己 高梨 功次郎</p>	
<p>2aF01 日本産ユリ属の系統 (予報) 渡邊 誠太¹, 林一彦², 荒川 克郎³, 布施 静香¹, 田村 実¹ (¹京大・院・理, ²大阪学院大, ³ガーデンリリーファーム)</p>	<p>2aG01 Roles of ROP interactive partners (RIPs) in cell division in <i>Arabidopsis thaliana</i> Qimuge Hasi, 柿本 辰男 (大阪大学)</p>	<p>2aH01 シロイヌナズナにおけるヨウ素のアンモニア毒性軽減効果 山上 陸, 高久 雄一, 久松 俊一 (環境科学技術研究所)</p>	<p>2aI01 フィールドで利用できるホウレンソウの簡易雌雄判別法 藤田 尚子^{1,3}, 渡辺 京子², 辻 寛之³, 有江 力¹, 小松 健¹ (¹横浜市立大・木原生物学研究所, ²玉川大・農, ³農工大・植物病理)</p>	<p>2aJ01 日本の高山におけるマメ科植物と根粒菌の共生関係 高梨 功次郎^{1,2}, 川井 友裕², 瀬尾 直登³, 池田 啓⁴, 佐藤 修正⁵, 矢崎 一史¹ (¹信州大・山岳研, ²信州大・理, ³京大・生存研, ⁴岡山大・植物研, ⁵東北大・院・生命科学)</p>	9:00
<p>2aF02 ボロボロノキ2集団における花の二型性と送粉様式の比較 荻原 弘貴¹, 渡邊 謙太², 藏屋 英介³, 神保 宇嗣³, 菅原 敬⁴ (¹首都大・院・生命, ²沖縄高専, ³科博, ⁴首都大・牧野)</p>	<p>2aG02 BEN2/VPS45 遺伝子による根の発生制御機構の解析 松浦 友紀, 柿本 辰男, 田中 博和 (大阪大・院・理・生物)</p>	<p>2aH02 落葉木本植物ポプラの季節的なリン転流機構の解析 栗田 悠子¹, 菅野 里美^{2,3}, 杉田 亮平², 廣瀬 農², 大西 美輪⁴, 手塚 あゆみ¹, 出口 亜由美¹, 小菅 桂子⁵, 石崎 公庸⁵, 深城 英弘⁵, 田野井 慶太郎^{2,6}, 中西 友子², 馬場 啓一⁷, 永野 惇¹, 三村 徹郎⁴ (¹龍谷大・農, ²東京大・院・農, ³The French Alternative Energies and Atomic Energy Commission, France, ⁴神戸大・先端融合研究環, ⁵神戸大・院・理, ⁶JST さきがけ, ⁷京都大・生存研)</p>	<p>2aI02 1001ゲノムデータから探るシロイヌナズナ自家不和合性遺伝子座の進化過程 土松 隆志^{1,2}, Pauline Goubet³, Magnus Nordborg², Xavier Vekemans³, Vincent Castric³ (¹千葉大学大学院理学研究科, ²Gregor Mendel Institute, ³University of Lille)</p>	<p>2aJ02 日本各地における野生ミヤコグサ (<i>Lotus japonicus</i>) に共生している根粒菌の系統解析 番場 大¹, 青木 誠志郎², 梶田 忠³, 綿野 泰行⁴, 瀬戸口 浩彰⁵, 佐藤 修正⁶, 土松 隆志⁴ (¹千葉大学大学院理学研究科, ²総合文化, ³筑大・熱生研・西表, ⁴千葉大・理, ⁵京大・院・人環, ⁶東北大・院・生命)</p>	9:15
<p>2aF03 ユキモチソウ (サトイモ科: テンナンショウ属) で発見された驚くべき送粉様式 奥山 雄大¹, 柿嶋 聡², 都野 展子³, 保坂 健太郎², 伊東 拓朗^{2,4} (¹科博・植物園, ²科博・植物, ³金沢大・自然科学, ⁴農工大・連農)</p>	<p>2aG03 側根の分裂組織形成不全を示すシロイヌナズナ <i>rfc3</i> の組織特異的相補性の解析 伊藤 将太¹, 中田 未友希², 堀口 吾朗^{1,2} (¹立教大・理・生命, ²立教大・理・生命理センター)</p>	<p>2aH03 2-ヒドロキシスフィンゴ脂質によるシロイヌナズナ耐病性の解析 宇川 智水, 長野 稔, 石川 寿樹, 山口 雅利, 川合 真紀 (埼玉大学大学院 理工学研究科)</p>	<p>2aI03 シロイヌナズナ卵細胞被覆構造の解析 丸山 大輔¹, 大井 崇生², 須崎 大地¹, 東山 哲也³, 木下 哲¹ (¹横浜市立大学 木原生物学研究所, ²名古屋大学 生命農学研究科, ³名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (ITbM))</p>	<p>2aJ03 ミヤコグサはいかにして働かない cheating 根粒菌を排除するのか? 中川 知己^{1,2}, 佐伯 和彦³, 豊岡 公德⁴, 佐藤 蘭子⁴, 若崎 真由美⁴, 大澤 美実³, 福原 舞^{1,5}, 川東 拓司⁶, 吉田 彩恵⁶, 菅沼 教生⁶, 佐藤 修正⁷, 岡崎 伸⁸, 川口 正代司^{1,5} (¹基生研共生システム, ²名古屋大・理, ³奈良女子大・理, ⁴理研・CSRS, ⁵総研大, ⁶愛知教育大, ⁷東北大・生命科学, ⁸農工大)</p>	9:30
<p>2aF04 カンアオイ属における著しい花香の多様化と明らかにしつつあるその送粉様式 柿嶋 聡¹, 岡本 朋子², 菅原 敬³, 奥山 雄大¹ (¹科博・植物, ²岐阜大・応用生物, ³首都大・牧野標本館)</p>	<p>2aG04 長時間連続観察による根冠細胞の剥離様式の解析 郷 達明, 宮島 俊介, 上野 皓輝, 中島 敬二 (奈良先端大・バイオ)</p>	<p>2aH04 シロイヌナズナの酸性および酸性リン欠乏条件下におけるガラクト脂質合成の機能 村川 雅人¹, 太田 啓之², 下嶋 美恵² (¹東工大・院・生命理工, ²東工大・生命理工学院)</p>	<p>2aI04 クラミドモナス接合胞子における発芽時特異的発現遺伝子の機能解析 靑山 洋昭¹, 中村 宗一² (¹琉球大・戦略センター, ²琉球大・理・海洋自然)</p>	<p>2aJ04 NRSYM1は硝酸に応答して根粒共生を抑制する 西田 帆那^{1,2,3}, 田中 幸子², 半田 佳宏², 伊藤 百代³, 征矢野 敬^{1,2}, 川口 正代司^{1,2}, 寿崎 拓哉³ (¹総研大・生命科学, ²基生研・共生システム, ³筑波大・生命環境)</p>	9:45
<p>2aF05 植物の成長とともに菌根菌は変わる—植物の生活史段階を指標とした菌共生パターンの多様性 遊川 知久¹, 木下 晃彦², 山下 由美¹, 辻田 有紀³ (¹国立科博・植物園, ²森林総研, ³佐賀大・農)</p>	<p>2aG05 AGC キナーゼによる根毛細胞の極性成長制御機構の解析 四方 明格^{1,2}, Frank Vogler³, Stefanie Sprunck³, Claus Schwechheimer¹ (¹Plant Systems Biology, Technical Univ. of Munich, ²名大・WPI-ITbM, ³Cell Biology and Plant Biochemistry, Univ. of Regensburg)</p>	<p>2aH05 サイズの食害応答を制御する糖工リクターの受容機構の解明 上村 卓矢¹, 根本 圭一郎², Ramadan Abdelaziz², 竹田 浩之², 三浦 成敏¹, 澤崎 達也², 有村 源一郎¹ (¹東京理科大学 基礎工学部, ²愛媛大学 PROS)</p>	<p>2aI05 雌性配偶体形成過程における細胞運命制御機構の解析 栗原 大輔¹, 須崎 大地², 東山 哲也^{1,3} (¹名大・院・理, ²横浜市立大・木原生研, ³名大・WPI-ITbM)</p>	<p>2aJ05 シロイヌナズナに対するセスバニア根粒菌の感染様式 榎澤 啓吾¹, 諸橋 賢吾¹, 青野 俊裕² (¹東京理科大学・院・理工, ²東大・生・生)</p>	10:00

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	シンポジウム 植物オートファジー 研究の第二の夜明け	シンポジウム 植物の柔軟な発生を 支える細胞骨格 ダイナミクス	シンポジウム ポストゲノム時代の ヒルガオ科研究	光合成 座長：松田 祐介 高橋 裕一郎 小林 正美	細胞壁 座長：岩井 宏暁 小竹 敬久 横山 隆亮
10:15			10:20-10:50 2aSC04 同質六倍体サツマイモ栽培 培種のゲノム解読に向け た取り組み 白澤 健太 ¹ , 長崎 英樹 ¹ , 田中 勝 ² , 岡田 吉弘 ² , 高畑 康浩 ² , 平川 英樹 ¹ , 磯部 祥子 ¹ (¹ か ずさDNA研究所, ² 農研機構 九沖農研)	2aD06 光化学系IIサブユニット へのアミノ酸置換と系II 活性への影響 黒田 洋詮 ¹ , 上田 和世 ² , 岡本 真奈 ³ , 二宮 亮 ³ , 肥田 千聖 ³ , 高橋 裕一郎 ¹ (¹ 岡山大学異分 野基礎科学研究所(理), ² 岡山 大学大学院自然科学研究科, ³ 岡山大学理学部生物学科)	2aE06 イネの根の伸長に対する ペクチンメチル化度変化 の影響 鈴木 靖章 ^{1,2} , 竹内 春樹 ² , 鎌田 志保美 ² , 中村 敦子 ² , 阿部 光 知 ¹ , 佐藤 忍 ² , 岩井 宏暁 ² (¹ 東 大・院理・生物科学, ² 筑波大・ 生命環境系)
10:30	10:30-11:00 2aSA05 イネの生存戦略における オートファジーの重要性 来須 孝光 ^{1,2} , 朽津 和幸 ^{1,2} (¹ 東 京理科大・総合研究院, ² 東京 理科大・理工・応用生物科学)	10:25-10:50 2aSB04 分裂期から間期にかけ ての細胞骨格ダイナミクス 村田 隆 ^{1,2} (¹ 基礎生物学研究 所 生物進化研究部門, ² 総合 研究大学院大学 生命科学研 究科 基礎生物学専攻)		2aD07 裸子植物と被子植物の微 量色素分析 伊世井 湧太 ¹ , 田 正隆 ¹ , 和田 勝宏 ¹ , 渡辺 正 ² , 田中 法生 ³ , 小林 正美 ¹ (¹ 筑波大・物質工 学域, ² 東京理科大・総合教育, ³ 筑波実験植物園)	2aE07 異なる光条件におけるペ クチン分解酵素過剰発現 イネを用いたオリゴガラ クトロン酸誘導性病害応 答 竹内 春樹 ¹ , 木村 郷子 ¹ , 小原 崇司 ¹ , 佐藤 淳也 ¹ , 中村 敦子 ¹ , 出崎 能丈 ² , 渋谷 直人 ² , 賀来 華江 ² , 横山 隆亮 ² , 西谷 和彦 ² , 南 栄一 ⁴ , 佐藤 忍 ¹ , 岩井 宏暁 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 明治大・ 生命科学, ³ 東北大・院・生命 科学, ⁴ 農研機構)
10:45		10:50-11:15 2aSB05 受精卵の不等分裂を制御 する細胞骨格ダイナミク ス 木全 祐資 ¹ , 檜垣 匠 ² , 河島 友 和 ^{3,4} , 栗原 大輔 ^{1,5} , 佐藤 良勝 ⁶ , 山田 朋美 ^{1,6} , 馳澤 盛一郎 ² , Frederic Berger ³ , 東山 哲也 ^{1,5,6} , 植田 美那子 ^{1,6} (¹ 名古屋大学 大学院理学研究科, ² 東京大学 大学院新領域創成科学研究 科, ³ Gregor mendel Institute, ⁴ Department of Plant Soil Sciences, University of Kentucky, ⁵ JST, ERATO 東山ラ イブホロニクス, ⁶ トランス フォーマティブ生命分子研究 所)	10:50-11:20 2aSC05 ヒルガオ科植物の自殖性 と他殖性 土屋 亨 (三重大学 地域イノ ベーション推進機構 植物機 能ゲノミクス部門)	2aD08 藻類オイルに対するクロ ロフィル類の溶解性 神定 輝光 ¹ , 真弓 智仁 ¹ , 出村 幹英 ² , 吉田 昌樹 ² , 仲里 正孝 ³ , 渡辺 信 ² , 小林 正美 ¹ (¹ 筑波大・ 物質工学域, ² 筑波大・生命環 境系, ³ クロロフィル研究所)	2aE08 キシラン改変イネを用い たキシロオリゴ糖による 病害応答機構の探索 木村 郷子 ¹ , 小原 崇司 ¹ , 中村 敦子 ¹ , 住吉 美奈子 ¹ , 出崎 能 丈 ² , 渋谷 直人 ² , 賀来 華江 ² , 南 栄一 ³ , 佐藤 忍 ¹ , 岩井 宏暁 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 明治大・ 生命科学, ³ 農研機構)
11:00	11:00-11:30 2aSA06 選択的クロロファジー駆 動モデルの構築に向けて 中村 咲耶 ¹ , 泉 正範 ^{1,2,3} (¹ 東 北大・院・生命科学, ² 東北大 学際研, ³ JST・さきがけ)			11:00-11:30 2aD-AL1 若手奨励賞 座長：日原 由香子 クロロフィル蛍光測定に よるシアノバクテリアの 代謝系相互作用の解析 小川 敬子 (関西学院大・理工)	2aE09 真菌由来エキソ-β-1,3-ガ ラクタナーゼの発現によ る植物のII型アラビノガ ラクタンの分解 吉見 圭永, 吉村 真美, 八嶽 頼 誠, 芝野 誠二, 円谷 陽一, 小 竹 敬久 (埼玉大院・理工)

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化 座長: 遊川 知久 柿嶋 聡</p>	<p>発 生 座長: 田中 博和 檀本 悟史 鳥羽 大陽</p>	<p>環境応答 座長: 山口 雅利 深城 英弘 野田口 理孝</p>	<p>生 殖 座長: 藤田 尚子 東山 哲也 土松 隆志</p>	<p>植物微生物相互作用 座長: 別役 重之 中川 知己 高梨 功次郎</p>	
<p>2aF06 菌従属栄養植物タカツランに栄養供給する菌を安定同位体比から探る 辻田 有紀¹, Gerhard Gebauer², 手塚 賢至³, 遊川 知久⁴ (1佐賀大学農学部, 2バイロイト大学, 3屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊, 4国立科博筑波実験植物園)</p>	<p>2aG06 オオムギ休眠種子および後熟種子の比較リン酸化プロテオーム解析 石川 慎之祐¹, 高橋 史憲², 水門 佐保², Jose Maria Barrero³, 中神 弘史⁴, Frank Gubler³, 篠崎 一雄², 梅澤 泰史¹ (1東京農工大学 院BASE, 2理研・CSRS, 3CSIRO Plant Industry, Australia, 4MAX PLANCK Institute, Germany)</p>	<p>2aH06 概日リズム制御因子LHYの過剰発現がミヤコグサ就眠運動に与える影響の解析 淵田 悠太¹, 高原 正裕², 神澤 信行¹ (1上智大学 理工学研究科 理工学専攻 生物化学研究室, 2上智大学 理工学部)</p>	<p>2aI06 イネの葯タペト層のプログラム細胞死におけるオートファジーと活性酸素の役割 澤田 隼平¹, 花俣 繁^{1,2}, 小野 聖二郎³, 北畑 信隆^{1,2}, 賀屋 秀隆⁴, 土岐 精一⁴, 野々村 賢一³, 来須 孝光¹, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大学・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3国立遺伝研・実験圃場, 4農研機構・生物機能・先進作物ゲノム)</p>	<p>2aJ06 植物の形態形成におよぼす菌根菌の影響—ラン科サイハイランと菌の共生培養系を用いた検証 谷島 高広¹, 遊川 知久² (1北海道大学総合博物館, 2国立科学博物館筑波実験植物園)</p>	10:15
<p>2aF07 ラン科サカネラン連の核と色素体の複数遺伝子座を用いた系統解析 山下 由美^{1,2}, 木下 晃彦³, 辻田 有紀⁴, 黒沢 高秀⁵, 遊川 知久² (1福島大学大学院共生システム理工学研究科, 2国立科学博物館筑波実験植物園, 3森林総合研究所, 4佐賀大学農学部, 5福島大学共生システム理工学類)</p>	<p>2aG07 ゼニゴケ ALOG ドメイン遺伝子 <i>MpTAW1</i> の進化発生的解析 檀本 悟史¹, 石崎 公庸², 嶋村 正樹³, 徳永 浩樹⁴, 吉田 明希子², 経塚 淳子¹ (1東北大・院・生命科学, 2神戸大・院・理, 3広島大・院・理, 4RIKEN CSRS, 5京都大・院・生命科学)</p>	<p>2aH07 篩管移行性 mRNA のゲノムワイドな同定法の構築 筒井 大貴¹, 岡安 浩次¹, 澤井 優¹, 赤木 剛士^{2,3}, 鈴木 孝征⁴, 野田口 理孝^{1,3} (1名大・生命科学, 2京大・農学, 3JST・さきがけ, 4中部大・応用生物・応用生物化学)</p>	<p>2aI07 イネの種子登熟におけるオートファジーの役割 瀬良 ゆり¹, 花俣 繁^{1,2}, 坂本 真吾³, 小野 聖二郎⁴, 三井 悠大⁵, 金古 堅太郎⁵, 北畑 信隆^{1,2}, 三ツ井 敏明⁵, 野々村 賢一⁴, 光田 展隆³, 来須 孝光¹, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3産総研・生物プロセス, 4国立遺伝研・実験圃場, 5新潟大・農)</p>	<p>2aJ07 イメージングによる植物—微生物相互作用現場の解析 別役 重之¹, 石賀 貴子², 石賀 康博¹, 野村 暢彦¹ (1筑波大学 生命環境系, 2筑波大学 生命環境研究科)</p>	10:30
<p>10:45-11:15 2aF-AL1 奨励賞 座長: 渡邊 幹男 菌従属栄養植物の分類学的整理と生態解明 末次 健司 (神戸大学理学研究科生物学専攻)</p>	<p>2aG08 野生イネの地下茎形成における miR156 の働き 鳥羽 大陽¹, 徳永 浩樹², 志賀 敏秀¹, 経塚 淳子¹ (1東北大・院・生命科学, 2理研 環境資源科学)</p>	<p>2aH08 Phosphorylation of a 26S proteasome subunit has a crucial function in DNA damage tolerance 荒川 雄太, 坂本 卓也, 八木 慎宜, 松永 幸大 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p>	<p>2aI08 助細胞は精細胞の放出先の位置を制御する微小流路として機能する 須崎 大地¹, 東山 哲也^{2,3}, 木下 哲¹, 丸山 大輔¹ (1横浜市大・木原生研, 2名大・WPI-ITbM, 3名大院・理)</p>	<p>2aJ08 植物免疫 ETI におけるファイトアレキシン合成系の時空間的制御に関する解析 岩本 瑞生¹, 野村 暢彦², 別役 重之² (1筑波大学 生命環境学群, 2筑波大学 生命環境系)</p>	10:45
	<p>2aG09 フタバネゼニゴケの分裂組織における光応答反応 花田 俊樹, 小塚 俊明, 嶋村 正樹 (広島大・院・生物科学)</p>		<p>2aI09 種選択的な花粉管ガイダンスに関わる誘引物質 LUREs の機能解析 金岡 雅造¹, 神谷 直¹, 塚本 涼子¹, 東山 哲也^{1,2} (1名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 生殖分子情報学研究室, 2名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所)</p>	<p>2aJ09 fig22誘導性遺伝子発現を増強する新規化合物の同定と植物免疫に対する効果の解析 中野 正貴¹, 北畑 信隆^{1,2}, 吉田 亜祐美¹, 吉川 岳史¹, 末次 真悠¹, 斉藤 優歩¹, 佐藤 静香¹, 来須 孝光^{2,3}, 石賀 貴子⁴, 浅見 忠男⁵, 石賀 康博⁴, 諸橋 賢吾¹, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3東京理科大・総合研究院, 4筑波大・生命環境, 5東大・院・農学生命)</p>	11:00

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	シンポジウム 植物オートファジー 研究の第二の夜明け	シンポジウム 植物の柔軟な発生を 支える細胞骨格 ダイナミクス	シンポジウム ポストゲノム時代の ヒルガオ科研究	光合成 座長：松田 祐介 高橋 裕一郎 小林 正美	細胞壁 座長：岩井 宏暁 小竹 敬久 横山 隆亮
11:15		11:15-11:40 2aSB06 コケ植物の精子形成過程 と細胞骨格 嶋村 正樹 (広島大学理学研 究科生物科学専攻)	11:20-11:50 2aSC06 ネナシカズラのゲノムから 読み解く茎寄生の生命戦略 西谷 和彦 ¹ , 横山 隆亮 ¹ , 大林 武 ² , 鳴川 秀樹 ¹ , 柴田 航希 ¹ , 加賀 悠樹 ¹ , 加藤 萌木 ¹ , 黒羽 剛 ¹ , 倉田 哲也 ¹ , 堀江 佐知子 ¹ , 牧 雅之 ³ , 山田 和範 ² , 青木 裕 一 ² , 田高 周 ² , 成瀬 孝史 ² , 西 羽美 ² , 木下 賢吾 ² , 青木 考 ⁴ , 阿部 光知 ⁵ , 出村 拓 ⁶ , 吉田 聡 子 ⁶ , 白須 賢 ⁷ , 長谷部 光泰 ⁸ , 星野 敦 ⁸ , 榊原 康文 ⁹ , 若杉 達 也 ¹⁰ , 山田 恭司 ¹⁰ (¹ 東北大学 大学院生命科学研究科, ² 東北 大学大学院情報科学研究科, ³ 東北大学植物園, ⁴ 大阪府立 大学生命環境科学研究科, ⁵ 東 京大学大学院理学系研究科, ⁶ 奈良先端科学技術大学院大 学, ⁷ 理化学研究所環境資源学 科学研究センター, ⁸ 基礎生物学 研究所, ⁹ 慶應義塾大学理工学 部, ¹⁰ 富山大学大学院理工学 研究部)		2aE10 タバコ属の異科接木の解 析 野田口 理孝 ^{1,2,3} , 岡安 浩次 ¹ , 澤井 優 ¹ , 岡田 龍 ¹ , 丹羽 優喜 ¹ (¹ 名古屋大学大学院生命農学 研究科, ² 名古屋大学トランス フォーマティブ生命分子研究 所, ³ JST さきがけ)
11:30	11:30-11:35 2aSA07 おわりに 朽津 和幸 ^{1,2} (¹ 東京理科大・ 理工・応用生物学, ² 東京理 科大・総合研究院) 11:35-12:00 総合討論 朽津 和幸, 吉本 光希				2aE11 葉の表面の非破壊その場 赤外反射分光によるクチ クラ層の構造解析 羽馬 哲也 ¹ , 香内 晃 ¹ , 渡部 直 樹 ¹ , 滝沢 侑子 ¹ , 力石 嘉人 ¹ , 江波 進一 ² , 下赤 卓史 ³ , 長谷 川 健 ³ (¹ Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, ² National Institute for Environmental Studies, ³ Institute for Chemical Research, Kyoto University)
11:45		11:40-12:00 総合討論	11:50-12:00 総合討論 小野 道之, 仁田坂 英二		
12:00					

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>形態 座長：武田 征士</p>	<p>発生 座長：田中 博和 檀本 悟史 鳥羽 大陽</p>		<p>生殖 座長：藤田 尚子 東山 哲也 土松 隆志</p>	<p>植物微生物相互作用 座長：別役 重之 中川 知己 高梨 功次郎</p>	
<p>2aF10 笹森丘陵（秋田県由利本 荘市）シライトソウ属 の謎に迫る（2） 堀井 雄治郎</p>	<p>2aG10 茎寄生植物ネナシカズラ における宿主由来エチレ ンを介した吸器発生メカ ニズム 嶋川 秀樹, 加賀 悠樹, 横山 隆 亮, 黒羽 剛, 西谷 和彦（東北 大・院・生命科学）</p>		<p>2aI10 花粉管誘引物質 LURE と その受容体の相互作用に 基づく種認証機構の解析 長江 拓也¹, 武内 秀憲^{2,3}, 東山 哲也^{1,3}（¹名古屋大・院・生命 理, ²トランスフォーメティブ 生命分子研究所, ³グレゴール メンデル研究所）</p>	<p>2aJ10 <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tabaci</i>の運動性と病原 性との関連に関する解析 丸山 望¹, 石賀 貴子¹, 石賀 康 博², 別役 重之², 尾花 望², 一 瀬 勇規³, 野村 暢彦²（¹筑波 大・院・生命環境, ²筑波大・ 生命環境系, ³岡山大・院・環 境生命）</p>	11:15
<p>2aF11 樹木の葉の向軸側から発 せられる緑青色蛍光の解 析 中山 真義¹, 岩科 司²（¹農研 機構野菜花き研究部門, ²国立 科博植物研究部）</p>	<p>2aG11 寄生植物ネナシカズラの 寄生根形成に関与する <i>CjAIL</i> 遺伝子群の発現と 機能の解析 竹中 啓八, 渡邊 優樹, 北野 義 和, 山田 恭司, 山本 将之, 若 杉 達也（富山大学・院・理工）</p>		<p>11:30-12:00 2aI-AL1 [若手奨励賞] 座長：岡本 龍史 被子植物における核合一 制御機構：イネ <i>in vitro</i> 受精系を用いた構成的ア プローチ 大西 由之佐（首都大学東京 理工学研究科 生命科学専攻 植物発生理学研究室）</p>	<p>2aJ11 タバコ培養細胞 BY-2 の cryptogein 誘導性の二段 階の感染防御応答におけ る細胞内膜交通系の役割 花俣 繁¹, 竹内 希枝², 大島 知 樹², 河村 康希², 齊藤 克典², 吉田 亜祐美², 瀬尾 茂美³, 光 原 一朗³, 北畑 信隆^{1,2}, 来須 孝光², 朽津 和幸^{1,2}（¹東京理 科大・イメージングフロン ティアセンター, ²東京理科 大・理工・応用生物学, ³農 研機構・生物機能利用）</p>	11:30
<p>2aF12 オハツキイチョウの性転 換 長田 敏行¹, 種子田 春彦², 小 牧 義輝³, 邑田 仁³, 長谷部 光 泰⁴, Peter R. Crane⁵（¹法政大 学生命科学部, ²東京大・院・ 理系・生物学, ³東京大・院・ 理系・附属植物園, ⁴基礎生物 学研究所, ⁵Oak Spring Garden Foundation）</p>	<p>2aG12 種子の発芽を制御する INDETERMINATE DOMAIN ファミリー転写 因子の機能解析 青柳 拓也, 三浦 聡, 木崎 暁子 （静岡大学理学研究科生物科 学専攻木崎研究室）</p>				11:45
					12:00

時間	A会場	D会場	E会場	F会場
	<p>理事会主催シンポジウム</p> <p>あなたの研究は 伝わっていますか？</p>	<p>生体膜</p> <p>座長：古川 純</p>	<p>成長生理</p> <p>座長：朝比奈 雅志 佐藤 康</p>	<p>形態</p> <p>座長：中山 真義 堀口 吾朗</p>
9:00	<p>9:00-9:05</p> <p>はじめに 経塚 淳子 (東北大学生命科学研究科)</p> <p>9:05-9:25</p> <p>3aSA01 なぜアウトリーチなのか 渡辺 政隆^{1,2} (¹筑波大学広報室, ²日本サイエンスコミュニケーション協会)</p>	<p>3aD01 除草剤ペンタクロロフェノールの作用機構：オオシヤジクモを用いた解析 新免 輝男¹, 栗田 和貴², 松永 幸大², 吉久 徹¹ (¹兵庫県立大学 大学院 生命理学研究科, ²東京理科大学 理工学部 応用生物学科)</p>	<p>3aE01 ガラス化法による形質転換ポプラの超低温保存の試み 川村 浩平¹, 嘉見 大助², 田中 大介³, 遠藤 圭太¹, 大槻 祐香子³, 鈴木 伸吾¹, 山岸 祐介¹, 荒川 圭太¹ (¹北大・院・農, ²農研機構・北農研セ, ³基生研・IBBPセ, ⁴森林総研・林育セ, ⁵北大・農)</p>	<p>3aF01 シロイヌナズナにおけるセントロメア配置制御機構の解析 坂本 卓也¹, 坂本 勇貴², 山下 朋恵¹, 御子 侑香¹, 松永 幸大¹ (¹東京理科大学・応用生物科学, ²東京理科大学・総研院・イメージングフロンティア)</p>
9:15		<p>3aD02 イネアクアポリンOsPIP1群の細胞内局在の決定要因の探索 森田 更紗, 高橋 永暉, 岩崎 郁子 (秋田県立大 生物資源 応用生物 植物機能)</p>	<p>3aE02 ポプラの季節性成長における糖含量の変化とショ糖排出トランスポーターの組織化学的発現解析 小野 公代, 鈴木 陽佳, 青原 勉, 小野 道之, 岩井 宏暁, 古川 純, 佐藤 忍 (筑波大・生命環境)</p>	<p>3aF02 シロイヌナズナ <i>as2 rpl4d</i> における葉の背軸化を抑制するリボソームタンパク質変異の解析 深田 かなえ¹, 高原 正裕¹, 塚谷 裕一^{2,3}, 堀口 吾朗^{1,4} (¹立教大・理・生命, ²東大・院・理, ³岡崎統合バイオ, ⁴立教大・理・生命理センター)</p>
9:30	<p>9:25-9:50</p> <p>3aSA02 研究者のプレゼンを見て感じてきたこと 佐々 義子 (特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21)</p>	<p>3aD03 植物液胞輸送経路におけるHOPS/CORVET複合体の機能解析 竹元 廣大^{1,2}, 海老根 一生^{1,3}, 郷 達明⁴, 中野 明彦^{2,5}, 上田 貴志^{1,3} (¹基生研・細胞動態, ²東大院・理・生物科学, ³総研大・生命科学, ⁴奈良先端大・バイオ, ⁵理研・光子工学)</p>	<p>3aE03 Abscisic acid receptor mediates sucrose signaling in Liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Akida Jahan¹, Kenji Komatsu², Taishi Umezawa³, Yoichi Sakata⁴, Daisuke Takezawa¹ (¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, ²Department of Bioproduction Technology, Junior College of Tokyo University of Agriculture, ³Tokyo University of Agriculture and Technology, ⁴Department of Bioscience, Tokyo University of Agriculture)</p>	<p>3aF03 アサガオ・マルバアサガオの台咲き変異原因解明 大橋 恵一郎, 戸田 真人, 長尾 実果, 武田 征士 (京都府立大・院 生命環境)</p>
9:45	<p>9:50-10:15</p> <p>3aSA03 メディアとどう付き合うべきか 岡田 小枝子 (J-PARCセンター 高エネルギー加速器研究機構)</p>	<p>3aD04 クロレラの内部倍数性機構の解明と鉄イオンビームによる染色体の分断化と再構成 石井 公太郎¹, 浅野 円花², 風間 裕介¹, 佐々木 成江³, 東山 哲也^{3,4}, 阿部 知子¹, 河野 重行^{2,5} (¹理研・仁科センター, ²東京大・院・新領域・先端生命, ³名大・院・理, ⁴名大・WPI-ITbM, ⁵東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>	<p>3aE04 植物におけるGlcNAcキナーゼの生理機能の解明—シロイヌナズナGlcNAcキナーゼ破壊変異体の表現型解析— 財津 良多, 佐藤 康 (愛媛大・院・理工)</p>	<p>3aF04 機能性成分を高蓄積するミントにおける分泌腺毛の形態学的解析 大西 優介, 齊藤 萌子, 久保 中央, 中村 考志, 武田 征士 (京都府立大・院 生命環境)</p>
10:00		<p>3aD05 重イオンビーム照射によるクロレラ変異体：オイル増産株の作出と欠失部位ゲノム解析 竹下 毅¹, Ivan N. Ivanov², Kateřina Bišová², Vilém Zachleder², 石井 公太郎³, 風間 裕介³, 阿部 知子³, 河野 重行¹ (¹東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ, ²チェコ科学アカデミー・微生物学研究所, ³理研・仁科センター)</p>	<p>3aE05 ゼニゴケ光合成シグナル伝達因子PRAFによる多様な代謝制御の可能性 小出 絵理¹, 西浜 竜一¹, 野村 有子², 四井 いずみ², 及川 彰^{2,3}, 佐々木 亮介², 寺井 三佳¹, 末次 憲之¹, 平井 優美², 齊藤 和季^{2,4}, 中神 弘史^{2,5}, 河内 孝之¹ (¹京大・院・生命科学, ²理研・CSRS, ³山形大・農, ⁴千葉大・院・薬学, ⁵MPIPZ)</p>	<p>3aF05 光刺激で応答するヘマトコッカス藻の細胞内色素とオイルの動態イメージング 大田 修平¹, 森田 彩¹, 関田 諭子², 大貫 慎輔¹, 平田 愛子³, 奥田 一雄², 大矢 禎一¹, 河野 重行^{1,4} (¹東京大・院・新領域・先端生命, ²高知大・院・黒潮圏, ³東京大・院・新領域・バイオイメージングセンター, ⁴東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>

G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p>発 生 座長：石崎 公庸 阿部 光知 川出 健介</p>	<p>発 生 座長：Ferjani Ali 小島 晶子</p>	<p>生 殖 座長：河内 孝之 関本 弘之</p>	<p>光合成 座長：田中 亮一 和田 元</p>	
<p>3aG01 活性酸素生成酵素Rbohはゼニゴケの発生・形態形成において細胞表層構造の調節に関わる 橋本 研志¹, 高川 智弘¹, 木村 貴史¹, 春日谷 海¹, 賀屋 秀隆¹, 北畑 信隆^{1,2}, 石崎 公庸³, 西浜 竜一⁴, 河内 孝之⁴, 朽津 和幸^{1,2} (¹東京理科大学・理工・応用生物科学, ²東京理科大学・イメージングフロンティアセンター, ³神戸大・院・理, ⁴京都大・院・生命)</p>	<p>3aH01 シロイヌナズナの葉形成におけるAS1-AS2-ETT/ARF3下流因子の解析 小島 晶子¹, 西本 珠美¹, 石橋 奈々子², 高橋 広夫³, 中川 彩美¹, 町田 泰則², 町田 千代子¹ (¹中部大・応用生物, ²名大院・理・生命, ³千葉大院・園芸)</p>	<p>3aI01 CRISPR/Cas9による, ヒメミカヅキモの性特異的受容体型タンパク質の機能解析 神田 奈保¹, 今 詩織², 藤原 安理¹, 西山 智明³, 土金 勇樹², 関本 弘之^{1,2} (¹日本女子大・院・理, ²日本女子大・理・物生, ³金沢大・学際)</p>	<p>3aJ01 根が光合成を行うとき, その制御は葉とどのように違うのか? 大西 亜依, 和田 元, 小林 康一 (東大院・総合文化)</p>	9:00
<p>3aG02 ゼニゴケの生殖における活性酸素生成酵素Rbohの役割 高川 智弘¹, 木村 貴史¹, 橋本 研志¹, 北畑 信隆^{1,2}, 石崎 公庸³, 西浜 竜一⁴, 河内 孝之⁴, 朽津 和幸^{1,2} (¹東京理科大学・理工・応用生物科学, ²東京理科大学・イメージングフロンティアセンター, ³神戸大・院・理, ⁴京都大・院・生命)</p>	<p>3aH02 Epigenetic repressor AS1-AS2 and nucleolar factors control ARF3 in leaf development of <i>Arabidopsis</i> Simon Vial-Pradel¹, Sumie Keta¹, Yoko Matsumura², Hiro Takahashi³, Shoko Kojima¹, Yasunori Machida², Chiyoko Machida¹ (¹Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, ²Graduate School of Science, Nagoya University, ³Graduate School of Horticulture, Chiba University)</p>	<p>3aI02 ヒメミカヅキモの性決定におけるCpMinus1遺伝子の逆遺伝学的解析 露木 奈津美¹, 小宮 あゆみ¹, 神田 奈保¹, 川井 絢子², 土金 勇樹², 西山 智明³, 関本 弘之^{1,2} (¹日本女子大・院・理, ²日本女子大・理, ³金沢大・学際)</p>	<p>3aJ02 ストロマメラに局在するLight-harvesting-likeタンパク質LIL8の機能解析 加藤 由佳子¹, 横野 牧生¹, 秋本 誠志², 高林 厚史¹, 田中 歩¹, 田中 亮一¹ (¹北大・低温, ²神戸大・院・理)</p>	9:15
<p>3aG03 苔類ゼニゴケにおける配偶子形成に関わるMpMS1遺伝子の機能解析 國本 完, 肥後 あすか, 河内 孝之, 荒木 崇 (京都大・院・生命科学)</p>	<p>3aH03 シロイヌナズナの葉サイズを正に制御するOLI1およびHDA9とともに働く因子とその下流因子の探索 鈴木 真里奈¹, 出村 拓², 塚谷 裕一^{3,4}, 堀口 吾朗^{1,5} (¹立教大・理・生命, ²奈良先端大・バイオ, ³東大・院・理, ⁴NINS・岡崎統合バイオ, ⁵立教大・理・生命理センター)</p>	<p>3aI03 性特異的遺伝子から明らかにするミカヅキモの進化 土金 勇樹¹, 土松 隆志², Mangal Man Shakya³, 関本 弘之¹ (¹日本女子大・理, ²千葉大・理, ³Wildlife Watch Group, Nepal)</p>	<p>3aJ03 気孔開度は光合成誘導反応を律速する 木村 遼希¹, 橋本 (杉本) 美海², 射場 厚³, 寺島 一郎¹, 矢守 航¹ (¹東大・院理・生物科学, ²名古屋大・院・生命農学, ³九州大・院理・生物科学)</p>	9:30
<p>3aG04 花成因子FEによるFT遺伝子のエピジェネティックな制御機構 澁田 未央, 渡辺 綾子, 阿部 光知 (東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 遺伝学研究室)</p>	<p>3aH04 <i>fugu5</i> developmental defects triggered by excess PPI are cell-autonomous 郡司 玄¹, 高橋 和希², 堀口 吾朗^{3,4}, 塚谷 裕一^{5,6}, Ali Ferjani^{1,2} (¹東京学芸大・院・連合, ²東京学芸大・教育・生命, ³立教大・理・生命, ⁴立教大・理・生命理学センター, ⁵東京大・院・理, ⁶岡崎統合バイオ)</p>	<p>3aI04 MpFGMYBはゼニゴケの雌性分化を制御する 久永 哲也¹, 岡橋 啓太郎², 山岡 尚平², 西浜 竜一², 郷 達明¹, 河内 孝之², 中島 敬二¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²京大・院・生命科学)</p>	<p>3aJ04 エチオプラストから葉緑体への分化過程における色素と膜脂質の関係 藤井 祥¹, 小林 康一¹, 永田 典子², 増田 建¹, 和田 元¹ (¹東大・院・総合文化, ²日本女子大・理)</p>	9:45
<p>3aG05 成長相転換時における茎頂でのフロリゲン複合体の動態 阿部 光知, 小阪 真悟, 澁田 未央, 永田 賢司, 賀屋 秀隆 (東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻)</p>	<p>3aH05 AN3 regulates gametophytic growth in Physcomitrella patens Griffin St. Clair^{1,2,3}, Kensuke Kawade^{1,2,3}, Gorou Horiguchi^{4,5}, Tomomichi Fujita⁶, Hirokazu Tsukaya^{2,7} (¹SOKENDAI, ²OIIB, ³NIBB, ⁴Coll. Sci., Rikkyo Univ., ⁵Res. Cent. Life Sci., Rikkyo Univ., ⁶Fac. Sci., Hokkaido Univ., ⁷Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>3aI05 ノンコーディングRNAを介したゼニゴケの性分化制御 岡橋 啓太郎¹, 久永 哲也², 山岡 尚平¹, 西浜 竜一¹, 中島 敬二², 河内 孝之¹ (¹京大・院・生命科学, ²奈良先端大・バイオ)</p>	<p>3aJ05 超耐陰性植物クワズイモの光阻害耐性機構について 寺島 一郎, 矢守 航, 河野 優 (東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 植物生態学研究室)</p>	10:00

時間	A会場	D会場	E会場	F会場
	<p>理事会主催シンポジウム</p> <p>あなたの研究は 伝わっていますか？</p>	<p>遺 伝</p> <p>座長：河野 重行 丸山 真一朗</p>	<p>成長生理</p> <p>座長：朝比奈 雅志 佐藤 康</p>	<p>形 態</p> <p>座長：中山 真義 堀口 吾朗</p>
10:15	<p>10:15-10:30</p> <p>3aSA04 自然な植物, 不自然な植物 池内 桃子^{1,2} (理研 CSRS, ²学振)</p>	<p>3aD06 非モデル生物時代に敢えてサン ゴ共生藻をモデル生物にしよう とする試みについて 石井 悠¹, 鎌田 このみ², 高橋 俊一², 皆川 純², 河田 雅圭¹, 丸山 真一朗¹ (¹東北大・院・生命, ²基生研・環境光)</p>	<p>3aE06 光の波長と根端でのBR生産を 介した成長制御に関する研究 坂口 潤¹, 竹林 裕美子², 榎原 均², 渡 邊 雄一郎¹ (¹東京大学 総合文化研究 科 広域科学専攻, ²理研 CSRS)</p>	<p>3aF06 先端電子顕微鏡/光学顕微鏡そ れぞれの特性を活かしてシゾン 細胞丸ごとレベルで細胞分裂過 程を読み解く 岩根 敦子^{1,2} (¹理化学研究所, ²大阪大 学)</p>
10:30	<p>10:30-10:45</p> <p>3aSA05 ワリとイケてる！アズキのなか ま 内藤 健 (農業・食品産業技術総合研 究機構)</p>	<p>3aD07 シロイヌナズナにおける相同組 換え因子RAD54の動態解析 平川 健, 松永 幸大 (東京理科大・院・ 理工・応用生物科学)</p>	<p>3aE07 LMD法を用いたシロイヌナズナ 切断花茎の組織癒合過程におけ る時空間的遺伝子発現解析と植 物ホルモン分析 中野 渡 幸¹, 山田 一貴¹, 松岡 啓太², 湯本 絵美², 横田 孝雄², 山根 久和², 佐藤 忍³, 朝比奈 雅志^{1,2} (¹帝京大・院・ 理工, ²帝京大・理工・バイオ, ³筑波 大・生命環境系)</p>	
10:45	<p>10:45-11:00</p> <p>3aSA06 駆け巡るリン 三村 徹郎^{1,2} (¹神戸大学先端融合研 究環, ²神戸大院・理・生物)</p>		<p>3aE08 高速化ミオシンXI導入による単 子葉植物ブラキポディウムの表 現型解析 原口 武士^{1,5}, 木下 佳菜¹, 玉那覇 正 典¹, 坂山 英俊², 西山 智明³, 富永 基 樹^{4,5}, 伊藤 光二^{1,5} (¹千葉大・院・理・ 生物, ²神戸大・院・理・生物, ³金沢大・ 学際, ⁴早稲田大・教育, ⁵科学技術振 興機構・先端低炭素)</p>	
11:00				

G 会場	H 会場	I 会場	J 会場	時間
<p style="text-align: center;">発 生</p> <p style="text-align: center;">座長：石崎 公庸 阿部 光知 川出 健介</p>	<p style="text-align: center;">発 生</p> <p style="text-align: center;">座長：Ferjani Ali 小島 晶子</p>	<p style="text-align: center;">生 殖</p> <p style="text-align: center;">座長：河内 孝之 関本 弘之</p>	<p style="text-align: center;">光合成</p> <p style="text-align: center;">座長：田中 亮一 和田 元</p>	
<p>3aG06 核内倍加の確率論的な特性を組み込んだ細胞サイズ決定モデル 川出 健介^{1,2,3}, 塚谷 裕一^{1,4} (1岡崎統合バイオ, 2基生研, 3総研大, 4東大・院・理)</p>	<p>3aH06 ゼニゴケ形態形成におけるANGUSTIFOLIAの役割 古谷 朋之¹, 服部 考郎¹, 西浜 竜一², 河内 孝之², 塚谷 裕一^{1,3} (1東大・院・理, 2京大・院・生命, 3岡崎統合バイオ)</p>	<p>3aI06 ゼニゴケ受精卵の微細形態学的研究 Hajime Akashi, Masaki Shimamura (Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.)</p>	<p>3aJ06 葉緑体レドックス制御のボトルネック 吉田 啓亮, 久堀 徹 (東工大・化学生命研)</p>	10:15
<p>3aG07 葉序パターン生成モデルにおける葉原基抑制力の時間変化とその意味 米倉 崇晃¹, 岩元 明敏², 藤田 浩徳³, 杉山 宗隆¹ (1東大・院・理・植物園, 2東京学芸大・教育・自然科学・生命, 3基生研・共生システム)</p>	<p>3aH07 ゼニゴケから見た微細管関連遺伝子の機能と進化 本瀬 宏康¹, 大谷 健人¹, 倉田 元気¹, 高谷 彰吾¹, 石崎 公庸², 西浜 竜一³, 河内 孝之³, 高橋 卓¹ (1岡山大・理・生物, 2神戸大・院・理, 3京都大・院・生命科学)</p>			10:30
<p>3aG08 花器官配置の多様性を数理モデルから読み解く 北沢 美帆^{1,2}, 藤本 仰一² (1阪大・全学教育, 2阪大・院理・生物科学)</p>	<p>3aH08 サツマイモネコブセンチュウに対する誘引物質の探索 太田 守造¹, 橋口 正嗣¹, 明石 良⁴, 石田 喬志², 井田 隆徳³, 澤 進一郎¹ (1熊大・院・自然科学, 2熊大・IROAST, 3宮大・フロンティア, 4宮大・農)</p>			10:45
				11:00

●座長表（口頭発表）

開催日	会場	演題番号	分野	座長氏名
9月8日 午前	D	1aD01 ~ 1aD04	生態	彦坂 幸毅
	D	1aD05 ~ 1aD12	代謝	鈴木 英治 石川 寿樹
	E	1aE01 ~ 1aE06	細胞骨格	本瀬 宏康 若林 憲一
	E	1aE09 ~ 1aE12	遺伝子発現制御	鈴木 石根 杉山 宗隆
	F	1aF01 ~ 1aF12	分類, 系統, 進化	須田 彰一郎 松崎 令 大田 修平 山田 敏弘
	G	1aG01 ~ 1aG11	発生	高田 忍 池内 桃子 木村 成介
	H	1aH01 ~ 1aH12	環境応答	山野 隆志 児玉 豊 日原 由香子 成川 礼
	I	1aI01 ~ 1aI10	細胞増殖, 細胞分化	岩瀬 哲 藤原 崇之 遠藤 求
	J	1aJ01 ~ 1aJ10	細胞内小器官	射場 厚 高野 博嘉 佐藤 直樹
9月8日 午後	D	1pD01 ~ 1pD07	代謝	大河 浩 松井 健二
	E	1pE01 ~ 1pE11	遺伝子発現制御	有村 源一郎 諸橋 賢吾 池田 陽子 栗原 志夫
	F	1pF01 ~ 1pF13	分類, 系統, 進化	瀬戸口 浩彰 梶田 忠 國府方 吾郎 岩元 明敏
	G	1pG01 ~ 1pG13	発生	近藤 侑貴 伊藤(大橋) 恭子 西浜 竜一 岡本 龍史
	H	1pH01 ~ 1pH09	環境応答	梅澤 泰史 華岡 光正 宮沢 豊
	I	1pI03 ~ 1pI14	ゲノム, プロテオーム	吉原 静恵 玉田 洋介 吉田 聡子

開催日	会場	演題番号	分野	座長氏名
9月8日 午後	J	1pJ03 ~ 1pJ12	細胞内小器官	田中 博和 宮城島 進也 高橋 秀幸
9月9日 午前	D	2aD01 ~ 2aD08	光合成	松田 祐介 高橋 裕一郎 小林 正美
	E	2aE01 ~ 2aE11	細胞壁	岩井 宏暁 小竹 敬久 横山 隆亮
	F	2aF01 ~ 2aF07	分類, 系統, 進化	遊川 知久 柿嶋 聡
	F	2aF10 ~ 2aF12	形態	武田 征士
	G	2aG01 ~ 2aG12	発生	田中 博和 檜本 悟史 鳥羽 大陽
	H	2aH01 ~ 2aH08	環境応答	山口 雅利 深城 英弘 野田口 理孝
	I	2aI01 ~ 2aI10	生殖	藤田 尚子 東山 哲也 土松 隆志
J	2aJ01 ~ 2aJ11	植物微生物相互作用	別役 重之 中川 知己 高梨 功次郎	
9月10日 午前	D	3aD01 ~ 3aD03	生体膜	古川 純
	D	3aD04 ~ 3aD07	遺伝	河野 重行 丸山 真一郎
	E	3aE01 ~ 3aE08	成長生理	朝比奈 雅志 佐藤 康
	F	3aF01 ~ 3aF06	形態	中山 真義 堀口 吾朗
	G	3aG01 ~ 3aG08	発生	石崎 公庸 阿部 光知 川出 健介
	H	3aH01 ~ 3aH08	発生	Ferjani Ali 小島 晶子
	I	3aI01 ~ 3aI06	生殖	河内 孝之 関本 弘之
J	3aJ01 ~ 3aJ06	光合成	田中 亮一 和田 元	

前半 (PF) : 9月9日 (土) 13:20~14:50 発表
 後半 (PL) : 9月10日 (日) 10:30~12:00 発表

分類, 系統, 進化

PF-001

de novo ゲノム配列決定で明らかになったボルボックス科緑藻におけるミトコンドリア DNA 形状の進化過程

浜地 貴志¹, 豊岡 博子¹, 豊田 敦², 水口 洋平², 鈴木 雅大³, 藤山 秋佐夫², 野崎 久義¹, David Roy Smith⁴

(¹東大・院理・生科, ²国立遺伝研, ³神戸大・内海域, ⁴Dept. Biol., Univ. Western Ontario)

PF-002

ボルボックス系列緑藻を用いた異型配偶化の解析: 縮小した性決定領域を持つ異型配偶ユードリナ

豊岡 博子¹, 浜地 貴志¹, 内村 悠¹, 鈴木 雅大², 豊田 敦³, 野口 英樹³, 水口 洋平³, 藤山 秋佐夫³, 宮城島 進也³, 野崎 久義¹

(¹東大・院理・生科, ²神戸大・内海域, ³国立遺伝研)

PF-003

日本産アゾラ節植物の系統と分布変遷

小松 美晴¹, 鈴木 武², 綿野 泰行¹

(¹千葉大・院・理学, ²兵庫県博)

PF-004

A new hybrid species of *Microsorium* (Polypodiaceae) from Moorea, French Polynesia

新田 ジョエル^{1,2}, Saad Amer², Charles C. Davis²

(¹国立科学博物館植物研究部, ²Department of Organismic and Evolutionary Biology, Harvard University)

PF-005

DNA 情報に基づく奥多摩と小笠原におけるシダ植物の配偶体フロアの調査

酒井 絵理佳¹, 堀 清鷹², 海老原 淳³, 山本 薫⁴, 常木 静河⁵, 芹沢 俊介⁵, 村上 哲明¹

(¹首都大学東京 牧野標本館, ²高知県立牧野植物園, ³国立科学博物館・植物研究部, ⁴横須賀市自然・人文博物館, ⁵愛知教育大学)

PF-006

Phylogenetic relationships among species of *Pseudostellaria* and its position in Caryophyllaceae

YongSung Kim^{1,2}, JongSun Park^{1,2}, Seon-Hee Kim³, Seung-Chul Kim³

(¹InfoBoss Co., Ltd., Seoul, Korea, ²InfoBoss Research Center, InfoBoss Co., Ltd., Seoul, Korea, ³Department of Biological Sciences, Sungkyunkwan University, Suwon, Korea)

PF-007

琵琶湖産種間雑種オオササエビモにおける母系効果と遺伝子発現

飯田 聡子, 角野 康郎

(神戸大学大学院理学研究科)

PF-008

左右相称花と訪花昆虫の行動について

常木 静河¹, 岩田 美波¹, 鈴木 翔子¹, 武田 奈々¹, 下川 悟史², 清水 晃³, 芹沢 俊介⁴

(¹愛知教育大学 理科教育講座, ²首都大学東京 牧野標本館, ³首都大学東京 自然史, ⁴愛知みどりの会)

PF-009

キビシロタンポポとヤマザトタンポポの花色変異と分布

中村 剛士¹, 地職 恵², 鈴木 武³, 坪田 博美⁴, 森田 竜義⁵, 西野 貴子¹

(¹大阪府大・理・院, ²岡山県自然保護セ, ³兵庫県博, ⁴広島大・院・理, ⁵新潟大)

PF-010

鳥根県隠岐諸島におけるスイカズラ (*Lonicera japonica*) の新変異型について

林 蘇娟, 永島 聖也, 中井 崇善

(鳥根大学生物資源科学研究科)

PF-011

無葉着生植物クモランにおける共生菌相解明と共生培養下での種子発芽

蘭光 健人¹, 山下 由美², 遊川 知久², 辻田 有紀¹

(¹佐賀大学院農学研究科, ²国立科学博物館筑波実験植物園)

PF-012

島嶼偏在性隔離分布種モクレイシの分布変遷: 葉緑体 DNA 変異解析と生態ニッチモデリングを用いた推定

山田 孝幸¹, 國府方 吾郎², 藤井 伸二³, 牧 雅之⁴

(¹科博・多様性, ²科博・植物, ³人間環境大, ⁴東北大・植物園)

PF-013

ツリフネソウ属の分類での国・地域別フロアの枠を超えた類似種の比較の必要性—*Impatiens prainii* を例に

秋山 忍

(国立科学博物館植物研究部)

PF-014

タイ国産キンバイザサ科 (クサスギカズラ目) の分類学的再検討

布施 静香¹, Manop Poopath², 田村 実¹

(¹京都大・院・理, ²BKF, Thailand)

形態, 構造

PF-015

サギソウの分子系統解析および花卉形態解明

立花 耕, 武田 征士

(京都府大・院 生命環境)

PF-016

遺伝学的手法を用いたクランツ構造と C4 型代謝酵素の発現領域を限定化する形質の相関解析

木下 優人¹, 井上 史生², 谷口 (山本) 幸美¹, 宗景 (中島) ゆり¹

(¹関西学院大学, ²奈良先端科学技術大学院大学)

PF-017

永久磁石の小型 MRI で見たエンドウの根のイオン吸収過程
小泉 美香¹, 狩野 広美²

(¹早大・理工研, ²くぬぎ山雪雪研)

PF-018

Synechocystis sp.PCC6803 における酸性ストレス下での *FtsZ*, *DnaA* の発現解析

甲賀 栄貴¹, 板垣 文子¹, 石川 晴菜¹, 新垣 善之助², 中原 凌波², 佐藤 正典³, 内山 純爾³, 太田 尚孝^{1,2,3}

(¹東京理科大学・科学教育研究科, ²東京理科大学・理学研究科, ³東京理科大学・理学部)

生態, 生理生態, 種生態, 群落保全

PF-019

半自然草原の管理が草原性チョウ類におよぼす影響

種村 健太¹, 宮本 太², 新井 勝利³, 栗岩 竜雄⁴, 三井 裕樹²

(¹東京農業大学 農学研究科, ²東京農業大学 農学部, ³軽井沢町植物園, ⁴軽井沢町)

PF-020

絶滅から復活したヒュウガホシクサの保全生態学的研究

高岸 慧¹, 宮本 太¹, 松浦 勝次郎², 南谷 忠志³

(¹東京農業大学・農学部, ²川南湿原を守る会, ³宮崎植物研究会)

PF-021

瀬戸内海の離島大崎上島の希少植物

太沼 みお¹, 藤富 信之²

(¹広島高専・一般教科, ²広島高専・電子制御工学科)

PF-022

島根県隠岐諸島における侵略的外来植物セイタカアワダチソウ *Solidago canadensis* var. *scabra* の分布調査

三浦 壮太, 林 蘇娟

(国立大学法人島根大学 生物資源科学部生物科学科 林研究室)

PF-023

MtSuri.net: Web-based flora database for the flora and forest vegetation of Mt. Suri

Yongsung Kim^{1,2}, Juhyeon Kim^{1,2}, Hakgu Kang¹, Kyoungin Heo¹, Kumsoon Lee³, Sangtae Lee⁴, Xi Hong^{1,2}, Jihun Yeon¹, Jongsun Park^{1,2,3}

(¹InfoBoss Co. Ltd., ²InfoBoss Research Center, ³People with Nature, ⁴Sungkyungwan University)

PF-024

クローナル低木ヤブコウジの野生集団における DNA メチル化分布

南 淳¹, 奥山 康希¹, 工藤 佳祐¹, 齋藤 大河¹, 齋藤 有馬¹, 西村 泰介²

(¹鶴岡高専 創造工学, ²長岡技科大 工 生物機能)

PF-025

クロロフィル蛍光と反射スペクトルから光合成速度を推定できるか?

彦坂 幸毅

(東北大・院・生命科学)

PF-026

葉群構造を変化させたときの群落生産速度の変化

佐々木 駿, 館野 正樹

(東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園)

PF-027

蘚苔類は低濃度亜硫酸ガスで損傷を受ける —*Plagiommium vesicatum* への影響—

清水 英幸¹, 須田 隆一^{2,3}, 岩月 善之助^{2,4}, 戸塚 績^{1,5}

(¹国立環境研究所, ²広島大学理学部, ³福岡県保健環境研究所, ⁴服部植物研究所, ⁵アジア大気汚染研究センター)

PF-028

絵かき虫が潜入した葉の組織解剖特性

池田 武文¹, 薬師川 穂¹, 大島 一正¹, 加藤 英俊², 藤原 健², 米田 稔³

(¹京都府立大学大学院 生命環境科学研究科, ²産業技術総合研究所 計測標準総合センター, ³京都大学大学院 工学研究科)

(¹京都府立大学大学院 生命環境科学研究科, ²産業技術総合研究所 計測標準総合センター, ³京都大学大学院 工学研究科)

PF-029

屋外人工基物上に生育するコケ植物の環境耐性について

桐生 賢太, 嶋村 正樹

(広島大・院・理)

環境応答

PF-030

シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC6803 の Sll1181, Sllr1270 による酸性ストレス耐性機構の解析

板垣 文子¹, 田中 優¹, 内山 純爾³, 石川 晴菜¹, 甲賀 栄貴¹, 新垣 善之助², 中原 凌波², 太田 尚孝^{1,2,3}

(¹東京理科大学大学院 科学教育研究科, ²東京理科大学大学院 理学研究科, ³東京理科大学大学院 理学部第一部)

PF-031

Synechocystis sp.PCC6803 における S-layer タンパク質 Sll1951 の機能解析

石川 晴菜¹, 板垣 文子¹, 甲賀 栄貴¹, 中原 凌波², 新垣 善之助², 兼崎 友⁴, 吉川 博文⁵, 内山 純爾³, 太田 尚孝^{1,3}

(¹東京理科大学科学教育研究科, ²東京理科大学理学研究科, ³東京理科大学理学部, ⁴東京農業大学ゲノム解析センター, ⁵東京農業大学応用生物学部)

(¹東京理科大学科学教育研究科, ²東京理科大学理学研究科, ³東京理科大学理学部, ⁴東京農業大学ゲノム解析センター, ⁵東京農業大学応用生物学部)

PF-032

***Synechocystis* sp. PCC6803 F₀F₁ATPase の酸性条件下における生理活性**

新垣 善之助¹, 上妻 美菜², 板垣 文子², 石川 晴菜²,
甲賀 栄貴², 中原 凌波¹, 内山 純爾³, 太田 尚孝^{1,2,3}

(¹東京理科大学大学院理学研究科, ²東京理科大学大学院科学教育研究科, ³東京理科大学理学部)

PF-033

赤潮藻シャットネラが持つオーレオクロムの生化学的解析

高橋 文雄¹, 位田 康熙¹, 紫加田 知幸², 笠原 賢洋¹

(¹立命館大学 生命科学部 生物工学科, ²瀬戸内海区水産研究所)

PF-034

海洋性クリプト藻 *Guillardia theta* が持つ微生物型ロドプシン様遺伝子の発現解析

今野 雅恵^{1,2}, 井上 圭一^{1,2,3}, 神取 秀樹^{1,2}

(¹名工大院・工・生命・応用化学, ²名工大・オプトバイオ, ³JST・さきがけ)

PF-035

基部陸上植物ゼニゴケにおけるリン酸に应答した遺伝子転写制御

北浦 銀河, 三村 徹郎, 深城 英弘, 石崎 公庸

(神戸大・院・理)

PF-036

Stress-induced regeneration in *Arabidopsis thaliana*

Tatsuya Takahashi^{1,2}, Alice Lamboloz³, Ayako Kawamura¹,
Takama Suzuki⁴, Momoko Ikeuchi¹, Bart Rymer¹,
Akira Iwase¹, Keiko Sugimoto¹

(¹CSRS, RIKEN, ²Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science, ³Departement de Biologie, École Normale Supérieure, ⁴Department of Biological Chemistry, College of Bioscience and Biotechnology, Chubu University)

PF-037

シロイヌナズナ環境応答に関わる受容体型キナーゼのゲノム編集による機能解明

刑部 祐里子, 島田 佳南里, 橋本 諒典, 坂本 秀樹,

刑部 敬史

(徳島大学・生物資源産業)

PF-038

さまざまな植物における紅葉・黄葉現象の解析

岩村 青子¹, 栗田 悠子², 大西 美輪^{1,3}, 藤枝 聡志⁴,
鈴木 留依¹, 出口 亜由美², 手塚 あゆみ², 小菅 桂子¹,
石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 永野 惇², 馬場 啓一⁵, 飯野 盛利⁴,
三村 徹郎^{1,3}

(¹神戸大院・理, ²龍谷大・農, ³神戸大・先端融合研究環, ⁴大阪市大院・理, ⁵京大・生存研)

PF-039

セントポーリアの温度感受性に関わる分子機構の解析

本岡 香奈¹, 大西 美輪^{1,2}, 飯田 和子³, 角浜 憲明¹,
鈴木 祥弘⁴, 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 飯田 秀利³,
三村 徹郎^{1,2}

(¹神戸大学大学院理学研究科生物学専攻, ²神戸大学先端融合研究環, ³東京学芸大学教育学部生命科学分野, ⁴神奈川大学理学部)

PF-040

シロイヌナズナの原形質膜アクアポリン遺伝子 *PIP2;3* の高温誘導を増大させる光の波長の検討

吉川 美保¹, 菰田 雅子¹, 土平 絢子², 前島 正義²,

奈良 久美³

(¹奈良女子大・理・生物科学, ²名古屋大・院・生命農学, ³奈良女子大・自然科学・生物科学)

PF-041

シロイヌナズナ野生種が屋外と実験室で示す種子発芽形質の多様性

長竹 望¹, 得田 隆之介¹, 小林 正智², 井内 聖², 川上 直人¹

(¹明治大学大学院農学研究科生命科学専攻植物分子生理学研究室, ²理化学研究所バイオリソースセンター実験植物開発室)

PF-042

種子の発芽温度に着目したシロイヌナズナ野生種系統の選抜

比留間 美里¹, 得田 隆之介¹, 小林 正智², 井内 聖²,

川上 直人¹

(¹明治大学農学部生命科学科植物分子生理学研究室, ²理化学研究所バイオリソースセンター実験植物開発室)

PF-043

高温適応性の解明に向けたバジル 6 品種の抗酸化物質関連遺伝子発現の解析

佐久間 健¹, 大嵩 南海希², 千葉 萌枝子², 佐野 俊夫²

(¹法政大・院・理工, ²法政大・生命科学)

PF-044

根系の光環境が植物のリン応答に及ぼす影響

吉岡 優介¹, 大西 美輪^{1,2}, 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹,

三村 徹郎^{1,2}

(¹神戸大・院・理・生物, ²神戸大・先端融合研究環)

PF-045

栄養ストレス条件下の植物における RNA 干渉およびウイルス抵抗性の解析

齊藤 恭大, 吉名 晃一, 森山 裕充, 福原 敏行

(東京農工大学農学府細胞分子生物学研究室)

PF-046

マングローブ植物ヤエヤマヒルギの繁殖子サイズが NaCl 枯渇条件下における生存期間に及ぼす影響

金井 浩美¹, 酒井 敦²

(¹奈良女子大学大学院 人間文化研究科 共生自然科学専攻, ²奈良女子大学 研究院 自然科学系 生物科学領域)

PF-047

シロイヌナズナの ABA 応答における SnRK2 基質候補タンパク質の機能解析

峯岸 美有子¹, 田村 由貴¹, 梅澤 泰史^{1,2}
(¹農工大・院・BASE, ²農工大・農)

PF-048

異質倍数体植物の水環境応答における遺伝子発現と表現型解析

水田 あい¹, 三宅 恵子¹, 秋山 玲子², 清水 (稲継) 理恵²,
清水 健太郎², 東山 哲也¹, 金岡 雅浩¹
(¹名古屋大・院・理, ²チューリッヒ大・進化生態)

PF-049

高 CO₂ 濃度環境における RSX1 過剰発現株の成長と生産性への影響伊藤 彩乃, 段 中瑞, 西田 生郎
(埼玉大学・院・理工学研究科・生命科学系専攻・植物分子生理研究室)

PF-050

ヤナギ樹皮中のカルシウム・ストロンチウム含有結晶の生成機構の解明

原田 英美子¹, 横山 未季¹, 庄 美冴子¹, 木村 ひろみ¹,
竹中 千里², 富岡 利恵², 水野 隆文³
(¹滋賀県大・環境科学, ²名古屋大・院・農, ³三重大・院・生物資源)

PF-051

着色ガラス-高分子複合コーティング窓材を用いた植物の成長制御

高橋 梓¹, 岩崎 謙一郎¹, 草野 博彰², 島田 浩章²,
安盛 敦雄¹
(¹東京理科大学基礎工学部材料工学科安盛研究室, ²東京理科大学基礎工学部生物工学科島田研究室)

PF-052

シロイヌナズナ光屈性シグナル伝達因子 NPH3 のリン酸化修飾の機能解析

木村 太郎^{1,2}, 芳賀 健³, 野村 有子⁴, 中神 弘史⁵,
酒井 達也¹
(¹新潟大・院・自然科学, ²日本学術振興会特別研究員 DC, ³日工大・共通教育, ⁴理研 CSRS, ⁵マックス・プランク植物育種学研究所)

PF-053

Rorippa aquatica の異形葉性における PHYTOCHROME INTERACTING FACTORs の機能解析山口 修二¹, 中山 北斗², 坂本 智昭¹, 市橋 泰範³, 倉田 哲也⁴,
木村 成介¹
(¹京都産業大生命科学, ²UC Davis・Plant Biology, ³理研・環境資源科学, ⁴東北大・生命科学)

光合成

PF-054

タンパク質ジスルフィド結合還元酵素高発現による光合成電子伝達機能向上メカニズムの解明

富永 淳¹, 中原 恭俊¹, 堀川 大輔¹, 高見 常明², 坂本 亘²,
坂本 敦¹, 島田 裕士¹
(¹広島大学 大学院理学研究科, ²岡山大学 資源植物科学研究所)

PF-055

野外変動光環境下での光化学系 I の応答と光阻害

河野 優¹, ドル 有生², 藤島 航大², 川口 ひかる³, 鈴木 祥弘³,
矢守 航¹, 寺島 一郎¹
(¹東京大・院・理・植物生態, ²東京大・理・生物, ³神奈川大・理・生物科学)

PF-056

ホスファチジルグリセロール分子と相互作用する D1-R140 への部位特異的変異が光化学系 II の機能に与える影響

松原 真由¹, 遠藤 嘉一郎², 菅原 佑斗³, 沈 建仁⁴, 石井 麻子³,
小林 康一², 和田 元^{2,5}, 水澤 直樹^{3,6}
(¹東大・院・理学, ²東大・院・総合文化, ³法政大・生命科学, ⁴岡山大・院・自然科学, ⁵JST・CREST, ⁶法政大・ナノテク)

PF-057

新奇クロロフィルを持つシアノバクテリアにおける光環境の変化と吸収帯の相関

篠田 稔行¹, 新井 啓史², 田伏 廣輝², 鞆 達也^{1,2}
(¹東理大・院・理, ²東理大・理)

PF-058

トレハロースが光化学系 II の構造と機能に与える影響

中路 彩花¹, 藤田 勇二¹, 石井 麻子², 水澤 直樹^{2,3}
(¹法政大・院・理工, ²法政大・生命科学, ³法政大・ナノテク)

PF-059

シアノバクテリア *Acaryochloris marina* の光化学系 II 反応中心複合体の性質豊福 玲於奈¹, 遠藤 嘉一郎², 篠田 稔行¹, 秋本 誠志³,
鞆 達也¹
(¹東理大・院・理, ²東京大学・院・総合文化, ³神戸大・院・理)

PF-060

光透過型有機薄膜太陽電池を用いた植物栽培と発電の両立

渡邊 康之^{1,2}, 大橋 昇^{1,2}, 朽津 和幸^{2,3,4}
(¹諏訪東理大・工・電気電子工学, ²東京理科大・総合研究院・先進農エネ理工学部門, ³東京理科大・理工・応用生物科学, ⁴東京理科大・理工・農理工学際)

PF-061

海洋性中心目珪藻 *Thalassiosira pseudonana* における無機炭素輸送体の探索中井 悠太, 中島 健介, 辻 敬典, 松田 祐介
(関西学院大学・院・理工)

PF-062

海洋性珪藻と褐虫藻の新規形質転換手法と新規選抜系の確立

松江 駿, 松田 祐介

(関西学院大・院・理工)

代謝, 物質生産, メタボローム, バイオエネルギー

PF-063

Synechocystis sp. PCC 6803 の転写因子 *ntcA* 過剰発現によるポリヒドロキシ酪酸増産と光合成の関係

有坂 聡美, 小山内 崇

(明大・院・農学)

PF-064

シアノバクテリアにおける多糖代謝遺伝子の発現解析

二宮 有佳梨, 鈴木 英治

(秋田県立大・院・生物資源科学)

PF-065

Synechocystis sp. PCC 6803 アシル ACP 合成酵素欠損株における低温環境下での生育不良の要因

猿橋 保乃佳¹, 氣多 澄江^{1,4}, 高谷 信之^{2,4}, 池田 和貴^{3,4}, 小島 幸治^{2,4}, 松本 宇生^{1,4}, 小俣 達男^{2,4}, 愛知 真木子^{1,4}

(¹中部大・院・応用生物, ²名大・院・生命農, ³理研IMS, ⁴CREST)

PF-066

澱粉生産性 *Cyanothece* sp. PCC 8802 における 3 種の枝切り酵素アインザイムの特性解析

佐々木 柁秀¹, Christophe Colleoni², Steven G. Ball²,

鈴木 龍一郎¹, 藤田 直子¹, 鈴木 英治¹

(¹秋田県立大・生物資源科学, ²リール科学技術大学)

PF-067

澱粉生産性 *Cyanobacterium* sp. CLg1 株由来枝切り酵素の構造機能解析

鈴木 龍一郎¹, 木村 友亮¹, 佐々木 柁秀¹,

Christophe Colleoni², Steven Ball², 藤田 直子¹, 鈴木 英治¹

(¹秋田県立大学 生物資源科学部, ²リール科学技術大学)

PF-068

シアノバクテリアにおける可溶性 PPase の役割

片野 創太¹, Ali Ferjani², 大河 浩¹

(¹弘前大・院・農学生命, ²東京学芸大・教育・生命)

PF-069

Arthrospira platensis NIES-46 における一次代謝産物の変化

成井 美帆, 小山内 崇

(環境バイオテクノロジー研究室)

PF-070

Cyanidioschyzon merolae の暗・嫌気条件下でのカリウム添加による有機酸生産への影響

金田 愛美

(環境バイオテクノロジー研究室)

PF-071

紅藻シアニジオシゾンにおけるグリセリン耐性株の解析

森山 崇, 佐藤 直樹

(東京大・院・総合文化)

PF-072

Cyanidioschyzon merolae からフィコシアニン抽出を促進あるいは阻害する溶液の探索

丹羽 香奈, 澤井 歩, 小山内 崇

(明大・農)

PF-073

Chlamydomonas reinhardtii における小胞体型 GPAT および LPAAT の解析

村井 将也¹, 西田 生郎¹, 紙透 祥吾¹, 栗田 朋和¹, 山岡 靖代²,

Youngsook Lee²

(¹埼玉大・理工学・生命科学・植物分子生理研究室, ²Pohang

University of Science and Technology, Pohang 790-784, Korea)

細胞内小器官

PF-074

色素異常を示すシロイヌナズナ葉緑体突然変異体群の微細構造の網羅的解析

小林 啓子¹, 本多 珠巳¹, 加藤 綾¹, 明賀 史純², 篠崎 一雄², 永田 典子¹

(¹日本女子大・理, ²理研・CSRS)

PF-075

葉緑体タンパク質 CAS による細胞内 Ca²⁺応答の制御

水野 公貴, 小谷 美穂, 上村 優奈, 椎名 隆

(京都府大・生命環境)

PF-076

シロイヌナズナの葉緑体カルシウムの役割

久保有沙, 小谷 美穂, 上村 優奈, 椎名 隆

(京都府立大学生命環境科学研究科)

PF-077

葉緑体 Ca²⁺結合タンパク質 CAS のリン酸化と気孔開閉制御

上村 優奈¹, 水野 公貴², 下谷 紘司¹, 山崎 加奈子^{1,2}, 椎名 隆^{1,2}

(¹京府大・院生命環境, ²京府大・生命環境)

PF-078

シロイヌナズナの雄性配偶子形成における膜融合制御因子の局在解析

海老根 一生^{1,2}, 上田 貴志^{1,2}

(¹基生研・細胞動態, ²総研大・基礎生物)

PF-079

シロイヌナズナにおける新奇核膜内膜タンパク質の探索

渡邊 水音¹, 坂本 勇貴², 松永 幸大¹

(¹東京理科大・理工・応用生物科学, ²東京理科大・総研・イメーシングフロンティア)

PF-080

炭素飢餓条件下におけるハナスベリヒユの葉緑体構造変化
 亀井 竣介, 船隈 透, 近藤 歩
 (名城大学農学部)

PF-081

クロララクニオン藻のダイナミン様タンパク質
 平川 泰久, 石田 健一郎
 (筑波大学生命環境系)

細胞骨格, 運動

PF-082

宇宙の微小重力環境におけるシロイヌナズナ胚軸の成長と
 表層微小管動態—Aniso Tubule 宇宙実験
 曾我 康一¹, 山崎 千秋², 鎌田 源司³, 谷川 直樹⁴, 笠原 春夫⁵,
 矢野 幸子⁶, 湖城 恵⁷, 朽名 夏磨^{8,9}, 加藤 壮英¹⁰, 橋本 隆¹⁰,
 小竹 敬久¹¹, 若林 和幸¹, 保尊 隆享¹
 (¹大阪市大・院・理, ²JSF, ³AES, ⁴千代田化工建設, ⁵JAMSS,
⁶JAXA, ⁷上智大・院・理工, ⁸東京大・院・新領域, ⁹エルピクセル,
¹⁰奈良先端大・バイオ, ¹¹埼玉大・院・理工)

PF-083

単子葉植物ブラキポディウムのみオシン 11 の機能解析お
 よびキメラミオシン導入による機能改変
 天海 淳¹, 原口 武士^{2,4}, 富永 基樹^{3,4}, 伊藤 光二^{2,4}
 (¹千葉大・院・融合理工・生物, ²千葉大・院・理・生物, ³早稲
 田・教育, ⁴科学技術振興機構・先端低炭素)

PF-084

タマネギ根端分裂組織の分裂準備帯形成過程と核周期進行
 の関係の解析
 大塚 礼己, 中井 朋則, 山内 大輔, 峰雪 芳宣
 (兵庫県大・院・生命理学)

PF-085

単子葉植物ブラキポディウムのみオシン 11 の機能解析お
 よび CRISPR/Cas9 による遺伝子ノックアウト
 登藤 都¹, 原口 武士^{2,3}, 遠藤 真咲⁴, 持田 恵一⁵,
 伊藤 光二^{2,3}
 (¹千葉大・院・融合理工・生物, ²千葉大・院・理・生物, ³科学技
 術振興機構・先端低炭素, ⁴農研機構・生物機能部門, ⁵理研・環境
 資源)

細胞壁

PF-086

パルマ藻 *Triparma laevis* の細胞壁形成機構の解析
 吉川 伸哉¹, 佐藤 晋也¹, 山崎 誠司², 一柳 紀凜¹, 山田 和正³,
 一宮 睦雄³, 斉藤 憲治⁴, 中村 洋路⁵, 佐藤 直樹², 桑田 晃⁴
 (¹福井県大海洋, ²東大総合分化, ³熊本県大環境共生, ⁴水産機構
 東北水研, ⁵水研機構中央水研)

PF-087

ペクチン分解酵素過剰発現イネにおける AI 耐性
 長山 照樹, 古川 純, 佐藤 忍, 岩井 宏暁
 (筑波大・生命環境)

PF-088

新規木部細胞分化誘導系を用いた二次細胞壁パターン制御
 機構の解析
 小田 祥久^{1,2}, 佐々木 武馬¹
 (¹国立遺伝研・新分野, ²総研大・遺伝学)

PF-089

同位体イメージングによる木部細胞壁形成過程の追跡
 竹内 美由紀¹, 則定 真利子², 磯貝 明¹
 (¹東大・院・農, ²東大・アジアセンター)

PF-090

塩ストレス条件下のトマト果実成熟過程における種子とロー
 キュラーの発達
 山田 佳央理, 宮地 桃子, 和田 加奈子, 柳 美弓, 浦尾 唯,
 佐藤 忍, 岩井 宏暁
 (筑波大・生命環境)

PF-091

シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合における原形質連絡カ
 ロース結合タンパク質の関わり
 大場 裕介¹, 吉原 さくら¹, 青原 勉¹, 松岡 啓太²,
 朝比奈 雅志², 佐藤 忍¹
 (¹筑波大・院・生命環境, ²帝京大・院・理工)

成長生理

PF-092

汽水産緑藻 *Ulva compressa* の Na⁺ に依存した成長とリン酸
 の取り込みについて
 井阪 若菜¹, 寺内 真³, 大西 美輪¹, 羽生田 岳昭³, 市原 健介⁴,
 山崎 誠和², 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 河野 重行², 川井 浩史³,
 新免 輝男⁵, 三村 徹郎¹
 (¹神戸大院・理・生, ²東大・院・新領域・先端生命, ³神戸大・内
 海域セ, ⁴北海道大学北方生物圏フィールド科学センター, ⁵兵庫県
 立大)

PF-093

水草ミズハコベにおけるシュート再生系と形質転換法の確立
 古賀 皓之¹, 塚谷 裕一^{1,2}
 (¹東京大学 大学院理学系研究科, ²岡崎統合バイオサイエンスセン
 ター)

PF-094

青色光照射に応じた葉柄のねじれ運動におけるオーキシン
 応答因子 ARF の役割
 大塚 祐太¹, 塚谷 裕一^{1,2}
 (¹東大・院・理, ²岡崎統合バイオ)

PF-095

新規エチレン様活性物質の作用機構の解析

北畑 信隆^{1,2}, 渡辺 健志郎¹, 鈴木 優志³, 浅見 忠男³, 朽津 和幸^{1,2}

(¹東京理科大・応用生物, ²東京理科大・イメージングフロンティアセンター, ³東大院・農生科)

PF-096

アズキ上胚軸の回旋運動と植物ホルモンの分布 II

飯田 幹之¹, 松浦 恭和², 森 泉², 高木 慎吾¹

(¹大阪大学・院理・生物科学, ²岡山大学・資源植物科学研究所)

PF-097

維管束の概日時計を標的として花成時期を制御する化合物の探索

小河 香織, 荒木 崇, 遠藤 求

(京都大学生命科学研究科統合生命科学専攻分子代謝制御学分野)

細胞増殖, 細胞分化

PF-098

水生植物ガガブタより作出された多芽体の超低温保存

上原 歩¹, 飯塚 郁穂¹, 三國 智葉², 栗山 昭^{1,2}

(¹東京電機大学 理工学部, ²東京電機大学大学院 理工学研究科)

PF-099

広義イネ科植物の分けつ茎を利用した培養系の確立; イネ, オオムギ, レモングラスの比較

蓼本 智里, 萩田 信二郎

(県立広島大学 大学院 総合学術研究科 生命システム科学専攻)

PF-100

細胞の伸長と分裂の方向を決める因子の探索: プロトプラストと化合物の利用

笹部 美知子¹, 伊藤 千尋¹, 樋口 奈々美¹, 高橋 雛子¹, 佐野 亮輔³, 倉田 哲也³, 出村 拓³, 町田 泰則²

(¹弘前大・農生・生物, ²名大・院・理, ³奈良先端大・バイオ)

発生, 生長, 形態形成

PF-101

シロイヌナズナ側根形成を抑制する TOLS2 ペプチドに対する高感受性変異体の解析

青木 優佳¹, 豊倉 浩一^{1,2}, 篠田 明德¹, 郷 達明^{1,3}, 石崎 公庸¹, 三村 徹郎¹, 深城 英弘¹

(¹神戸大・院・理, ²大阪大・院・理, ³奈良先端大・バイオ)

PF-102

シロイヌナズナ側根形成を抑制する TOLS2 類似ペプチドの解析

久内 彩洋子¹, 豊倉 浩一^{1,2}, 篠田 明德¹, 郷 達明^{1,3}, 石崎 公庸¹, 三村 徹郎¹, 深城 英弘¹

(¹神戸大・院・理, ²大阪大・院・理, ³奈良先端大・バイオ)

PF-103

シロイヌナズナの根の内皮分化に対する *rsx1-2* 変異の影響の解析

紙中 緑香, 片岡 ちひろ, 本間 あゆみ, 段 中瑞, 西田 生郎

(埼玉大・理工学・生命科学・植物分子生理研究室)

PF-104

Analyses of the functions of RGFs in the first stage of lateral root formation

Natalia Constanza de la Tijera Fernandez, 柿本 辰男

(大阪大学大学院理学研究科)

PF-105

Functional analysis of CLE16 and CLE17 in *Arabidopsis*

島岡 知恵, 山口 泰華, 澤 進一郎, 石田 喬志

(熊本大学大学院自然科学研究科)

PF-106

CLE ペプチドオルソログの分子進化に関わる因子の探索

平川 有宇樹¹, 千代田 夏実¹, 打田 直行², 清未 知宏¹

(¹学習院大・理, ²名大・ITbM)

PF-107

RTFL Peptide Family: How it regulates the morphogenesis in land plants

Pin Guo¹, Tomoyuki Furuya¹, Takayuki Kohchi², Tomoko Abe³, Hirokazu Tsukaya^{1,4}

(¹Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0033, Japan, ²Graduate School of Biostudies, Kyoto University, Kyoto 606-8502, Japan, ³RIKEN Nishina Center, 2-1 Hirosawa, Wako, Saitama 351-0198, Japan, ⁴Bio-Next Project, Okazaki Institute for Integrative Bioscience, National Institutes of Natural Sciences, Yamate Building no. 3, 5-1, Higashiyama, Myodaiji, Okazaki, Aichi, 444-8787, Japan)

PF-108

線虫感染過程における根こぶ形成への ARF5 の関与

鈴木 れい¹, 山口 泰華¹, 江島 千佳¹, 相良 知実¹, 中上 知¹, Bui Thi Nung¹, 石田 喬志^{1,2}, 澤 進一郎¹

(¹熊本大・院・自然科学, ²熊本大・IROAST)

PF-109

不定根形成を指標としたシロイヌナズナ DMSO 高感受性変異体の単離と表現型解析

野崎 守¹, 川出 健介^{1,2}, 塚谷 裕一^{1,3}, 杉山 宗隆⁴

(¹岡崎統合バイオ, ²基生研, ³東大・院・理, ⁴東大・院・理附植)

PF-110

Epigenetic repressor AS1-AS2 and DNA replication factors control ARF3 in leaf development

Chiyoko Machida¹, Ayami Nakagawa¹, Luong Quy Toan¹, Hiro Takahashi², Shoko Kojima¹, Yasunori Machida³

(¹Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, ²Graduate School of Horticulture, Chiba University, ³Graduate School of Science, Nagoya University)

PF-111

アサガオの蔓の巻き付きに表層微小管は関与するのか？

夜船 友咲, 松本 奈波, 蘭 理恵子, 庄田 彩乃, 金田 剛史
(愛媛大・院・理工学)

PF-112

特定外来生物ナガエツルノゲイトウの茎断片からの個体再生と植物ホルモンの関係解析

桑原 葵, 高橋 秀典
(東邦大・院・理・生物)

PF-113

ゼニゴケ無性芽発生を制御する **RopGEF/KAR** の生化学的解析樋渡 琢真¹, Li Quan Koh², 深城 英弘¹, 三村 徹郎¹,
河内 孝之³, 浦野 大輔², 石崎 公庸¹
(¹神戸大・院・理, ²Temasek LifeScience Labok, ³京都大・院・生命)

PF-114

ヒメツリガネゴケ葉において並層分裂抑制因子 **SHORT-ROOT** は細胞の形を制御するのか？藤原 彩花¹, 吉田 彩子², 堀内 雄太^{2,3}, 長谷部 光泰^{2,3},
小藤 累美子⁴
(¹金沢大・院・自然科学・自然システム, ²基生研・生物進化, ³総研大・基礎生物, ⁴金沢大・理工・自然システム)

PF-115

ヒメツリガネゴケの平面内細胞極性における細胞膜局在型タンパク質のドメイン機能解析

進藤 千聖¹, Ooi-kock Teh², Junling Ren¹, 長谷部 光泰^{3,4},
藤田 知道²
(¹北大・院・生命, ²北大・院・理, ³総研大・生命科学, ⁴基生研・生物進化)

PF-116

Evaluation of Somaclonal Variants under Field Condition for the Varietal Improvement of StrawberryMost Tanziman Ara^{1,2}, Shinjiro Ogita¹, Rafiul Islam²,
Monzur Hossain^{2,3}
(¹Program in Biological System Sciences, Graduate School of Comprehensive Scientific Research, Prefectural University of Hiroshima, ²Department of Botany, University of Rajshahi, Rajshahi-6205, Bangladesh, ³Institute of Biological Sciences (IBSC), University of Rajshahi, Rajshahi-6205, Bangladesh)

PF-117

材線虫抵抗性クロマツの種子胚由来細胞の培養と分化

細井 佳久, 丸山 毅
(森林研究・整備機構 森林総合研究所 樹木分子遺伝研究領域)

PF-118

植物の形質転換の簡便化を目的とした組換えベクターの開発

佐藤 優加, 井川 智子
(千葉大学園芸学部園芸学科 植物細胞工学研究室)

生殖

PF-119

シロイヌナズナ花粉管誘引のライブイメージング

時田 公美¹, 水多 陽子^{1,2}, 栗原 大輔³, 東山 哲也^{1,3}
(¹名大・ITbM, ²JSTさきがけ, ³名大・院・理)

PF-120

シロイヌナズナ卵細胞膜タンパク質の精製

井川 智子¹, 山田 力志², 澤田 均², 森 稔幸³
(¹千葉大学大学院園芸学研究科, ²名古屋大学大学院理学研究科, ³順天堂大学医学部)

PF-121

シロイヌナズナの花粉発生過程における **FtsZ** の発現および局在解析大橋 ゆき乃, 井川 智子
(千葉大・院・園芸学)

PF-122

イネ突然変異体 *isp1* 花粉の FE-SEM による観察平塚 理恵¹, 鈴木 智子², 上田 健治³
(¹慈恵医大・生物研, ²日本女子大・理学部, ³秋田県立大・生物資源)

PF-123

伸長する花粉管における生体膜の頑健性の解析

西牧 皇樹¹, 柳沢 直樹², 時田 公美², 木下 哲¹, 東山 哲也²,
丸山 大輔¹
(¹横市大・木原生物学研究所, ²名大・トランスフォーマティブ生命分子研究所)

PF-124

秋季のスギ未熟雄花芽の糖組成と花粉症アレルゲンの分析

伊ヶ崎 知弘¹, 掛川 弘一², 二村 典宏¹, 楠本 倫久²,
松井 直之², 菱山 正二郎², 橋田 光², 大平 辰朗²
(¹森林総研 樹分子, ²森林総研 資源化)

PF-125

ゼニゴケアデニル酸シクラーゼ遺伝子 **MpCAPE** は造精器特異的に発現する山本 千愛¹, 高橋 文雄¹, 末次 憲之², 河内 孝之²,
笠原 賢洋¹
(¹立命館大・院・生命, ²京大・院・生命)

PF-126

生物画像解析ソフト **ImageJ** によるゼニゴケ精子の運動解析十川 太輔, 原田 大士朗, 大和 勝幸
(近畿大・院・生物理工学)

PF-127

ボタンボウフウ (*Peucedanum japonicum* Thunb.) における白色光による長日処理が開花抑制に及ぼす影響高江洲 賢文, 玉城 盛俊, 砂川 春樹
(沖縄農研七・野菜花き)

遺伝子発現制御, 情報伝達

PF-128

機能誘導系を利用した転写因子過剰発現系統の作出と光情報伝達変異体探索

嶋田 勢津子¹, 近藤 陽一^{1,2}, 吉積 毅¹, 柳川 由紀^{1,3}, 堀井 陽子¹, 栗山 朋子¹, 川島 美香¹, 宗貞 敬親^{1,4}, 松井 南¹

(¹理研・CSRS, ²関東学院・理工・生命, ³農研機構・生物機能部門, ⁴横浜市大・国際総合科学部)

PF-129

キク科 *Flaveria* 属における遺伝子発現制御系の確立

岡 美慧, 谷口 (山本) 幸美, 宗景 (中島) ゆり

(関西学院大学大学院)

PF-130

システム生物学アプローチによる植物免疫活性化剤効果の検討

安江 啓人, 中野 正貴, 北畑 信隆, 朽津 和幸, 諸橋 賢吾

(東京理科大・理工・応用生物科)

PF-131

Analysis of light regulated gene expression during cell cycle in *Pediastrum duplex*

Harshavardhini Sridharan¹, 加藤 翔太¹, 土金 勇樹²,

関本 弘之², 鈴木 智大³, 朝比奈 雅志¹, 篠村 知子¹

(¹帝京大学大学院理工学研究科総合理工学専攻, ²日本女子大学, ³宇都宮大学)

PF-132

カロテノイド酸化開裂酵素遺伝子の CRISPR/Cas9 システムを用いたゲノム編集によるアサガオの花色改変

渡邊 健太¹, 山溝 千尋², 小野 公代¹, 大宮 あけみ², 小野 道之¹

(¹筑波大学・遺伝子実験センター, ²農研機構・野菜花き研究部門)

PF-133

シロイヌナズナ T-DNA 挿入変異体における外来遺伝子の過剰発現系の構築

竹内 信弘¹, 竹田 篤史^{1,2}

(¹立命大・院・生命科学, ²立命大・生命科学)

PF-134

サイズにおける 2 種のダイサー活性に着目した RNA 干渉の組織特異性

柳下 あゆみ, 田原 緑, 森山 裕充, 福原 敏行

(東京農工大学農学府生物制御科学専攻細胞分子生物学研究室)

PF-135

時空間的制御に着目した RNA 分解経路の比較解析

元村 一基¹, 丸山 大輔^{1,2}, 栗原 大輔³, 熊倉 直祐⁴,

渡邊 雄一郎⁵, 東山 哲也^{1,3}

(¹名大・WPI-ITbM, ²横浜市立大・木原生研, ³名大・院・理, ⁴理研・CSRS, ⁵東大・院・総合文化)

ゲノム, プロテオーム

PF-136

国内産アーバスキュラー菌根菌 *Rhizophagus clarus* HR1 株の新規ゲノム解析

小林 裕樹^{1,2}, 前田 太郎^{1,2}, 山口 勝司³, 亀岡 啓^{1,2},

田中 幸子^{1,2}, 江沢 辰広⁴, 重信 秀治^{3,5}, 川口 正代司^{1,2,5}

(¹基礎生物学研究所 共生システム研究部門, ²JST ACCEL, ³基礎生物学研究所 生物機能解析センター, ⁴北海道大学 農学部, ⁵総研大)

PF-137

植物共生真菌アーバスキュラー菌根菌での rDNA ゲノム内多型

前田 太郎^{1,2}, 大熊 直生^{1,3}, 小林 裕樹^{1,2}, 亀岡 啓^{1,2},

武田 直也¹, 山口 勝司¹, 尾納 隆大¹, 重信 秀治¹,

川口 正代司¹

(¹基礎生物学研究所, ²JST ACCEL, ³総合研究大学院大学)

PF-138

MiSeq を駆使した *in lab* 植物トランスクリプトーム解析

吉原 静恵¹, 山本 花純², 岡野 凌一², 村松 順子¹,

徳本 勇人²

(¹大阪府立大学大学院理学系研究科, ²大阪府立大学大学院工学研究科)

PF-139

緑藻 *Raphidocelis subcapitata* のゲノム解析

鈴木 重勝, 山口 晴代, 中嶋 信美, 河地 正伸

(国立環境研究所)

PF-140

ウルシ *Toxicodendron vernicifluum* の器官別 RNAseq 解析と cDNA-SSR マーカーの開発

桐島 祐貴¹, 石崎 陽子¹, 北島 佐紀人², 椎名 隆¹

(¹京都府立大学生命環境学部環境情報科学科植物分子生物学研究室, ²京都工芸繊維大学工芸科学研究科応用生物学部門植物分子工学研究室)

PF-141

理研 BRC が提供するシロイヌナズナ野生株のデータベースの開発

井内 聖, 川村 節子, 小林 正智

(理化学研究所 バイオリソースセンター 実験植物開発室)

PF-142

ルシフェラーゼ活性を指標とした一過的ゲノム編集の最適化に関する研究

井手口 真也, 後藤 尚隆, 勝呂 まりえ, 竹田 篤史

(立命大・院・生命科学)

植物微生物相互作用

PF-143

シロイヌナズナの軟腐病発病に対するサリチル酸の影響
白坂 優紀

(理工学研究科 生命機能学専修 植物医科学領域 植物栄養医科学研究室)

PF-144

シロイヌナズナ孔辺細胞におけるキチン信号伝達
叶文秀^{1,3}, 新屋友規⁴, 木下俊則^{1,2}, 賀来華江⁵,
渋谷直人⁵, 村田芳行³

(1名古屋大学ITbM, 2名古屋大学理学研究科, 3岡山大学環境生命研究科, 4岡山大学IPSR, 5明治大学農学部)

PF-145

BY-2 細胞を利用した青枯病菌感染のモデル実験系の構築
藤江 誠¹, Mawardika Herlinda¹, 杉崎 巧², 川崎 健¹

(1広島大学大学院先端物質科学研究科, 2広島大学工学部第3類)

PF-146

軟腐病細菌培養濾過液における細胞死誘導タンパク質の分離
平川由美, 檜垣匠, 永田晋治, 馳澤盛一郎

(東京大・院・新領域)

PF-147

脂溶性植物成分の青枯病抵抗性誘導活性とその誘導機構の解析

内田涼太¹, 瀬尾茂美², 北畑信隆¹, 朽津和幸^{1,3}

(1東京理科大・理工・応用生物科学, 2農研機構・生物機能利用, 3東京理科大・イメージングフロンティアセンター)

PF-148

ROS 生成を指標とした植物免疫活性化剤候補化合物の選抜と作用機構の解析

斎藤優歩¹, 吉田亜祐美¹, 吉川岳史¹, 中野正貴¹,
北畑信隆^{1,2}, 来須孝光¹, 石賀康博³, 浅見忠男⁴,
朽津和幸^{1,2}

(1東京理科大・理工・応用生物, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3筑波大・生命環境, 4東京大・院・農学生命)

PF-149

寄生植物キヨスミウツボの内生菌の生態的役割の評価
工藤幸太¹, 横山潤²

(1山形大・院・理工, 2山形大・理・生物)

PF-150

半寄生植物ヤドリギの内生菌種構成と菌類間の相互作用の解析

對馬宗志¹, 横山潤², 武浪秀子³

(1山形大・院・理工, 2山形大・理・生物, 3横浜市こども植物園)

分類, 系統, 進化

PL-001

日本産ジュラ紀の植物化石図鑑の制作一次世代の日本の古植物研究者へー

寺田和雄^{1,2}

(1福井県立恐竜博物館, 2中生代植物研究会)

PL-002

緑藻類モデル生物 *Chlamydomonas reinhardtii* と近縁株の系統解析土田雄大^{1,2}, 仲田崇志^{1,3}, 富田勝^{1,2,3}

(1慶大・先端生命研, 2慶大・環境情報, 3慶大・政策メディア・先端生命)

PL-003

日本産ノキシノブ倍数性複合体における系統解析と分類学的整理

藤原泰央¹, 芹沢俊介², 綿野泰行¹

(1千葉大学大学院理学研究科, 2愛知みどりの会)

PL-004

香川県でみつかった4倍体ハコネシケチシダの遺伝学的研究

篠原 渉

(香川大学教育学部生物学教室)

PL-005

日本産シダ植物の種名・分布・形態に関するデータベースの構築

海老原 淳

(国立科学博物館植物研究部)

PL-006

遺伝的多様性の評価に基づくギフチョウの食草であるヒメカンアオイ実体と保全活動の実践

渡邊幹男¹, 中根逸男², 吉岡大輝³, 井上千鶴³, 壁谷大雅³,
山本悠馬³, 立山真士³, 松永志基³, 彦坂和秀³, 木村光希¹,
小玉公明⁴, 杉坂美典⁵, 芹沢俊介⁶

(1愛知教育大学生物, 2岡崎市環境保全, 3愛知県立岡崎高校, 4おがさき湿地保護の会, 5岡崎市自然環境調査検討委員会, 6愛知みどりの会)

PL-007

周食型種子散布ギンリョウソウと風散布型アキノギンリョウソウの果実内部構造分化の実態解析

宇賀神智晴, 遠藤泰彦

(茨城大学大学院理工学研究科)

PL-008

玉川上水のヤマザクラのSSRを利用した比較による分類

濱岡小雪, 佐野俊夫

(法政大・院・生命機能)

PL-009

ヒロバスケ近縁種群における種内及び種間の形態的・遺伝的変異

猪越 隼¹, 横山 潤²

(¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物)

PL-010

サワシロギクの蛇紋岩適応における発芽時の土壤微生物の影響と土壤細菌のスクリーニング

真鍋 遼¹, 岡野 凌一², 徳本 勇人¹, 福島 慶太郎³, 阪口 翔太⁴, 石川 直子⁵, 伊藤 元己⁵, 西野 貴子¹

(¹大阪府大・院・理, ²大阪府大・院・工, ³首都大・都市環境, ⁴京都大・院・人環, ⁵東京大・院・総合文化)

形態, 構造

PL-011

Patterning of the Cylindrical Unifacial Leaf Plant *Juncus torreyi* (Juncaceae)

Xiaofeng Yin¹, 塚谷 裕一^{1,2}

(¹東大院理, ²岡崎総合バイオサイエンスセンター)

PL-012

X線マイクロCTによるシロイヌナズナ根系の可視化の試み

黒金 智文¹, 唐原 一郎¹, 松井 亮², 玉置 大介¹, 矢野 幸子³, 谷垣 文章³, 嶋津 徹^{3,4}, 笠原 春夫⁵, 山内 大輔⁶, 上杉 健太郎⁷, 星野 真人⁷, 峰雪 芳宣⁶, 神阪 盛一郎¹

(¹富山大・院・理工, ²富山大・理, ³宇宙航空研究開発機構, ⁴日本宇宙フォーラム, ⁵有人宇宙システム, ⁶兵庫県大・院・生命理学, ⁷高輝度光科学研究センター)

PL-013

中実化したマダケ竹稈のバイオマス特性評価と組織・化学的解析

後迫 辰哉¹, 竹之下 光², 荻田 信二郎^{1,2}

(¹県立広島大学大学院総合学術研究科生命システム科学専攻, ²県立広島大学生命環境学部生命科学科)

PL-014

海産緑藻フトジュズモの動接合子, 遊走子における眼点と鞭毛の配列と協調的鞭毛運動

宮村 新一¹, 野村 真未¹, 南雲 保²

(¹筑波大学生命環境系, ²日本歯科大生物)

生態, 生理生態, 種生態, 群落保全

PL-015

館山近海における海産被子植物アマモに関する解析

瀬戸 彩映里¹, 後藤 裕子², 畠田 智¹

(¹お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻生命科学コース, ²お茶の水女子大学理学部生物学科)

PL-016

タカネコウリングクの保全生態学的研究

長谷川 晃子¹, 宮本 太¹, 佐藤 千芳², 三井 裕樹¹

(¹東京農業大学・農学部, ²熊本植物研究所)

PL-017

帰化植物マツバウンランの生活史解析

白井 詩織, 川窪 伸光

(岐阜大学 応用生物科学研究科)

PL-018

大型海浜植物ダンチクの Google マップを用いた分布調査—ダンチクの分布に影響を与える要因—

佐久間 洋¹, 高木 方隆², 堀澤 栄³, 井上 雅裕¹

(¹愛媛大・院・理工, ²高知工科大・システム工学, ³高知工科大・環境理工)

PL-019

ハワイ島におけるハワイフトモモの適応放散: 自然選択と遺伝子流動の重要性

小野田 雄介¹, 伊津野 彩子², 甘田 岳¹, 小林 慧人¹

(¹京都大学農学研究科地域環境科学専攻森林生態学分野, ²University of Zurich)

PL-020

コンパクトMRIを用いた樹幹の樹液流速分布の日変化の測定

平川 雅文¹, 市橋 隆白¹, 福田 健二¹, 寺田 康彦²

(¹東京大・院・農学生命科学, ²筑波大学数理物質科学)

PL-021

シソ (*Perilla frutescens* var.) 葉におけるアントシアニン蓄積様式と光応答特性

早津 誠宏¹, 関川 清広², 宇佐見 仁英³, 渡邊 博之⁴

(¹玉川大・院・農学, ²玉川大・農・環境農学, ³玉川大・学術研, ⁴玉川大・農・先端食農)

環境応答

PL-022

氷河に生育するラン藻 *Phormidesmis priestleyi* の低温耐性に関する生理学的解析

矢野 充啓¹, 小杉 真貴子¹, 植竹 淳², 諏訪 裕一¹,

小池 裕幸¹

(¹中央大学, ²Colorado State University)

PL-023

陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の熱耐性に関わる細胞内物質

木村 駿太^{1,2}, オン 碧¹, 鈴木 利貞³, 富田-横谷 香織¹

(¹筑波大学, ²日本学術振興会, ³香川大学)

PL-024

ジャスモン酸類による *Euglena gracilis* のカロテノイド合成・蓄積の調節

加藤 翔太¹, 中村 将志¹, 齋藤 梓¹, 齊藤 圭祐¹, 湯本 絵美¹, 横田 孝雄¹, 高市 真一², 山根 久和¹, 篠村 知子¹

(¹帝京大・理工, ²東京農大・生命科学)

PL-025

明暗周期培養下における微細藻類 *Euglena gracilis* のカロテノイド合成の解析

丹野 夕麗¹, 加藤 翔太², 朝比奈 雅志^{1,2}, 高橋 宣治^{1,2}, 高市 真一³, 石川 孝博⁴, 篠村 知子^{1,2}

(¹帝京大・院・理工, ²帝京大・理工・バイオ, ³東京農大・生命科学, ⁴島根大・生物資源)

PL-026

ヒメツリガネゴケのオートファジー変異株における過酸化水素処理で誘導される細胞死

吉川 知佳, 井上 悠子, 森安 裕二

(埼玉大学理工学研究科)

PL-027

ヒメツリガネゴケを用いた老化とオートファジーの関連の解析

愈 羽豊, 森安 裕二, 井上 悠子

(埼玉大学理工学研究科)

PL-028

酸化亜鉛ナノ粒子を用いたカルスに対する光合成機能向上技術の構築

山本 花純¹, 中島 淑乃¹, 竹田 恵美², 吉原 静恵², 野村 俊之¹, 徳本 勇人²

(¹阪府大・院・工, ²阪府大・院・理)

PL-029

強光処理下での光化学系 II の損傷過程と修復過程における呼吸鎖の役割の解明

山田 翔也, 尾崎 洋史, 野口 航

(東京薬科大・院・生命科学)

PL-030

なぜ葉緑体型アスコルビン酸ペルオキシダーゼの欠損は植物の光ストレス耐性に影響しないのか？

丸田 隆典, 三富 弦, 亀岡 峰志, 岡安 嵩也, 小川 貴央, 石川 孝博

(島根大・生資科・生命工)

PL-031

シロイヌナズナの機械刺激応答時における Rboh の役割

田川 翔大, 山岡 征矢, 渡辺 拓也, 椎名 隆

(京都府大・生命環境)

PL-032

新規プローブを用いた植物の細胞内 Ca^{2+} 濃度変化の 1 細胞レベルの発光・蛍光イメージング

永井 寛子¹, 新野 祐介², 助川 夏雄¹, 北畑 信隆^{1,3}, 宮脇 敦史², 朽津 和幸^{1,3}

(¹東京理科大・理工・応用生物科学, ²理研・脳科学, ³東京理科大・イメージングフロンティアセンター)

PL-033

NaKRI による *FT* 転写制御機構の解析

根岸 克弥, 遠藤 求, 荒木 崇

(京大・院・生命科学)

PL-034

Arabidopsis thaliana IAP LIKE PROTEINs (AtILPs) 遺伝子は発芽調節機構に関与する

東 克己, 野村 昂弘, 柴田 真志, 行場 拓未, 小野寺 智哉, 高野 玲於奈

(帝京科学大学生命環境学部生命科学科)

PL-035

気孔クラスターを形成する孔辺細胞における細胞内構造の定量解析

秋田 佳恵, 馳澤 盛一郎, 檜垣 匠

(東京大・院・新領域)

PL-036

植物ミトコンドリアのスクシニル CoA リガーゼの基質特異性とレドックス制御

西山 真穂, 吉田 啓亮, 若林 憲一, 久堀 徹

(東工大・化学生命研)

光合成

PL-037

環境ストレス負荷によるカロテノイド含量増加の可能性

藤井 菜摘, 福田 拓哉, 塚本 聡, 竹田 恵美

(大阪府大・院・理・生物科学)

PL-038

シロイヌナズナにおけるカロテノイド合成を制御する因子

塚本 聡, 福田 拓哉, 竹田 恵美

(大阪府大・院・理・生物科学専攻)

PL-039

シロイヌナズナ β カロテンヒドロキシラーゼ遺伝子の光による発現調節機構

福田 拓哉, 塚本 聡, 竹田 恵美

(大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

PL-040

水陸両生植物の水環境順応におけるエチレンの役割

堀口 元気, 根本 恭輔, 廣津 直樹

(東洋大・院・生命)

代謝, 物質生産, メタボローム, バイオエネルギー

PL-041

クロレラにおけるトリアシルグリセロール蓄積機構
大滝 理恵, 林 泰平, 平井 一帆, 藤原 祥子, 都筑 幹夫,
佐藤 典裕
(東京薬科大学・生命科学・環境応用植物学研究室)

PL-042

ポリアミン添加による微細藻類中の酸化ストレスの増大と
アスタキサンチン生産能の向上
吉富 徹¹, 鳥田 尚弥¹, 飯島 一智², 橋詰 峰雄²,
吉本 敬太郎^{1,3}
(¹東京大・院・総合文化, ²東理大・院・工, ³JST・さきがけ)

PL-043

Intracellular localization of β -carotene ketolase in
Haematococcus pluvialis
Samuel Wee Han Koh¹, Hisashi Ito¹, Ayumi Tanaka¹,
Yoshiki Nishimura², Ryouichi Tanaka¹
(¹Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University,
²Department of Botany, Graduate School of Science, Kyoto University)

PL-044

Evaluation of various pretreatments for seaweed metabolomics
Shahlizah Sahul Hamid^{1,2}, 若山 正隆^{1,2}, 曾我 朋義^{1,2},
富田 勝^{1,2}
(¹慶應大・先端生命研, ²慶應大・院・政策メディア)

PL-045

培養地衣菌が産生する抗酸化活性成分の探索と分析
鈴木 千尋, 川上 寛子, 原 光二郎, 小峰 正史
(秋田県立大学 生物資源科学部 生物生産科学科 植物資源創成シ
ステム研究室)

PL-046

スグリゲニンを分解する新規菌類の探索および, リゲニン
分解物の解析
土田 博子¹, 齋藤 洋太郎¹, 松本 朋子¹, 蒔田 由布子¹,
川島 美香¹, 菊地 淳^{1,2}, 松井 南¹
(¹RIKEN・CSRS, ²Grad. Sch. Med. Life. Sci., Univ. Yokohama City)

PL-047

DOPA dioxygenase の比較生化学的解析
渡辺 華子¹, 鈴木 みほ², 横山 陽子², 石塚 夏洋¹,
作田 正明^{1,2}
(¹お茶の水大・院・生命科学, ²お茶の水大・理・生物)

PL-048

綿実テルペノイドであるゴシポールの配糖体化とその分光
学的特性
中村 真基¹, 天野 善継¹, 長谷川 輝明^{2,3}
(¹東洋大・院・生命科学, ²東洋大・生命科学, ³東洋大・バイオナ
ノ)

PL-049

京の伝統野菜「佐波賀大根」の葉におけるフラボノイドの
定量・定性
出口 小百合¹, 富澤 蒼¹, 三村 裕², 城田 浩治³, 村井 良徳⁴,
瀬戸口 浩彰⁵, 上原 歩¹
(¹東京電機大学 理工学部, ²京都府農林水産技術センター 生物資源
研究センター 応用研究部, ³京都府中丹西農業改良普及センター,
⁴国立科学博物館 植物研究部, ⁵京都大学大学院 人間・環境学研究所)

PL-050

センブリ不定根における KODA の二次代謝への影響 II
川上 寛子¹, 佐々木 綾音¹, 高木 一輝², 小川 滋之²,
原 光二郎¹, 小峰 正史¹
(¹秋田県立大学 生物資源科学部 生物生産科学科 植物資源創成シ
ステム研究室, ²(株) 資生堂 生産技術開発センター)

細胞内小器官

PL-051

ヒメツリガネゴケで観察されるオートファゴソーム関連構
造の解析
鹿野 隼大¹, 厚沢 季美江², 金子 康子¹, 井上 悠子¹,
森安 裕二¹
(¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・科学分析支援センター)

PL-052

ABCG11 の細胞膜への局在制御メカニズムの研究
橋口 雄樹, 田井 聡美, 田中 左恵子, 柿本 辰男,
田中 博和
(阪大・院・理・生物科学)

PL-053

酵母ミトコンドリア DNA の複製起点に結合するミトコン
ドリア核様体タンパク質の解析
岡本 哲¹, 宮川 勇²
(¹山口大・院・理工, ²山口大・院・創成科学)

PL-054

シロイヌナズナにおけるミトコンドリア機械刺激受容チャ
ネル MSL1 の解析
泉田 颯太, 艾原 佐紀, 濱谷 昭寿, 椎名 隆
(京都府大・生命環境)

PL-055

ヘテロ受精を利用した異種交配時の胚乳発達異常の回避
前田 愛, 木下 哲, 丸山 大輔
(横浜市大・木原生物学研究所)

生体膜

PL-056

シロイヌナズナにおける低温下の小胞体形成に対するリン脂質合成変異の影響

久賀 千晶¹, 矢竹 美樹¹, 西田 生郎²

(1埼玉大・院・理工学・植物分子生理研究室, 2埼玉大学)

PL-057

pect1-4 の COP 活性低下は *pect1-4 aox1a-1* では解消する
清水 琢登, 矢竹 美樹, 西田 生郎

(埼玉大・院・理工学・植物分子生理研究室)

細胞骨格, 運動

PL-058

アクチン繊維微小管同時可視化によるヒメツリガケゴケ先端成長の細胞骨格動態

太塚 沙穂子¹, 川村 安美², 後藤 史奈², 佐藤 良勝³,
日渡 祐二^{1,2}

(1宮城大・院・食産業学, 2宮城大・食産業学, 3名古屋大・WPI-ITbM)

PL-059

表層微小管の脱配向性を促進する新規微小管局在性タンパク質の機能解析

佐々木 武馬¹, 福田 裕穂², 小田 祥久^{1,3}

(1遺伝研・新分野, 2東京大・院理, 3総研大・遺伝学)

PL-060

シロイヌナズナ 8 種類のアクチンアイソフォームと 17 種類
のミオシンアイソフォームとの間の結合特性薩 如拉¹, 諏訪 貴大¹, 貴嶋 紗久², 原口 武士^{1,4},
富永 基樹^{3,4}, 上田 太郎², 伊藤 光二^{1,4}

(1千葉大・院・理・生物, 2早稲田・院・先進理工・物理, 3早稲田大・教育, 4科学技術振興機構・先端低炭素)

細胞壁

PL-061

シロイヌナズナの AGP1 と AGP4 の遺伝子発現と糖鎖構造の解析

原 克弥¹, 中村 俊輝², 犬飼 達也², 浅野 功平¹, 円谷 陽一²,
小竹 敬久²

(1埼玉大・理, 2埼玉大院・理工)

PL-062

道管において二次細胞壁パターンを制御する協調的な ROP
シグナル分子の解析長島 慶宜^{1,2}, 福田 裕穂¹, 小田 祥久²

(1東京大・院・理, 2遺伝研・新分野)

PL-063

植物プロテオグリカン AGP の病害応答反応における役割
芝野 誠二¹, 八楯 頼誠¹, 吉見 圭永¹, 出崎 能丈², 賀来 華江²,
澁谷 直人², 中神 弘史³, 円谷 陽一¹, 小竹 敬久¹

(1埼玉大・院・理工, 2明治大・農, 3Max-Planck研・植物育種)

PL-064

転写抑制因子 VNI2 は繊維細胞マスター因子 NST1, NST3
の機能を抑制する山口 雅利¹, 坂本 真吾², 川合 真紀¹, 光田 展隆^{1,2}

(1埼玉大学・院・理工, 2産総研)

成長生理

PL-065

地下部からの滲出による成長阻害物質の放出を検出する実験法の検討

酒井 敦¹, 佐々木 晶子², 佐藤 由衣¹

(1奈良女子大・理・生物, 2奈良女子大・院・人間文化・生物)

PL-066

コカナダモの食害応答におけるジャスモン酸伝達とフラボノイド生成の影響

門倉 祐太¹, 佐久間 洋³, 宮本 健助², 井上 雅裕^{1,3}

(1愛媛大・理・生物, 2大阪府大・院・理・生物, 3愛媛大・院・理工・生物)

PL-067

アブラナ科植物 *Rorippa aquatica* の水中適応に伴う花成の抑制機構の解析池松 朱夏¹, 中山 北斗², 坂本 智昭¹, 木村 成介¹

(1京都産業大学 総合生命科学部, 2UC Davis・Plant Biology)

PL-068

 α -メチレン- γ -ラクトン構造を有する天然型オーキシン極性移動阻害物質の黄化エンドウ芽生えの成長制御戸田 雄太¹, 岡田 一穂¹, 上田 純一¹, 宮本 健助²

(1大阪府立大・院・理学系・生物科学, 2大阪府立大・高等教育)

PL-069

ブラシノステロイド生合成阻害を用いた二倍体イチゴの果実発達機構の解析

石井 ひかり, 中村 郁子, 嶋田 幸久

(横浜市立大学 木原生物学研究所)

PL-070

アサガオの *TFL1* 遺伝子の品種間差と短日性花成誘導藤原 麻衣, 新井 祥子, 本田 光明, 望月 嗣文, 小野 公代,
小野 道之

(Gene Res. Ctr, Univ. Tsukuba)

PL-071

コデマリのアントシアニン蓄積形質転換体のアレロパシー活性

笹本 浜子¹, 鈴木 栄², 中川 和紀², 笹本 優³, 和佐野 直也⁴, 藤井 義晴⁴

(¹神奈川大・総理研, ²農工大・農, ³農環研, ⁴農工大・農院)

PL-072

氷核形成阻害活性を利用した凍霜害防止効果の検証

鈴木 伸吾, Anugerah A. Laksana, 福士 幸治, 荒川 圭太

(北大・院・農)

細胞増殖, 細胞分化

PL-073

概日時計は細胞分裂周期を制御しているのか

別城 啓太, 清水 華子, 荒木 崇, 遠藤 求

(京都大学大学院生命科学研究所分子代謝制御学分野)

PL-074

植物におけるコヒーシオン相互作用因子の機能解析

鈴木 喬善, 藤本 聡, 松永 幸大

(東京理科大・理工・応用生物学)

PL-075

シロイヌナズナの組織によるシュート再生能の差異とその制御に関する因子の解析

豊田 悠真¹, 杉本 薫¹, 角倉 慧¹, 関 原明², 松永 幸大¹

(¹東京理科大・理工・応用生物学, ²理研・CSRS)

発生, 生長, 形態形成

PL-076

Genetic evidence indicates that IBA derived IAA is a key driving mechanism for Class II CCE in *fugu5*

多部田 弘光¹, 浅岡 真理子¹, 高橋 和希¹, 塚谷 裕一^{2,3}, Ali Ferjani^{1,4}

(¹東京学芸大学・教育・生命, ²東大・院・理, ³岡崎統合バイオ, ⁴東京学芸大・院・連合)

PL-077

Rorippa aquatica における栄養繁殖とオーキシンの関係の解析

桃井 理沙¹, 天野 瑠美¹, 中山 北斗², 小島 美紀子³, 竹林 裕美子³, 榎原 均³, 木村 成介¹

(¹京都産業大学大学院・生命科学, ²カリフォルニア大学デービス校, ³理化学研究所環境資源科学研究センター)

PL-078

オーキシンパターン形成の数理的解析

藤田 浩徳^{1,2}, 川口 正代司^{1,2}

(¹基礎生物学研究所 共生システム研究部門, ²総合研究大学院大学 生命科学研究科)

PL-079

シロイヌナズナにおける葉と花器官の細胞分裂制御の比較

木下 綾華¹, 塚谷 裕一^{1,2}

(¹東大・院・理, ²岡崎統合バイオ)

PL-080

シロイヌナズナ大輪変異体 *obbana1* における花器官サイズ制御機構の解析

Quoc Nhat Vuong¹, 風間 裕介², 石井 公太郎², 大部 澄江², 國武 久登^{1,3}, 阿部 知子², 平野 智也^{1,2,3}

(¹宮崎大・院・農, ²理研・仁科センター, ³宮崎大・農・応用生物)

PL-081

物理的圧力が花発生に与える影響の解析

吉岡 優奈, 岩元 明敏

(東京学芸大・自然・生命科学)

PL-082

キク属モデル系統キクタニギクにおける頭状花序形態形成機構の解析

小塚 俊明¹, 白岩 一平¹, 中野 道治¹, 坂本 智昭², 木村 成介², 谷口 研至¹, 草場 信¹

(¹広島大院・理・生物, ²京産大・総合生命)

PL-083

An emerging role of inorganic pyrophosphate in stomatal function

浅岡 真理子¹, 井上 晋一郎², 郡司 玄³, 木下 俊則^{2,4}, 前島 正義⁵, 塚谷 裕一^{6,7}, Ali Ferjani^{1,3}

(¹東京学芸大・教育・生命, ²名大・院・理, ³東京学芸大・院・連合, ⁴名古屋大学WPI-ITbM, ⁵名大・院・生命農, ⁶東大・院・理, ⁷岡崎統合バイオ)

PL-084

シロイヌナズナの柵状組織と海綿状組織特異的なトランスクリプトーム解析

上本 恭平, 荒木 崇, 遠藤 求

(京都大学大学院生命科学研究所分子代謝制御学分野)

PL-085

シロイヌナズナの表皮において細胞極性制御に関わる受容体型プロテインキナーゼの解析

河野 啓貴, 柿本 辰男, 田中 博和

(大阪大学 大学院理学研究科 生物学専攻)

PL-086

Molecular characterization of stomatal mutant SHABONDAMA1 in *Arabidopsis thaliana*

Amit Kumar Dutta^{1,2}, Mostafa Aboulela^{1,2}, 中川 強^{1,2}

(¹Dept. Mol. Func. Genet., Int. Center Sci. Res., Shimane Univ., ²The Uni. Grad. Sch. Agri. Sci., Tottori Univ.)

PL-087

補償作用での細胞伸長の増大を担う因子の探索

江崎 和音¹, 堀口 吾朗², 塚谷 裕一^{1,3}

(¹東京大学大学院 理学系研究科 生物学専攻, ²立教大学 理学部 生命理学科, ³自然科学研究機構 岡崎統合バイオ)

PL-088

Role of AtSEC23A and AtSEC23D in pollen wall development and exine patterning in *Arabidopsis*Mostafa Aboulela^{1,2}, Yuji Tanaka¹, Tsuyoshi Nakagawa^{1,2}¹Dep. Mol. Func. Genomics, Shimane Univ., ²Uni. Grad. Sch. Agri. Sci., Tottori Univ.)

生殖

PL-089

雄性配偶子膜特異的タンパク質 AtLGM1 の発現抑制によるシロイヌナズナの稔性低下について高橋 太郎¹, 森 稔幸², 山田 力志³, 澤田 均³, 井川 智子¹¹千葉大・院・園芸, ²順天堂大・医, ³名古屋大・院・理)

PL-090

絶滅危惧水生食虫植物ムジナモの受粉から種子形成まで

金泉 大樹, 厚沢 季美江, 松島 久, 金子 康子

(埼玉大学・教育)

PL-091

エノコログサおよびミナトカモジグサ配偶子の単離とエノコログサ単離受精卵の培養戸田 絵梨香^{1,2}, 松村 岳朗², 岡本 龍史^{1,2}, 加藤 紀夫^{1,2,3}¹理研・RInC, ²首都大・理工・生命科学, ³日本たばこ産業(株)植物イノベーションセンター)

PL-092

国内におけるササオカゴケの生殖器官の形成と受精鶴沢 美穂子¹, 笠井 譲², 澤田 満³¹ミュージアムパーク茨城県自然博物館, ²滋賀自然環境研究会, ³津軽植物の会)

PL-093

アサガオ野生系統の花成と開花時刻の解析本山 星香¹, 鷺塚 滯¹, 遠藤 沙織¹, 立澤 渚沙¹, 小野 公代¹, 久保山 勉², 小野 道之¹¹筑波大・遺伝子, ²茨城大・農)

遺伝子発現制御, 情報伝達

PL-094

シアノバクテリアの酸性ストレス応答性 ncRNA の翻訳制御機構の解析内山 純爾¹, 太田 尚孝^{1,2}¹東理大・理・教養, ²東理大・科学教育・科学教育)

PL-095

***Synechocystis* sp. PCC6803 の酸性ストレスに関わる Sll0914 の機能解析**中原 凌波¹, 石川 晴菜², 甲賀 栄貴², 板垣 文子², 新垣 善之助¹, 金丸 未来¹, 岩田 直也², 兼崎 友³, 吉川 博文⁴, 内山 純爾¹, 太田 尚孝^{1,2}¹東理大・理, ²東理大・科学教育, ³東農大・生物資源, ⁴東農大・応生・バイオ)

PL-096

オルガネラ電子伝達阻害と遺伝子発現応答

村田 鷹規, 下谷 講司, 岩城 宇律, 小谷 美穂, 山崎 加奈子, 佐野 智, 椎名 隆

(京都府大・生命環境)

PL-097

葉緑体の光応答タンパク質 CSK による光合成遺伝子発現の調節

猪狩 温, 梅原 未来, 華岡 光正

(千葉大・院園芸・応用生命)

PL-098

subclass III SnRK2 と相互作用する MAPKKK の機能解析神山 佳明¹, 廣谷 美咲¹, 野元 美佳², 板谷 知健², 吉村 亮², 多田 安臣³, 梅澤 泰史¹¹農工大・院・BASE, ²名大・院・理, ³名大・遺伝子)

ゲノム, プロテオーム

PL-099

セントロメア配置の生物学的意義の解析

御子 侑香, 坂本 卓也, 坂本 勇貴, 山下 朋恵, 松永 幸大

(東京理科大学理工学部 応用生物科学科 松永研究室)

PL-100

ショットガンプロテオミクスを用いたドロノキ放射線細胞の放射方向におけるタンパク質変動の解析半 智史¹, 高橋 大輔², 梅澤 泰史³, 春日 純⁴, 高田 直樹⁵, 中田 了五⁶, 上村 松生⁷, 船田 良¹¹農工大・院・農, ²Max-Planck-Inst. Mol. Plant Physiol., ³農工大・院・BASE, ⁴帯畜大, ⁵森林総研・森林バイオ, ⁶森林総研・林育七北海道, ⁷岩手大・農)

PL-101

Dynamics and regulatory mechanism of PCNA involed in DNA replication

山岡 珠子, 坂本 卓也, 松永 幸大

(東京理科大・理工・応用生物科学)

PL-102

明視野選抜マーカーの誘導的脱落による新規遺伝子組換え法の開発

福田 真由, 井川 智子

(千葉大・院・園芸学)

植物微生物相互作用

PL-103

アーバスキュラー菌根菌への核酸導入の試み

亀岡 啓¹, 堀井 陽子², 沼田 圭司², 川口 正代司¹

(¹基礎生物学研究所, ²理化学研究所)

PL-104

ヒメハギ科カスミヒメハギ (*Polygala paniculata* L.) の根粒
共生進化研究に向けた種特性の解析

徳本 雄史¹, 征矢野 敬^{1,2}, 青木 誠志郎³, 福原 舞²,
中川 知己⁴, 横山 潤⁵, 藤田 浩徳^{1,2}, 川口 正代司^{1,2}

(¹基礎生物学研究所, ²総合研究大学院大学, ³東京大学, ⁴名古屋
大学, ⁵山形大学)

PL-105

ソラマメ根粒の感染細胞における共生体膜の形成

Farhana Sharmin², 厚沢 季美江³, 徳永 誠³, 金子 康子^{1,2}

(¹埼玉大・教育, ²埼玉大・院・理工, ³埼玉大・科学分析セ)

PL-106

ラン科植物ネジバナと菌根菌の共生関係の個体差

加藤木 ひとみ, 藤森 祥平, 市川 創作, 富田-横谷 香織

(筑波大学)

PL-107

トマト植物の成長と土壤微生物の菌叢構造に対するヨーグ
ルト乳酸菌と培地・乳成分の影響

徳本 勇人⁴, 伊藤 みさご³, 仁木 宏典², 佐久間 洋¹,

井上 雅裕¹

(¹愛媛・院・理工・生物, ²国立遺伝学研究所, ³阪府大・院・工,
⁴阪府大・院・理)

理科教育

PL-108

藻類分子生物学に関する生涯教育教材の開発

内田 英伸^{1,2,3,4,5}, 永田 典子⁴, 朽津 和幸⁵, 奥野 誠¹

(¹放送大学・東京文京学習センター, ²東大・院・農学生命, ³明治
学院大・教養教育, ⁴日本女子大・理, ⁵東京理科大・理工・応用生
物科学)

PL-109

電顕画像を活用して植物細胞のつくりとはたらきを伝える
工夫

亀田 周論¹, 厚沢 季美江¹, 金子 康子¹, 大野 輝昭²

(¹埼玉大学, ²株式会社テクネックス工房)

PL-110

キッチンサイエンスによるエディブルフラワーの解剖実験
と調理 — 撫子・金魚草を用いた理科教育 —

佐藤 陽子, 太田 尚孝

(東京理科大学大学院科学教育研究科)

高校生研究ポスター発表 プログラム

H-1

サツキツツジ盆栽の輸出に向けた苗木の栽培研究

中村 朋暉, 増淵 翔太, 沼尾 拓弥, 篠原 亮太
 (栃木県立鹿沼南高等学校 環境緑地科 造園専攻)
 [指導教員: 関澤 拓実]

H-2

淡水産単細胞性緑藻 *Tetradon regulare* Kutzing の生活環に関する研究

熊谷 健隆, 小黒 健太郎, 高橋 音葉, 宮本 和季, 須田 拓人, 持田 歩, 青木 春樹, 安食 昂輝
 (鳥根県立出雲高等学校 自然科学部生物班)
 [指導教員: 須谷 昌之・大谷 修司]

H-3

光と種子発芽に関する研究

第8報 青色光は発芽を抑制するか

刀根 三聖, 羽生田 愛瑠, 吉田 桃佳
 (岩手県立水沢高等学校 理数科生物班) [指導教員: 城守 寛]

H-4

金佞マクワウリの普及活動に関する研究について ～コメヌカ利用による糖度上昇について～

岡部 宇宙, 川柳 紗千
 (愛知県立安城農林高等学校) [指導教員: 垣下 重宣]

H-5

植物から油絵の具を作る

早川 美久, 三輪 悠季奈, 木村 莉彩
 (岐阜県立恵那高等学校) [指導教員: 丹羽 静]

H-6

育苗期におけるミストを使用した外気冷却による花芽分化制御 ～花芽分化制御による促成イチゴ栽培技術～

阿部 早哉香, 岩村 勇弥, 西野 諒太, 古川 蓮多, 牛丸 裕也
 (長野県駒ヶ根工業高等学校 サイエンス同好会)
 [指導教員: 石澤 育博]

H-7

ボルボックスの光走性

高橋 諒, 後藤 友伽, 柴崎 雄太
 (茨城県立竹園高等学校 スーパーサイエンス部)
 [指導教員: 飯田 仁]

H-8

セルロース分解性菌類の探索

～バイオマスとしての古紙や落ち葉の利用を目指して～
 湊 ひかり
 (福岡県立城南高等学校 生物部) [指導教員: 吉松 晶子]

H-9

植物 *in-vitro* culture における培地添加糖の再検討 —溶性デンプン添加が生育促進効果をもつ理由—

林 知輝, 仲山 誉
 (大阪府立園芸高等学校 バイオ部) [指導教員: 藤野 章子]

H-10

低地性ニッコウキスゲ類が生育する3ヵ所の植生比較

平川 真緒, 伊藤 彩海
 (埼玉県立熊谷西高等学校 自然科学部) [指導教員: 三上 忠仁]

H-11

～コチョウラン根端からの PLB 誘導～

無菌培養から植え出しまで

宇野 昂, 西尾 桜葵, 山田 菜月
 (大阪府立園芸高等学校 生物工学部) [指導教員: 足立 享志]

H-12

植物の成長と光の関係性について

佐久間 瑞穂, 三輪 恭菜, 毛利 遼, 山岡 愛佳
 (光塩女子学院高等科 生物部) [指導教員: 渡邊 里佳]

H-13

粘菌は三次元の迷路が解けるのか

～移動時間と上下運動～

小林 千紘
 (東京大学教育学部附属中等教育学校 生物部)
 [指導教員: 前田 香織]

H-14

中四国地方におけるスギ樹皮生粘菌の地理的分布

南 耕太郎, 山崎 裕弥, 矢吹 直之, 近藤 蒼真
 (岡山理科大学附属高等学校 粘菌グループ)
 [指導教員: 高橋 和成]

H-15

多摩川河川敷の上流と下流における植生の比較

池松 諒, 中島 慎也
 (筑波大学附属駒場高等学校) [指導教員: 宇田川 麻由]

H-16

エンバクの他種植物に対する発芽抑制

伊藤 朱里, 井原 歩, 今井 睦月
 (長野県屋代高等学校 エンバクチーム) [指導教員: 堀内 栄子]

H-17

オオカナダモにおける温度変化による原形質流動速度の変化

鈴木 かりん
 (埼玉県立不動岡高等学校) [指導教員: 平田 孝昭]

H-18

ゼニゴケの再生能力

西林 伶華
 (東京大学教育学部附属中等教育学校 生物部)
 [指導教員: 前田 香織]

H-19

特殊な水吸収が乾燥地を生き抜く鍵!?

～特殊な水吸収機能を持つキンシヤチの工夫～

横屋 稜
 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
 [指導教員: 矢部 重樹]

H-20

過酷な環境にある屋上緑化を成功させるには？
～混植の効果とその組み合わせについて～

保戸田 理采, 小山 龍利, 酒井 一吹, 本多 令奈, 藤田 莉子
(小松川高等学校, 江戸川女子高等学校, 江戸川区共育プラザ平井
屋上緑化研究チーム) [指導教員: 松岡 達也]

H-21

イネ高温登熟における粒厚別の心白粒発生の特徴

成澤 崇之
(山形県立鶴岡南高等学校) [指導教員: 三宅 国彦]

H-22

カキツバタの組織培養:
再分化によるカキツバタ保全を目指して

山口 花音, 勝矢 七海, 伊藤 武留, 渡邊 実華
(愛知教育大学附属高等学校 中高生の科学研究実践活動推進
プログラム カキツバタ班) [指導教員: 青島 加苗]

H-23

ワタラセツリフネソウの生活史

石井 昂, 中村 美貴, 海老沼 大輝, 櫻井 香織
(白鷗大学足利高等学校 科学部) [指導教員: 作本 憩彦]

H-24

ゼニゴケの塩ストレス耐性遺伝子の同定:
苔類ゼニゴケを用いた研究

鈴木 凜, 田中 裕之, 岡部 菜々子, 鈴木 智大, 児玉 豊
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校, 宇都宮 ip-U)
[指導教員: 矢部 重樹]

H-25

絶滅危惧種ナガバヤクシソウの局所的固有性における生態
と進化的解析

矢吹 直之, 近藤 蒼真, 山崎 裕也, 南 耕太郎
(岡山理科大学附属高等学校 科学部ヨンギア班)
[指導教員: 高橋 和成]

H-26

農業用ドローンを活用したリンゴの溶液受粉

馬場 健大, 中村 唯子
(青森県立久井農業高等学校 2代目 TEAM PINE WITH B)
[指導教員: 松本 理祐]

H-27

植物の緑色光の光受容体を探せ
～フィトクロム変異体を用いた緑化実験～

伊皆 清佳, 斎藤 雄一郎, 長場 可琳, 牧野 理子, 手塚 晶平
(新潟県立新発田高等学校 理数科イネ研究班)
[指導教員: 石本 由夏]

H-28

新たなインビトロプランツへの挑戦

齋藤 友美, 神田 光夢, 小島 蛍都
(大阪府立園芸高等学校 バイオ部)
[指導教員: 藤野 章子]

H-29

すきま植物における集水性の報告

羽鳥 隼礼, 三村 駿輔
(埼玉県立熊谷西高等学校 自然科学部) [指導教員: 三上 忠仁]

H-30

緑茶の抽出条件の違いによる抗酸化作用の変化

安高 幸佑, 小笠原 遼, 青木 優真, 木南 知也, 鎌田 剛史,
古川 隼也
(学校法人城北学園 城北高等学校 化学部) [指導教員: 中村 純]

H-31

ハナスベリヒユと光の関係

尾上 愛
(東海大学付属高輪台高等学校) [指導教員: 山田 武範]

H-32

タンポポの綿毛の構造と運動の再現に関する研究

久志 友香
(岡山県立玉野高等学校) [指導教員: 春田 竜太郎]

H-33

ハクサイの品種によりブラシノステロイド合成阻害剤 Brz
に対する反応は異なるか
～ブラシノステロイドに関係する遺伝子がはたらくための
情報伝達の活性化品種が存在する可能性～

今井 知歩, 佐藤 柊, 村松 淳矢, 齋藤 迅, 佐藤 ちひろ,
田中 麻紀, 小川 乃亜, 小泉 大希, 浜沢 光, 船原 優人
(東京都立八王子東高等学校 理数イノベーション植物ホルモン
実験プロジェクトチーム) [指導教員: 森下 忠志]

H-34

セダムの葉は離層様の構造によって積極的に独立しようと
している

山崎 のどか
(法政大学女子高等学校) [指導教員: 鈴木 恵子]

H-35

無線ネットワーク技術を活用した栽培・生育環境
モニタリングシステムの効用について

牛丸 裕也, 古川 蓮多, 酒井 佑, 竹村 健人, 瀬戸 由乃
(長野県駒ヶ根工業高等学校 サイエンス同好会)
[指導教員: 石澤 育博]

H-36

ブラナリアの再生と光走性

中原 航, 稲葉 萌生, 山田 怜奈, 二瓶 真人, 片岡 佳穂,
藤本 連太郎
(茨城県立竹園高等学校 スーパーサイエンス部)
[指導教員: 飯田 仁]

H-37

なぜ新潟県においてヒカゲスミレの分布域が限定されているか
～繁殖様式からの探求～

川俣 蒼, 鈴木 日和太, 松本 嵩煥, 野崎 峻平
(新潟県立新津高等学校 理科部) [指導教員: 石澤 佳代]

H-38

サヤミドロを用いた土壌改善
緑藻綱サヤミドロ属 (Genus *Oedogonium*) の利用

林 利有樹
(東京都立多摩科学技術高校 科学研究部生物班)
[指導教員: 柴田 秀久]